



# 八戸工業大学要覧

平成28年度

# 大 学 要 覧

平成28年5月1日現在

八 戸 工 業 大 学

## 八戸工業大学大学院「三つの方針」

八戸工業大学大学院は、建学の精神、教育理念および使命・目的（教育研究上の目的）に基づき、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・教育実施基本方針）およびディプロマ・ポリシー（学位授与方針）を次のように定める。

### 学校法人八戸工業大学 建学の精神

本法人は、その経営指針と基本的な教育方針として、人格、徳性の涵養並びに知性の練磨を象徴的に表す『正己以格物』<sup>せいきいかくぶつ</sup>（己を正し以て物に格る）を不易の綱領と定め、建学の精神としています。

この言葉は、儒教の根本精神を表した四書五経の一つ「大学」に拠るもので、物の道理をよく見極め、広く知識を求め、社会における自己の役割が如何なるものかを、深く認識し、高い倫理性をもって行動することの重要性を説いているものです。

本法人は、この建学の精神に基づき、社会の負託と時代の要請に応えることを要諦とし、創造的、個性的な自己思考能力を有する有為の人材を養成しています。

### 八戸工業大学の教育理念

上記の建学の精神に基づき、本学は、「良き技術は、良き人格から生まれる」という教育理念を掲げています。この理念は、「良き職業人となるためには、高度な専門知識とともに豊かな人間性と総合的な判断力をもつ」ことが必要であることを意味しています。

### 八戸工業大学大学院の使命・目的（教育研究上の目的）

上記の教育理念に基づき、本大学院は、「学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めるとともに、学術研究を通して深い教養と豊かな人間性を涵養し、広く文化の進展と社会の発展に寄与する」ことを目的としています。（大学院学則第1条）

これに則って、研究科全体の教育研究上の目的を次のように定めています。（大学院学則第6条）

博士前期課程 広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を有する職業等に必要の能力及びその基礎となる学識を養うこと

博士後期課程 専門分野について研究者として自立して研究活動を行い又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うこと

さらに、この目的に基づき、各専攻の教育研究上の目的を具体的に定めています。（大学院学則第6条2項、学生要覧等で明示・公表、詳細略）

## ●アドミッション・ポリシー

本学の教育理念「良き技術は、良き人格から生まれる」を理解し、博士前期課程にあっては「研究能力又は高度の専門性を有する職業等に必要の能力及びその基礎となる学識を養う」、博士後期課程にあっては「研究者として自立して研究活動を行い又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養う」という教育研究上の目的に強い関心を払い、本大学院において自らを向上させようとする意欲あふれる学生の入学を歓迎します。

なお、入学試験には、推薦、一般選抜および特別選抜（社会人、外国人）があり、内容については入試要項や学生要覧等で明示・公表しています。

## ●カリキュラム・ポリシー

本大学院の使命・目的、研究科及び各専攻の教育研究上の目的を達成するよう、人材育成目標を定めています。すなわち、専門基礎力の充実した人材、先端技術分野への応用展開能力を持つ人材および総合的な視野を持つ人材の育成です。これに基づいて、各専攻の教育研究の目的、人材養成の目的、部門構成、研究テーマおよび教育課程表を定め、カリキュラムを実施しています。（学生要覧等で明示・公表）

## ●ディプロマ・ポリシー

本大学院の修了要件（大学院学則第32条または第33条、下記参照）を満たし、かつカリキュラム・ポリシーに掲げたように、各専攻の教育研究の目的および人材育成の目的（学生要覧等で明示・公表）を達成し、ひいては本大学院の使命・目的（教育研究上の目的）に掲げる人材育成の目標に到達したと判定された者に、修士（工学）または博士（工学）の学位を授与します。

（博士前期課程修了要件）

第32条 博士前期課程の修了要件は、本大学院研究科の博士前期課程に2年以上在学し、専攻科目について主要科目（特別演習及び特別研究）14単位を含み30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、課程の目的に応じ、学位論文又は特定の課題についての研究成果を提出して、その審査及び最終試験に合格したことをもって課程を修了したものとする。ただし、在学期間に関しては、本大学院工学研究科委員会が優れた業績をあげた者と認めるときは、本大学院に1年以上在学すれば足りるものとする。

（博士後期課程修了要件）

第33条 博士後期課程の修了要件は、本大学院研究科の博士後期課程に3年以上在学し、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格したことをもって課程を修了したものとする。ただし、在学期間に関しては、本大学院工学研究科委員会が優れた研究業績をあげた者と認めるときは、1年（2年未満の在学期間をもって修士課程又は博士前期課程を修了した者にあつては、当該在学期間を含めて3年）以上在学すれば足りるものとする。

2 前項の場合において、委員会が課程の目的に応じ適当と認めるときは、特定の課題についての研究成果の審査をもって博士論文の審査に代えることができる。

## 八戸工業大学「三つの方針」

八戸工業大学は、建学の精神、教育理念および使命・目的（教育研究上の目的）に基づき、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・教育実施基本方針）およびディプロマ・ポリシー（学位授与方針）を次のように定める。

### 学校法人八戸工業大学 建学の精神

本法人は、その経営指針と基本的な教育方針として、人格、徳性の涵養並びに知性の練磨を象徴的に表す『正己以格物』（己を正し以て物に格る）を不易の綱領と定め、建学の精神としています。

この言葉は、儒教の根本精神を表した四書五経の一つ「大学」に拠るもので、物の道理をよく見極め、広く知識を求め、社会における自己の役割が如何なるものかを、深く認識し、高い倫理性をもって行動することの重要性を説いているものです。

本法人は、この建学の精神に基づき、社会の負託と時代の要請に応えることを要諦とし、創造的、個性的な自己思考能力を有する有為の人材を養成しています。

### 八戸工業大学の教育理念

上記の建学の精神に基づき、本学は、「良き技術は、良き人格から生まれる」という教育理念を掲げています。この理念は、「良き職業人となるためには、高度な専門知識とともに豊かな人間性と総合的な判断力をもつ」ことが必要であることを意味しています。

### 八戸工業大学の使命・目的（教育研究上の目的）

上記の教育理念に基づき、本学は、「学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学術を教授研究し、知的、道徳的および応用的能力を展開させ、あわせて人類の幸福を希求する科学技術の振興と文化の創造ならびに地域社会の発展に寄与する」ことを使命・目的としています。（学則第1条）

これに則って、工学部および感性デザイン学部の教育研究上の目的を次のように定めています。（学則第3条2項）

工学部 豊かな人間性と総合的な判断力をもった技術者、工学の基礎原理を踏まえ高度な応用展開能力をもった技術者および地域社会への関心とともに国際的な視野をもった技術者を育成するとともに、機械、電子・電気、土木・建築、情報およびバイ

オ・環境などの工学に関する教育研究の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

感性デザイン学部 現代社会が抱える問題を発見、理解できる能力、並びにその問題の解決ができるデザイン能力を有し、豊かな生活と幸福な社会づくりに貢献できる人材を育成するとともに、人々の生活の視点に立った感性デザインを探求し、これらの成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

さらに、これら各学部の目的に基づき、各学科の教育研究上の目的を具体的に定めています。(学則第3条3項、学生要覧等で明示・公表、詳細略)

### ●アドミッション・ポリシー

本学の教育理念「良き技術は、良き人格から生まれる」を理解し、本学が進める教育研究活動に強い関心を払い、本学において自らを向上させようとする意欲にあふれ、高等学校で履修する主要教科・科目について基礎的な知識を有している学生の入学を歓迎します。

なお、このポリシーに基づき、入試形態別のアドミッション・ポリシーを定めています。

### ●カリキュラム・ポリシー

本学の使命・目的、各学部・学科の教育研究上の目的および各学科あるいはコースの学習・教育目標を達成するよう、各学部の教育課程編成方針と教育実施基本方針を明確に定めています。これに基づいて、各学科あるいはコースのカリキュラム編成方針、教育課程表および学習・教育方法等を定め、カリキュラムを実施しています。(学生要覧等で明示・公表)

カリキュラムの実施にあたっては、学生全員が自ら学び、学生個々の学力・人間力等を大きく伸ばし、「学士力」を充分身につけることを目標として指導します。

### ●ディプロマ・ポリシー

本学の卒業要件「4年以上修業し、所定の授業科目を履修し所定の単位を修得した者は卒業とし」(学則第33条)を満たし、かつカリキュラム・ポリシーに掲げたように、各学科あるいはコースの学習・教育目標(学生要覧等で明示・公表)を達成し、ひいては本学の使命・目的ならびに各学部・学科の教育研究上の目的に掲げる人材育成の目標に到達し、学士力を充分身につけたと判定された者に、学士(工学あるいは感性デザイン)の学位を授与します。



# 八戸工業大学校歌

作詩 佐藤 信 三一  
下斗米 謹 白  
法師浜 桜 夫  
作曲 渡 辺 岳

Allegro risoluto alla marcia (♩ = 120)

1. そう  
きゅうのひかり さんさんとみち  
のくここにかがやけり  
わこうどわれら きぼうにつどい くおんのちせい みがきゆく あ  
あ はちこう だい みらいをひらく  
3.

一、蒼穹の光りさんさんと

みちのくここに輝やけり

若人われら希望に集い

久遠の知性みがきゆく

ああ八工大 未来を拓く

二、白堊の塔はそびえたち

遠く潮はとどろけり

若人われら希望に集い

久遠の理想かざしゆく

ああ八工大 未来を創る

三、青雲はるかにいだきつつ

いのち豊けく秀でたり

若人われら希望に集い

久遠の真理きわめゆく

ああ八工大 未来を築く





# 第1 学 年 暦 (平成28年度)

4月1日(金) 学年開始 前期開始

4月5日(火) 入 学 式

8月6日(土) }  
9月15日(木) } 夏 季 休 業

9月15日(木) 前 期 終 了

9月16日(金) 後 期 開 始

12月24日(土) }  
1月4日(水) } 冬 季 休 業

1月29日(日) 開 学 記 念 日

3月21日(火) 学 位 記 授 与 式

3月31日(金) 後 期 終 了 学 年 終 了

## 第2 位 置

青森県八戸市大字妙字大開88番地1号  
北緯40度28分36秒 東経141度34分00秒

## 第3 設 置 者

設 置 者 名 学校法人 八戸工業大学  
法人設立年月日 昭和31年8月2日  
法 人 所 在 地 青森県八戸市大字妙字大開88番地1号  
電 話 (0178) 25-3111 (代)

役 員 名	理 事 長	柳 谷 利 通
	副 理 事 長	橋 本 精 二
	理 事	長 谷 川 明
	理 事	岩 崎 敬 夫
	理 事	阿 保 民 博
	理 事	木 村 喜 久 子
	理 事	橋 本 都
	理 事	福 士 憲 一
	理 事	田 畑 俊 助
	理 事	岡 沼 明 見
	理 事	古 館 剛 浩
	理 事	大 庭 文 武
	理 事	柳 谷 俊 一
	監 事	田 島 幹 二
	監 事	武 輪 俊 彦

## 第4 沿革

### 昭和31年（1956年）

- 2月28日 八戸市大字白銀町字右岩淵通7番地10号に八戸高等電波学校の設置を申請する。代表 瀧澤三郎
- 4月10日 八戸高等電波学校を開校する。
- 4月27日 八戸市大字白銀町字右岩淵通7番地10号に八戸高等電波学校の設置を認可される。代表 瀧澤三郎
- 7月27日 学校法人八戸高等電波学校の寄附行為が認可される。  
理事長 瀧澤三郎 就任する。
- 8月2日 法務局への登記により、学校法人八戸高等電波学校が成立する。

### 昭和34年（1959年）

- 2月12日 学校設置者名を学校法人八戸電波高等学校に改称する。

### 昭和35年（1960年）

- 4月5日 任期満了による理事・監事の改選を行い、理事長 柳谷第吉 就任する。
- 5月31日 理事長 柳谷第吉 退任（死亡）する。
- 7月22日 理事長 柳谷第吉（柳谷利一が襲名）就任する。

### 昭和36年（1961年）

- 11月1日 学校設置者名を学校法人八戸電波工業高等学校に改称する。

### 昭和44年（1969年）

- 12月10日 八戸市大字妙字大開に学校用地として11万平方メートルの敷地を買収する。

### 昭和45年（1970年）

- 10月20日 八戸工業大学設立準備委員会が発足し、学校法人八戸電波工業高等学校内に事務局を置く。

### 昭和46年（1971年）

- 1月20日 八戸工業大学設立期成会（会長 熊谷義雄）を結成する。

### 昭和47年（1972年）

- 1月29日 学校設置者名を学校法人八戸工業大学に改称する。  
八戸工業大学の設置を認可される。
- 2月9日 寄附行為の変更による役員の一部変更を行い、理事長 熊谷義雄 就任する。
- 2月28日 八戸市大字妙字大開88番地1号に校舎第一期工事「本館」が完成する。
- 4月1日 八戸工業大学（工学部 機械工学科・産業機械工学科・電気工学科）を開学する。

## 第4 沿革

学長 小和田 武 紀 就任する。

6月23日 開学式を挙げる。

### 昭和48年（1973年）

5月31日 校舎第二期工事「機械工学専門棟・電気工学専門棟・工作工場」が完成する。

### 昭和49年（1974年）

1月21日 工学部機械工学科・産業機械工学科・電気工学科正規課程に教員免許状授与資格課程を認定される。

2月23日 学長 小和田 武 紀 退任（死亡）する。

2月24日 学長事務取扱 門 脇 又 男 就任する。

2月28日 校舎第三期工事「体育館」が完成する。

3月27日 工学部機械工学科・産業機械工学科・電気工学科聴講生課程に教員免許状授与資格課程を認定される。

4月12日 八戸工業大学父兄後援会が発足する。

6月1日 学長 斎 藤 恒 三 就任する。

10月19日 校舎落成式を挙げる。

### 昭和50年（1975年）

4月1日 学校法人八戸工業大学事務局の機構を改め、大学事務部を分離し設置する。

12月10日 工学部の土木工学科・建築工学科増設届出書を受理される。

### 昭和51年（1976年）

3月15日 第一回卒業証書授与式及び校歌、校章、校旗の制定樹立式を挙げる。

4月1日 工学部に土木工学科及び建築工学科を設置する。

4月15日 第一種、第二種及び第三種電気主任技術者認定校となる。

4月30日 学長 斎 藤 恒 三 退任する。

5月1日 学長事務取扱 門 脇 又 男 就任する。

8月30日 校舎第四期工事「教養棟（旧館）・土木工学専門棟・建築工学専門棟」に着工する。

12月11日 学長 門 脇 又 男 就任する。

### 昭和52年（1977年）

8月10日 校舎第四期工事「教養棟（旧館）・土木工学専門棟・建築工学専門棟」が完成する。

11月3日 学長 門 脇 又 男 が勲三等旭日中綬章を受章する。

### 昭和53年（1978年）

- 1月5日 工学部土木工学科・建築工学科正規課程に教員免許状授与資格課程を認定される。
- 3月6日 工学部土木工学科・建築工学科聴講生課程に教員免許状授与資格課程を認定される。

昭和55年（1980年）

- 4月29日 理事長 熊谷 義雄 が勲二等瑞宝章を受章する。
- 7月6日 学校法人八戸工業大学「運動公園」を開園する。

昭和56年（1981年）

- 3月31日 学長 門脇 又男 退任する。
- 4月1日 学長 淵澤 定敏 就任する。

昭和57年（1982年）

- 1月16日 工学部にエネルギー工学科を設置する寄附行為の変更を認可される。  
工学部にエネルギー工学科の設置を認可される。
- 4月1日 工学部にエネルギー工学科を設置する。  
工学部産業機械工学科の学生募集を停止する。
- 10月2日 創立10周年記念式典を挙げる。

昭和58年（1983年）

- 5月31日 学友会部室が完成する。
- 8月20日 校舎第五期工事「電気工学専門棟増築・エネルギー工学専門棟」に着工する。

昭和59年（1984年）

- 2月8日 工学部エネルギー工学科正規課程に教員免許状授与資格課程を認定される。
- 4月5日 工学部エネルギー工学科聴講生課程に教員免許状授与資格課程を認定される。
- 5月2日 校舎第五期工事「電気工学専門棟増築」が完成する。
- 6月6日 校舎第五期工事「エネルギー工学専門棟」が完成する。
- 9月1日 任期満了による理事・監事の改選を行い、理事長 柳谷 弟吉 就任する。
- 11月3日 学長 淵澤 定敏 が勲二等瑞宝章を受章する。

昭和60年（1985年）

- 3月31日 学長 淵澤 定敏 退任する。
- 4月1日 学長 河上 房義 就任する。

## 第4 沿革

### 昭和61年（1986年）

- 3月17日 工学部産業機械工学科を廃止する寄附行為の変更を認可される。
- 3月18日 工学部産業機械工学科の廃止が認可され、同日同学科を廃止する。
- 4月1日 事務組織を変更し、学務部を教務部及び学生部に改める。
- 6月18日 構内に「合宿所」二棟が完成する。
- 10月8日 学校法人八戸工業大学創立30周年記念式典を挙げる。

### 昭和62年（1987年）

- 2月28日 「工作工場」増築工事が完成する。

### 昭和63年（1988年）

- 4月1日 工学部に食品工学研究所及び情報システム工学研究所を設置する。
- 6月25日 校舎第六期工事「機械工学専門棟増築・情報システム工学研究所棟・教養棟・食品工学研究所棟」に着工する。
- 7月18日 中華人民共和国瀋陽工業大学と友好的な学術交流に関する協定を締結する。
- 11月3日 理事長 柳谷 弟吉 が藍綬褒章を受章する。

### 平成元年（1989年）

- 1月20日 校舎第六期工事「機械工学専門棟増築」が完成する。
- 3月31日 校舎第六期工事「情報システム工学研究所棟」が完成する。
- 9月9日 校舎第六期工事「教養棟」が完成する。

### 平成2年（1990年）

- 3月15日 電気通信主任技術者試験の一部を免除する学校（電気工学科）として認定される。
- 3月26日 教員の免許状授与の所要資格を得させるための大学の再課程（正規の課程及び聴講生の課程）を認定される。
- 7月19日 校舎第六期工事「食品工学研究所棟」が完成する。
- 11月2日 理事長 柳谷 弟吉 が八戸市功労者を受賞する。

### 平成3年（1991年）

- 4月25日 「土木工学専門棟増築・建築工学専門棟増築・エネルギー工学専門棟増築・食品工学研究所棟渡り廊下」に着工する。
- 10月21日 「ボイラー取替工事」が完成する。
- 11月20日 「土木工学専門棟増築・建築工学専門棟増築・エネルギー工学専門棟増築・食品工学研究所棟渡り廊下」が完成する。
- 12月20日 工学部機械工学科・電気工学科・土木工学科・建築工学科・エネルギー

工学科の期間(平成4年度から平成11年度)を付した入学定員の増加(各学科入学定員80名を120名に)に係る学則の変更を認可される。

平成4年(1992年)

- 5月21日 ロシア連邦共和国ハバロフスク州立工科大学と学術交流に関する議定書を交換する。
- 5月25日 「構造工学研究所棟」に着工する。
- 10月16日 創立20周年記念式典を挙げる。
- 10月20日 専務理事 東 明 が八戸市功労者を受賞する。
- 10月30日 「構造工学研究所棟」が完成する。

平成5年(1993年)

- 1月16日 八戸工業大学を大学入試センター試験の試験場とし、併せて入学試験の一部に大学入試センター試験を採用する。
- 3月31日 学長 河上 房 義 退任する。
- 4月1日 学長 村上 孝 一 就任する。  
前学長 河上 房 義 に名誉学長の称号を贈る。  
工学部に構造工学研究所を設置する。
- 8月31日 「測量実習地(軽井沢地区)」が完成する。

平成6年(1994年)

- 3月31日 「一般教育部」を廃止する。
- 4月1日 「総合教育センター」を設置する。  
「工作工場」を「工作技術センター」に改称する。
- 7月27日 中華人民共和国瀋陽工業大学と友好的な学術交流に関する協定を延長する。
- 10月15日 「図書館増床工事」が完成する。
- 12月28日 三陸はるか沖地震(余震 平成7年1月7日)により校舎等が多大な被害を受ける。

平成7年(1995年)

- 3月16日 大学院を設置する寄附行為の変更を認可される。  
大学院工学研究科修士課程の設置を認可される。
- 4月1日 大学院工学研究科修士課程を設置する。(機械システム工学専攻, 電気電子工学専攻, 土木工学専攻(入学定員各5名, 収容定員各10名))

平成8年(1996年)

- 4月8日 中華人民共和国瀋陽工業大学と友好的な学術交流の実施に関する協議書



## 第4 沿革

を交換する。

- 9月12日 学校法人八戸工業大学創立40周年記念式典を挙げる。
- 9月30日 校内LAN（キャンパス情報ネットワーク装置）を導入する。
- 12月19日 大学院工学研究科博士後期課程の設置を承認される。

### 平成9年（1997年）

- 2月26日 大学院工学研究科修士課程機械システム工学専攻、電気電子工学専攻、土木工学専攻に「教員の免許状授与の所要資格を得させるための大学院の課程」を認定される。
- 4月1日 大学院工学研究科博士後期課程を設置する。（機械システム工学専攻、電気電子工学専攻、土木工学専攻（入学定員各2名、収容定員各6名））
- 9月5日 「尚志館（武道館）」に着工する。

### 平成10年（1998年）

- 1月31日 「尚志館（武道館）」が完成する。
- 12月22日 大学院工学研究科に修士課程建築工学専攻の設置が承認される。  
工学部にシステム情報工学科を設置する寄附行為の変更を認可される。  
工学部にシステム情報工学科の設置を認可される。  
工学部電気工学科及びエネルギー工学科の収容定員の減少に係る学則の変更を認可される。  

電気工学科	入学定員80名を40名、収容定員320名を160名
エネルギー工学科	入学定員80名を60名、収容定員320名を240名

### 平成11年（1999年）

- 1月18日 理事長 柳谷 弟吉 退任する。
- 1月19日 理事長 柳谷 透 就任する。
- 3月19日 大学院工学研究科修士課程建築工学専攻に「教員の免許状授与の所要資格を得させるための大学院の課程」を認定される。  
工学部システム情報工学科に「教員の免許状授与の所要資格を得させるための大学の課程」を認定される。
- 3月23日 工学部電気工学科を電気電子工学科へ名称変更する寄附行為の変更を認可される。
- 4月1日 大学院工学研究科修士課程建築工学専攻を設置する。  
（入学定員5名、収容定員10名）  
工学部システム情報工学科を設置する。

(入学定員60名, 収容定員240名)

工学部電気工学科を電気電子工学科へ名称変更する。

8月12日 「学友会館1号館, 同2号館」に着工する。

10月22日 工学部の期間を付した入学定員の廃止に伴う収容定員の増加に係る学則の変更を認可される。

機械工学科	入学定員80名を90名, 収容定員320名を360名
電気電子工学科	入学定員40名を80名, 収容定員160名を320名
土木工学科	入学定員80名を95名, 収容定員320名を380名
建築工学科	入学定員80名を95名, 収容定員320名を380名
システム情報工学科	入学定員60名を80名, 収容定員240名を320名

10月27日 中華人民共和国瀋陽工業大学と友好的な学術交流に関する協定並びに実施に関する協議書を延長する。

11月30日 「学友会館1号館, 同2号館」が完成する。

#### 平成12年(2000年)

3月31日 学長村上孝一退任する。

4月1日 学長高橋燦吉就任する。

前学長村上孝一に名誉学長の称号を贈る。

12月21日 大学院工学研究科建築工学専攻に博士後期課程の設置が承認される。  
工学部機械工学科を機械情報技術学科、土木工学科を環境建設工学科へ名称変更する寄附行為の変更を認可される。

工学部システム情報工学科に教員免許状授与資格課程(情報)を認定される。

#### 平成13年(2001年)

4月1日 大学院工学研究科博士後期課程建築工学専攻を設置する。

(入学定員1名, 収容定員3名)

工学部機械工学科を機械情報技術学科、土木工学科を環境建設工学科へ名称変更する。

8月1日 工学部に生物環境化学工学科を設置する寄附行為の変更を認可される。

工学部に生物環境化学工学科の設置を認可される。

10月19日 八戸大学との単位互換に関する協定を締結する。

#### 平成14年(2002年)

3月11日 工学部生物環境化学工学科に教員免許状授与資格課程を認定される。

## 第4 沿革

- 3月25日 アメリカ合衆国ウェスレー大学と学術交流に関する協定を締結する。
- 3月31日 工学部食品工学研究所、情報システム工学研究所、構造工学研究所を廃止する。
- 4月1日 学校週5日制を導入する。  
工学部に生物環境化学工学科を設置する。  
(入学定員60名、収容定員240名)  
工学部に異分野融合科学研究所を設置する。  
工学部エネルギー工学科の学生募集を停止する。
- 5月18日 第1回「工大グループフェア2002」を実施する。(～19日)
- 7月5日 創立30周年記念式典を挙げる。  
中華人民共和国瀋陽工業大学 王 爾智 前学長、王 成 元学長に名誉博士の称号を贈る。
- 10月3日 八戸工業大学工学部電気電子工学科を電子知能システム学科へ名称変更する寄附行為の変更を認可される。
- 10月9日 「八戸工業大学教育研究後援会」を設立する。
- 10月25日 排水設備改良工事に着手する。

### 平成15年(2003年)

- 4月1日 工学部電気電子工学科を電子知能システム学科へ名称変更する。
- 4月15日 工学部環境建設工学科(土木および土木関連分野)の技術者教育プログラムが、日本技術者教育認定機構よりJ A B E E認定基準に適合していることを認定される。(認定開始年度:2002年度)
- 9月22日 排水設備改良工事が完成する。
- 10月22日 「ビールの試験製造免許」が交付される。
- 12月10日 中華人民共和国新疆大学と学術交流協議書を交換する。

### 平成16年(2004年)

- 5月10日 工学部機械情報技術学科創生工学コース(機械および機械関連分野)の技術者教育プログラムが、日本技術者教育認定機構よりJ A B E E認定基準に適合していることを認定される。(認定開始年度:2003年度)  
工学部電子知能システム学科(電気・電子・情報通信およびその関連分野)の技術者教育プログラムが、日本技術者教育認定機構よりJ A B E E認定基準に適合していることを認定される。(認定開始年度:2003年度)
- 6月21日 中華人民共和国瀋陽工業大学と友好的な学術交流に関する協定並びに実

施に関する協議書を延長する。

9月11日 中華人民共和国新疆大学と友好的な学術交流に関する協定並びに実施に関する協議書を締結する。

10月5日 工学部各学科の定員を振り替え、感性デザイン学部感性デザイン学科を設置する届出書が受理される。

学部	学 科	入学定員	収容定員		学部	学 科	入学定員	収容定員
工学部	機械情報技術学科	90	360	⇒	工学部	機械情報技術学科	75	300
	電子知能システム学科	80	320			電子知能システム学科	75	300
	環境建設工学科	95	380			環境建設工学科	70	280
	建築工学科	95	380			建築工学科	70	280
	システム情報工学科	80	320			システム情報工学科	80	320
	生物環境化学工学科	60	240			生物環境化学工学科	60	240
計		500	2,000		感性デザイン学部	感性デザイン学科	70	280
					計		500	2,000

10月23日 第2回「工大グループフェア2004」を実施する。(～24日)

平成17年(2005年)

3月31日 工学部エネルギー工学科を廃止する。

「総合教育センター」を廃止する。

4月1日 感性デザイン学部感性デザイン学科(入学定員70名, 収容定員280名)を設置する。

「教育研究戦略室」を設置する。

4月8日 中華人民共和国瀋陽工業大学へ学部学生の留学に関する協議書を締結する。

平成18年(2006年)

3月24日 ボイラー棟天井改修工事が完成する。

3月31日 学長 高橋 燦 吉 退任する。

4月1日 学長 庄谷 征美 就任する。

事務組織を変更し、教務部及び学生部を学務部及び入試部に改める。

5月1日 学校法人八戸工業大学創立50周年記念「追悼会」並びに「記念の会」を挙げる。

10月31日 「日本高等教育評価機構」による「機関別認証評価」に係る実地調査を受審する。(～11月2日, 平成19年3月29日認定)

11月28日 商工組合中央金庫八戸支店と産学連携の協力推進に係る協定を締結する。

## 第4 沿革

### 平成19年（2007年）

- 4月1日 大学院工学研究科機械システム工学専攻を機械・生物化学工学専攻に同  
電気電子工学専攻を電子電気・情報工学専攻へ名称変更する。
- 4月30日 「大学改革室」「教育研究戦略室」を廃止する。
- 5月1日 「社会連携学術推進室」「基礎教育研究センター」を設置する。
- 5月7日 株式会社みちのく銀行と産学連携協力協定を締結する。
- 5月14日 工学部システム情報工学科システム情報コース（情報および情報関連分  
野）の技術者教育プログラムが、日本技術者教育認定機構よりJ A B E E  
認定基準に適合していることを認定される。（認定開始年度：2006年度）
- 6月22日 アメリカ合衆国ウェスレー大学と学術交流に関する協定を延長する。
- 7月7日 第3回「工大グループフェア2007」を実施する。（～8日）
- 9月3日 本館、教養棟旧館、体育館天井改修工事が完成する。
- 9月12日 感性デザイン専門棟3階多目的ホールKDプラザが完成する。
- 10月26日 八戸大学、八戸工業高等専門学校と学術交流の協定を締結する。
- 10月29日 体育館外壁改修工事が完成する。
- 12月6日 株式会社青森銀行と産学連携協力協定を締結する。

### 平成20年（2008年）

- 3月27日 機械情報技術学科自動車工学コース実習棟が完成する。
- 6月25日 工学部機械情報技術学科自動車工学センターが自動車分解整備事業を認  
証される。
- 6月27日 工学部並びに感性デザイン学部各学科の収容定員変更および工学部土木  
建築工学科を設置する届出書を提出する。

学部	学 科	入学 定員	収容 定員
工学部	機械情報技術学科	75	300
	電子知能システム学科	75	300
	環境建設工学科	70	280
	建築工学科	70	280
	システム情報工学科	80	320
	生物環境化学工学科	60	240
感性デザ イン学部	感性デザイン学科	70	280
計		500	2,000

⇒

学部	学 科	入学 定員	収容 定員
工学部	機械情報技術学科	80	320
	電子知能システム学科	60	240
	システム情報工学科	70	280
	バイオ環境工学科	60	240
	土木建築工学科	70	280
感性デザ イン学部	感性デザイン学科	60	240
計		400	1,600

- 7月24日 午前零時26分頃発生 of 岩手県沿岸北部を震源とする地震（八戸の震度6  
弱）により、校舎に壁面亀裂、天井の一部落下や水道管の漏水などの被

害。

- 8月8日 国民生活金融公庫青森支店・八戸支店・弘前支店、農林漁業金融公庫青森支店、中小企業金融公庫青森支店と産学連携協力協定を締結する。
- 9月30日 工学部機械情報技術学科自動車工学コースが自動車に関する学科を有する大学として認定される。
- 10月1日 工学部に土木建築工学科の設置並びに工学部生物環境化学工学科をバイオ環境工学科へ名称変更する寄附行為の変更届を提出する。
- 12月24日 工学部バイオ環境工学科に教員免許状授与資格課程（理科）、土木建築工学科に同（工業・技術）、感性デザイン学部感性デザイン学科に同（美術・工芸）を認定される。

平成21年（2009年）

- 2月17日 工学部バイオ環境工学科に食品衛生管理者及び食品衛生監視員養成施設の登録が認可される。
- 3月31日 入試部アドミッションズ・オフィスを廃止する。
- 4月1日 事務組織を変更し、大学事務部会計課を法人事務局財務課に統合し、事務部庶務課を学事課に改める。  
工学部土木建築工学科を設置する。  
（入学定員70名，収容定員280名）  
工学部生物環境化学工学科をバイオ環境工学科へ名称変更する。  
工学部環境建設工学科および建築工学科の学生募集を停止する。
- 4月6日 「八戸工業大学メディアセンター」建設に着工する。  
工学部電子知能システム学科を電気電子システム学科へ名称変更する寄附行為・学則変更届を提出する。
- 9月30日 「八戸工業大学メディアセンター」が完成する。
- 10月9日 「八戸工業大学メディアセンター」竣工式典を挙げる。

平成22年（2010年）

- 3月31日 学長 庄谷 征美 退任する。
- 4月1日 学長 藤田 成隆 就任する。  
工学部電子知能システム学科を電気電子システム学科へ名称変更する。
- 4月22日 異分野融合科学研究所をエネルギー環境システム研究所へ名称変更する。
- 4月29日 会長 柳谷 弟吉 が旭日中綬章を受章する。

## 第4 沿革

- 5月21日 中華人民共和国瀋陽工業大学と友好的な学術交流に関する協定並びに実施に関する協議書を延長する。
- 5月25日 七戸町と連携に関する協定を締結する。
- 9月2日 理事長 柳 谷 透 退任する。
- 9月3日 理事長 柳 谷 利 通 就任する。
- 9月21日 中華人民共和国新疆大学と友好的な学術交流に関する協定並びに実施に関する協議書を延長する。
- 11月4日 青森県と連携に関する協定を締結する。
- 12月13日 青森県産業技術センターと連携に関する協定を締結する。

### 平成23年（2011年）

- 1月5日 青森県立図書館と連携・協力に関する協定を締結する。
- 6月10日 青森県教育委員会と連携に関する協定を締結する。

### 平成24年（2012年）

- 2月13日 名誉会長 柳 谷 弟 吉 退任（死亡）する。
- 10月17日 一般社団法人青森県情報サービス産業協会と連携に関する協定を締結する。

### 平成25年（2013年）

- 3月31日 工学部環境建設工学科を廃止する。
- 4月24日 特定非営利活動法人テイクオフみさわと連携に関する協定を締結する。
- 4月26日 工学部バイオ環境工学科、バイオ環境工学コース、工学（融合複合・新領域）関連分野の学士課程プログラムが、日本技術者教育認定機構より J A B E E 認定基準に適合していることを認定される。（認定開始年度：2012年度）
- 10月30日 平成25年度私立学校施設整備費補助金（防災機能等強化緊急特別推進事業（学校施設耐震改修事業））による八戸工業大学機械情報技術専門棟（渡廊下付）の耐震補強工事が完了する。

### 平成26年（2014年）

- 3月11日 八戸工業大学が、公益財団法人日本高等教育評価機構（JIHEE）から同機構が定める大学評価基準に適合していると認定される。（10月2日～10月4日（JIHEE）の現地調査）
- 6月23日 太平洋国立大学（ロシア）と八戸工業大学の教育、学術交流に関する協力合意書を締結する。

8月27日 八戸市と連携に関する協定を締結する。

平成27年（2015年）

- 1月7日 八戸工業大学工学部建築工学科を廃止する。
- 4月1日 八戸工業大学大学院工学研究科土木工学専攻を八戸工業大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻へ名称変更する。
- 4月28日 八戸工業大学エネルギー環境システム研究所を八戸工業大学地域産業総合研究所へ名称変更する。
- 8月10日 八戸工業大学入試部にアドミッション・オフィスを設置する。
- 9月24日 八戸工業大学と国立研究開発法人海洋研究開発機構との連携・協力に関する協定を締結する。
- 11月26日 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）に係る連携・協力に関する協定を締結する。
- 11月30日 平成26年度私立大学施設整備費補助金（防災機能等強化緊急特別推進事業（学校施設耐震改修事業））による八戸工業大学電気電子システム専門棟（渡廊下付）の耐震補強工事が完了する。

平成28年（2016年）

- 2月2日 国立大学法人室蘭工業大学環境・エネルギーシステム材料研究機構と八戸工業大学地域産業総合研究所との学術・研究交流協定を締結する。
- 3月17日 岩手県立種市高等学校と海洋に関する連携協定を締結する。
- 3月31日 八戸工業大学学長 藤田成隆 任期満了により退任する。
- 3月31日 八戸工業大学大学院工学研究科建築工学専攻を廃止する。
- 4月1日 八戸工業大学学長 長谷川 明 就任する。



# 第5 学 則

## 1 大 学 院 学 則

八戸工業大学大学院学則（抄）

制 定 平成7年4月1日

改 正 平成28年4月1日

### 目 次

第1章	総 則
第2章	研究科および課程
第3章	開学記念日、学年、学期および休業日
第4章	教育課程および履修方法
第5章	教育職員免許状
第6章	教 職 員 組 織
第7章	運 営 組 織
第8章	課程の修了要件および学位の授与
第9章	入学、再入学、転入学および保証人
第10章	退学、転学、休学、復学および除籍
第11章	学費および入学検定料
第12章	賞 罰
第13章	科目等履修生、研究生および研究員
第14章	研究指導施設等
第15章	学 則 の 準 用
第16章	学 則 の 改 廃
附 則	
別 表	

## 第1章 総 則

### (目 的)

第1条 八戸工業大学大学院（以下「本大学院」という。）は、本学の教育理念「良き技術は、良き人格から生まれる」に則り、学術の理論および応用を教授研究し、その深奥を究めるとともに、学術研究を通して深い教養と豊かな人間性を涵養し、広く文化の進展と社会の発展に寄与することを目的とする。

### (自己点検・評価および公表等)

第2条 本大学院は、その研究水準の向上を図り、前条の目的および社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検および評価を行い公表する。

- 2 本大学院は、教育研究の内容等の改善を図るため、組織的な研修および研究を実施する。
- 3 前二項の点検および評価等についての必要な事項は、八戸工業大学自己点検・評価取扱要綱を準用する。

## 第2章 研究科および課程

### (研 究 科)

第3条 本大学院に工学研究科（以下「研究科」という。）を置く。

### (課程および区分)

第4条 研究科に博士課程を置く。

- 2 博士課程を前期2年の課程（以下「博士前期課程」という。）および後期3年の課程（以下「博士後期課程」という。）に区分する。
- 3 前項の博士前期課程は、これを修士課程として取り扱う。

### (専攻および収容定員)

第5条 研究科に次の専攻を置く。

博士課程

機械・生物化学工学専攻

電子電気・情報工学専攻

社会基盤工学専攻

## 第5 学 則

2 研究科の収容定員は、次の通りとする。

専 攻	博 士 前 期 課 程		博 士 後 期 課 程	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
機械・生物化学工学専攻	5人	10人	2人	6人
電子電気・情報工学専攻	5人	10人	2人	6人
社会基盤工学専攻	5人	10人	2人	6人
計	15人	30人	6人	18人

### (教育研究上の目的)

第6条 研究科における教育研究上の目的は、次の通りとする。

#### 一 博士前期課程

広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の能力およびその基礎となる学識を養うこと

#### 二 博士後期課程

専攻分野について研究者として自立して研究活動を行いまたはその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うこと

2 各専攻における教育研究上の目的は、次の通りとする。

#### 一 機械・生物化学工学専攻

機械システムや生物化学工学に関する専門的な知識と、複合化した利用技術への応用展開に対応できる広い視野をもった創造性豊かで問題解決能力に優れた高度な技術者または研究者を養成するとともに、移動現象、計測システム、材料加工学および物質変換工学に関する高度な研究の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

#### 二 電子電気・情報工学専攻

電子電気・情報技術に関する高度な専門知識を修得し、将来の進展が予測される産業の高度化・システム化に対応できる統合化能力をもつ技術者ならびに地域産業の高度化と発展に資する人材を養成するとともに、電子電気・情報工学および知能工学・宇宙学も含む学際的な分野の課題の解決に関する教育研究を通して、社会に貢献すること

#### 三 社会基盤工学専攻

社会の高度化に対応した高度な専門技術および情報化社会に対応した土木技術を持つ技術者・研究者ならびに環境問題や各種災害等の問題を解決するための基礎力

と高度な専門的な知識とその応用展開能力をもつ技術者・研究者を養成するとともに、人間生活向上に不可欠な社会的基盤施設の建設整備、災害予測・復旧および環境保全に関する教育研究を通じて、社会に貢献すること

(修業年限および在学期間)

第7条 博士前期課程の標準修業年限は、2年とし、博士後期課程の標準修業年限は、3年とする。

2 博士前期課程には4年を超え、博士後期課程には6年を超えて在学することができない。

### 第3章 開学記念日、学年、学期および休業日

(開学記念日・学年)

第8条 開学記念日は、1月29日とする。

2 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学 期)

第9条 学年は、次の2期に分ける。

前期 4月1日から9月15日まで

後期 9月16日から翌年3月31日まで

(休 業 日)

第10条 休業日は、次の通りとする。

一 土曜日および日曜日

二 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

三 春季休業

四 夏季休業

五 冬季休業

2 前項の第3号から第5号の休業日については、毎年度定める。

3 必要がある場合、第1項の休業日を臨時に変更し、または臨時に休業日を定めることができる。

4 必要がある場合、第1項の休業日に授業等を行うことがある。

### 第4章 教育課程および履修方法

(教育方法)

第11条 本大学院の教育は、授業科目の授業および研究指導によって行う。

## 第5 学 則

### (教育課程)

第12条 博士前期課程の各専攻の授業科目および単位数ならびに博士後期課程の各専攻の研究部門および研究分野は、別表第1の通りとする。

### (単 位)

第13条 博士前期課程における各授業科目に対する単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- 一 講義および演習については、毎週1時間15週または毎週2時間15週の授業をもって1単位とする
  - 二 実験、実習および実技については、実験室または実習場等で行われるものであることを考慮し、毎週2時間15週または毎週3時間15週の実験、実習または実技をもって1単位とする
- 2 一つの授業科目について、講義、演習、実験、実習または実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数を計算するに当たっては、その組み合わせに応じ、前項各号に規定する基準をもって1単位とする。

### (1年間の授業期間)

第14条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

### (履修方法)

第15条 学生は、学年または学期の初めに、履修しようとする授業科目を所定の手続きにより届け出なければならない。

- 2 各授業科目の履修方法ならびに研究指導の内容等に関する事項は、本大学院が別に定める。

### (単位修得認定)

第16条 授業科目の単位修得の認定は、試験による。ただし、平常の成績を加味することがある。

- 2 実験、実習、演習および実技は、平常の成績をもって試験に代えることがある。

### (試験及び成績評価)

第17条 試験は原則として、学期末に行う。

- 2 各授業科目の成績評価は、S、A、B、CおよびDによるものとし、S、A、B、Cは合格、Dは不合格とする。

3 病気その他やむを得ない事故で定期的試験に欠席した者に対しては、追試験を行うことがある。

4 その他試験の施行に関しては、別に定める。

(他の専攻の授業科目の履修)

第18条 本大学院が教育上有益と認めるときは、本大学院が定めるところにより他の専攻の授業科目を履修することができる。

2 前項の規定により他の専攻において修得した単位については、8単位を超えない範囲で所属する専攻における授業科目の履修により修得したものとみなす。

(他の大学院の授業科目の履修)

第19条 本大学院が他の大学院とあらかじめ協議のうえ教育上有益と認めるときは、本大学院が定めるところによりその大学院の授業科目を履修することができる。

2 前項の規定により修得した単位については、10単位を超えない範囲で本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす。

(入学前の既修得単位の認定)

第20条 本大学院が教育上有益と認めるときは、学生が、本大学院に入学する前に大学院において履修し修得した単位（大学院科目等履修生として修得した単位を含む。）は、本大学院において修得したものとみなすことができる。

2 前項により修得したものとみなすことのできる単位数は、第43条に規定する場合を除き10単位を超えないものとする。

(他の大学院における研究指導)

第21条 本大学院が他の大学院または研究所等とあらかじめ協議のうえ教育上有益と認めるときは、本大学院が定めるところによりその大学院または研究所等において必要な研究指導を受けることができる。この場合において、博士前期課程の学生が当該研究指導を受ける期間は、1年を超えることができない。

(外国の大学院)

第22条 第19条各項および第21条の規定は、外国の大学院または研究所等に留学する場合に準用する。

## 第5章 教育職員免許状

(教育職員免許状)

第23条 教育職員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法および同法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。

## 第5 学 則

- 2 前項の所要条件を満たした者に対しては、次に掲げる教育職員免許状取得の資格を与える。

研究科	専 攻	免 許 状 の 種 類	免許教科の種類
工学研究科	機械・生物化学工学専攻	中学校教諭専修免許状	技 術
	電子電気・情報工学専攻 社会基盤工学専攻	高等学校教諭専修免許状	工 業

## 第6章 教 職 員 組 織

### (教 員)

第24条 本大学院に、教育研究上必要な教員を置く。

- 2 本大学院における授業は、資格を有する本大学の教授、准教授および専任講師が担当する。ただし、特別の事情があるときは、兼任講師に担当させることができる。
- 3 本大学院における研究指導は、資格を有する本大学の教授が担当する。ただし、資格を有する准教授が担当することがある。

### (職 員)

第25条 本大学院に、大学院の事務を処理するため事務職員を置く。

- 2 事務職員の組織および事務分掌等についての必要な事項は、学校法人八戸工業大学事務組織規程ならびに学校法人八戸工業大学管理運営規程に定める。

## 第7章 運 営 組 織

### (運 営 組 織)

第26条 本大学院工学研究科に研究科委員会（以下「委員会」という。）を置く。

- 2 委員会の構成および運営に関する事項は、別に定める。

### (構 成)

第27条 委員会は、学長および研究指導を担当する教授、准教授をもって組織する。

### (審 議 事 項)

第28条 委員会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- 一 学生の入学、修了
- 二 学位の授与
- 三 前二号に掲げるもののほか、教育課程の編成等教育研究に関する重要な事項で、委員会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

2 委員会は、前項に規定するもののほか、学長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、および学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

(会議の招集および議長)

第29条 学長は、委員会を招集し、議長となる。

2 学長に事故あるときは、または学長が欠けたときは、学長があらかじめ指名した者が、その職務を代理し、またはその職務を行う。

(議事および運営)

第30条 委員会は、構成員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

2 在内外研究員、休職者および1カ月以上の長期欠勤者は定足数から除く。

3 委員会の議事録は、議長がこれを管理する。

(構成員以外の出席)

第31条 議長は、必要に応じて構成員以外の者に出席を求め、報告または意見を求めることができる。

## 第8章 課程の修了要件および学位の授与

### (博士前期課程修了要件)

第32条 博士前期課程の修了要件は、本大学院研究科の博士前期課程に2年以上在学し、専攻科目について主要科目（特別演習および特別研究）14単位を含み30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、課程の目的に応じ、学位論文または特定の課題についての研究成果を提出して、その審査および最終試験に合格したことをもって課程を修了したものとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績をあげた者と認めるときは、本大学院に1年以上在学すれば足りるものとする。

2 前項の場合において、委員会が課程の目的に応じ適当と認めるときは、次の二つの事項からなる「博士論文研究基礎力審査」をもって、学位論文または特定の課題についての研究成果の審査および最終試験に代えることができる。

一 専攻分野に関する高度の専門的知識および能力ならびに当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養についての試験

二 博士論文に係る研究を主体的に遂行するために必要な能力についての審査

### (博士後期課程修了要件)

第33条 博士後期課程の修了要件は、本大学院研究科の博士後期課程に3年以上在学し、必要な研究指導を受けた上、学位論文を提出して、その審査および最終試験に合格したことをもって課程を修了したものとする。ただし、在学期間に関しては、優れ



## 第5 学 則

た研究業績をあげた者と認めるときは、1年（2年未満の在学期間をもって修士課程または博士前期課程を修了した者）にあっては、当該在学期間を含めて3年）以上在学すれば足りるものとする。

### （学位の授与）

**第34条** 博士前期課程を修了した者には、修士（工学）ならびに博士後期課程を修了した者には、博士（工学）の学位を授与する。

2 博士の学位は、前項に定めるもののほか、本大学院の行う博士論文の審査に合格し、かつ、博士後期課程の修了者と同等以上の学力を有すると認められた者に授与することができる。

3 学位の授与についての必要な事項は、八戸工業大学学位規程に定める。

## 第9章 入学、再入学、転入学および保証人

### （入学の時期）

**第35条** 入学および転入学の時期は、学年の初めから30日以内とする。

2 再入学の時期は、学期の初めとする。

### （入 学 資 格）

**第36条** 博士前期課程に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- 一 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
- 二 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- 三 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- 四 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- 五 専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 六 文部科学大臣の指定した者
- 七 大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本大学院の定める単位を優秀な成績で修得したと認めた者
- 八 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- 九 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者
- 十 その他本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2 博士後期課程に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- 一 修士の学位を有する者
- 二 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者
- 三 文部科学大臣の指定した者
- 四 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたと認めた者で、24歳に達した者
- 五 その他本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたと認めた者

(入学志願手続)

第37条 本大学院に入学を志願する者は、所定の書類に入学検定料を添えて、これを定められた期日までに提出しなければならない。

(入学試験及び入学許可)

第38条 本大学院に入学を志願する者に対しては、所定の選考を行い、これに合格した者に入学を許可する。

(社会人及び外国人の入学)

第39条 本大学院に入学を志願する社会人および外国人に対しては、第38条の規定によらず、特別に選抜することがある。

2 社会人および外国人の入学者特別選抜についての必要な事項は、八戸工業大学大学院特別選抜規程に定める。

(再 入 学)

第40条 正当な理由で本大学院を退学した者が再入学を志願するときは、所定の選考の上、入学を許可することがある。

(転 入 学)

第41条 他の大学院の学生が、その課程の中途において本大学院に転入学を志願するときは、所定の選考の上、入学を許可することがある。

(入 学 手 続)

第42条 入学、再入学または転入学を許可された者は、指定の期日までに、入学金、授業料等を添えて所定の手続きを完了しなければならない。

2 前項の手続きを行わないときは、入学、再入学または転入学の許可はその効力を失う。

(既修得単位の認定)

第43条 再入学または転入学を許可された者の本大学院および他の大学院において既に

## 第5 学 則

修得した授業科目と単位数および修業年数は、審査の上、その一部または全部を認めることがある。

### (保 証 人)

第44条 入学者は、入学手続きに際し、その保証人を定めなければならない。

- 2 保証人は、父母または独立の生計を営む者で、確実に保証人としての責務を果たしうる者でなければならない。
- 3 保証人は、保証する学生の在学中に係る一切の事項について連帯の責任を負わなければならない。
- 4 本大学院が保証人として不適当と認めるときは、その変更を求めることができる。
- 5 保証人の変更、転居、改印、改氏名等は、そのつど届け出なければならない。

## 第10章 退学、転学、休学、復学および除籍

### (退学及び転学)

第45条 退学または他の大学院に転学を希望する者は、その事由を付して保証人連署の上、学長に願い出て、その許可を得なければならない。

### (休 学)

第46条 病気その他の事由により、引き続き3月以上修学することができない場合は、その事由を証明する書類を添えて保証人連署の上、学長に願い出て、その許可を得て休学することができる。

- 2 休学の期間は、1年以内とする。ただし、特別の事情のある場合は、願い出により期間の延長を許可することがある。
- 3 休学の期間は、通算して2年を超えることはできない。
- 4 休学の期間は、修業期間に算入しない。

### (復 学)

第47条 休学の期間が満了する以前にその事由が止み復学しようとする場合は、保証人連署の上、学長に願い出て、その許可を得て復学することができる。

- 2 休学の期間が満了したときは、学長に復学を届け出て復学することができる。
- 3 復学の時期は、原則として学期の初めとする。

### (除 籍)

第48条 次の各号の一に該当する者は、除籍する。

- 一 死亡の届け出のあった者
- 二 病気その他やむを得ない事情により修学の見込みのない者

- 三 第7条第2項に規定する在学期間を超える者
- 四 第46条第3項に規定する休学期間に達しても修学できない者
- 五 授業料の滞納期間が2月を超える者

## 第11章 学費および入学検定料

### (学費及び入学検定料)

- 第49条 本大学院に納付すべき学費および入学検定料は、別表第2の通りとする。
- 2 休学期間中の授業料は、原則としてこれを免除する。
  - 3 納入方法その他の取扱については、八戸工業大学学費納入規程を準用する。

## 第12章 賞 罰

### (表 彰)

- 第50条 学生にあって、顕著な善行のあった者は、表彰することがある。
- 2 修了に際して、人物、学業ともに優秀で他の学生の模範となるに足る学生は、表彰することがある。

### (懲 戒)

- 第51条 本大学院の規および命令に違反し、または学生の本分に反する行為のあった者は、懲戒する。
- 2 懲戒の種類は、訓告、停学および退学とする。
  - 3 懲戒処分基準およびその手続きについては、別に定める。

## 第13章 科目等履修生、研究生および研究員

### (科目等履修生)

- 第52条 本大学院の授業科目のうち1科目または数科目を選んで履修を志願する者があるときは、学生の履修に支障のない限り、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。
- 2 科目等履修生についての必要な事項は、八戸工業大学大学院科目等履修生規程に定める。

### (研 究 生)

- 第53条 本大学院において特殊事項について研究を行うことを希望する者があるときは、学生の指導および研究に支障のない限り、選考の上、研究生として入学を許可することがある。

## 第5 学 則

2 研究生についての必要な事項は、八戸工業大学大学院研究生規程に定める。

### (研 究 員)

第54条 他の大学院または機関等から本大学院での研究活動の願い出があったときは、あらかじめ当該大学院または機関等と協議の上、研究員として受入れを許可することがある。

2 研究員についての必要な事項は、八戸工業大学受託研究員規程ならびに八戸工業大学客員研究員規程を準用する。

## 第14章 研究指導施設等

### (研究指導施設)

第55条 本大学院に、学生研究室を設ける。

### (附属施設等)

第56条 大学院学生の附属施設および厚生施設の利用については、別に定めるところによる。

## 第15章 学 則 の 準 用

### (学則の準用)

第57条 この学則において特に定めのない事項については、八戸工業大学学則を準用する。

## 第16章 学 則 の 改 廃

### (学則の改廃)

第58条 この学則の改廃は、委員会の議を経て、理事会が行う。

### 附 則

この学則は、平成7年4月1日から施行する。

### 附 則 (平成8年2月27日 八戸工大総第72号)

この学則は、平成8年4月1日から施行する。

### 附 則 (平成9年3月24日 八戸工大総第80号)

1 この学則は、平成9年4月1日から施行する。

2 平成8年度以前に本大学院修士課程に入学した学生で、この学則の施行時に在籍する者は、本大学院博士前期課程に在籍するものとして取扱う。

附 則（平成10年3月2日 八戸工大総第68号）

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則（平成11年3月20日 八戸工大総第88号）

この学則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則（平成12年3月8日 八戸工大総第92号）

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成12年6月30日 八戸工大総第35号）

- 1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 平成12年度以前に本大学院修士課程に入学した学生で、この学則の施行時に在籍する者は、本大学院博士前期課程に在籍するものとして取扱う。

附 則（平成14年3月20日 八戸工大総第82号）

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成15年3月7日 八戸工大総第80号）

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成18年3月3日 八戸工大総第71号）

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成18年8月30日 八戸工大総第40号）

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 機械システム工学専攻および電気電子工学専攻は、第6条の規程にかかわらず、平成19年3月31日に当該専攻に在籍する者が、当該専攻に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

## 第5 学 則

附 則（平成18年11月7日 八戸工大総第52号）

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成19年2月20日 八戸工大総第71号）

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年2月22日 八戸工大総第73号）

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成20年10月30日 八戸工大総第58号）

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成21年2月26日 八戸工大総第91号）

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成23年2月23日 八戸工大総第76号）

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 第17条第2項については、平成22年度以前に入学した学生は従前の規定を適用する。

附 則（平成25年2月22日 八戸工大総第82号）

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成26年2月27日 八戸工大総第75号）

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成26年12月18日 八戸工大総第56号）

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 土木工学専攻は、平成27年3月31日に当該専攻に在籍する全学年を対象として、名称変更する。

附 則（平成27年3月31日 八戸工大総第87号）  
この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月31日 八戸工大総第81号）  
この学則は、平成28年4月1日から施行する。



第5 学 則

別表第1（その1）

機械・生物化学工学専攻 博士前期課程 教育課程表

部門	授 業 科 目	単位数	摘 要
移動現象工学	移動現象工学特論	2	専攻する部門の特別演習、特別研究の14単位を含む30単位以上修得する。
	熱工学特論	2	
	流体工学特論	2	
	流体システム工学特論	2	
	特別演習	6	
	特別研究	8	
計測システム工学	計測自動制御工学特論	2	
	メカノプティクス特論	2	
	システム計測工学特論	2	
	数値情報工学特論	2	
	特別演習	6	
	特別研究	8	
材料加工学	材料力学特論	2	
	新素材工学特論	2	
	材料プロセス工学特論	2	
	精密加工学特論	2	
	特別演習	6	
	特別研究	8	
物質変換工学	物質変換工学特論	2	
	変換プロセス工学特論	2	
	機能性物質工学特論	2	
	表面物性制御工学特論	2	
	特別演習	6	
	特別研究	8	
基盤科目	応用数学特論(A)	2	
	応用物理学特論(A)	2	
	応用化学特論(A)	2	

機械・生物化学工学専攻 博士後期課程 研究部門及び研究分野

研 究 部 門	研 究 分 野
移動現象工学	移動現象工学特別研究
計測システム工学	計測システム工学特別研究
材料加工学	材料加工学特別研究
物質変換工学	物質変換工学特別研究

別表第1 (その2)

電子電気・情報工学専攻 博士前期課程 教育課程表

部門	授 業 科 目	単位数	摘 要
電子デバイス工学	半 導 体 工 学 特 論	2	専攻する部門の特別演習、特別研究の14単位を含む30単位以上修得する。
	磁 性 体 工 学 特 論	2	
	誘 電 体 工 学 特 論	2	
	光エレクトロニクス工学特論	2	
	特 別 演 習	6	
	特 別 研 究	8	
通信メディア工学	量子エレクトロニクス特論	2	
	マイクロ波工学特論	2	
	計測システム工学特論	2	
	ネットワーク工学特論	2	
	特 別 演 習	6	
	特 別 研 究	8	
エネルギーシステム工学	気 体 電 子 工 学 特 論	2	
	プ ラ ズ マ 工 学 特 論	2	
	エ ネ ル ギ ー 変 換 工 学 特 論	2	
	エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム 工 学 特 論	2	
	特 別 演 習	6	
	特 別 研 究	8	
情報システム工学	マルチメディア工学特論	2	
	知 能 情 報 学 特 論	2	
	制 御 シ ス テ ム 工 学 特 論	2	
	情 報 シ ス テ ム 工 学 特 論	2	
	特 別 演 習	6	
	特 別 研 究	8	
基盤科目	応 用 数 学 特 論 (B)	2	
	応 用 物 理 学 特 論 (B)	2	
	応 用 化 学 特 論 (B)	2	

電子電気・情報工学専攻 博士後期課程 研究部門及び研究分野

研 究 部 門	研 究 分 野
電 子 デ バ イ ス 工 学	電 子 デ バ イ ス 工 学 特 別 研 究
通 信 メ デ ィ ア 工 学	通 信 メ デ ィ ア 工 学 特 別 研 究
エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム 工 学	エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム 工 学 特 別 研 究
情 報 シ ス テ ム 工 学	情 報 シ ス テ ム 工 学 特 別 研 究

第5 学 則

別表第1（その3）

社会基盤工学専攻 博士前期課程 教育課程表

部門	授 業 科 目	単位数	摘 要
構造材料工学	建設材料学特論	2	専攻する部門の特別演習、特別研究の14単位を含む30単位以上修得する。
	維持管理工学特論	2	
	コンクリート構造工学特論	2	
	鋼構造工学特論	2	
	特別演習	6	
	特別研究	8	
地盤防災工学	土質力学特論	2	
	土構造工学特論	2	
	地盤防災工学特論	2	
	地震耐震工学特論	2	
	特別演習	6	
	特別研究	8	
水工・寒地工学	水工学特論Ⅰ	2	
	水工学特論Ⅱ	2	
	寒地工学特論	2	
	特別演習	6	
	特別研究	8	
環境工学	都市・地域計画特論	2	
	環境工学特論Ⅰ	2	
	環境工学特論Ⅱ	2	
	環境衛生工学特論	2	
	特別演習	6	
	特別研究	8	
基盤科目	応用数学特論(C)	2	
	応用物理学特論(C)	2	
	応用化学特論(C)	2	

社会基盤工学専攻 博士後期課程 研究部門及び研究分野

研 究 部 門	研 究 分 野
構造材料工学	構造材料工学特別研究
地盤防災工学	地盤防災工学特別研究
水工・寒地工学	水工・寒地工学特別研究
環境工学	環境工学特別研究

## 別表第2

## 学 費 及 び 入 学 検 定 料

学費種類	学 生	科目等履修生	研 究 生						
入 学 金 (入学時)	250,000 円	25,000 円	66,000 円						
授 業 料	992,000 円 (年額)	22,000 円 (1 単位につき)	288,000 円 (年額)						
<p>1. 入学検定料は、次の通りとする。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>学 生</td> <td>30,000 円</td> </tr> <tr> <td>科目等履修生</td> <td>20,000 円</td> </tr> <tr> <td>研究生</td> <td>20,000 円</td> </tr> </table> <p>2. 八戸工業大学を卒業した者が入学する場合は、学生入学金を免除する。</p>				学 生	30,000 円	科目等履修生	20,000 円	研究生	20,000 円
学 生	30,000 円								
科目等履修生	20,000 円								
研究生	20,000 円								

## 第5 学 則

# 2 大 学 学 則

八戸工業大学学則（抄）

制 定 昭和47年4月1日

改 正 平成27年4月1日

## 目 次

- 第1章 目的および自己点検・評価
- 第2章 学部構成および教育研究上の目的
- 第3章 修業年限および収容定員
- 第4章 開学記念日、学年、学期および休業日
- 第5章 入学、再入学、転入学、編入学、復籍、転学部、転学科および保証人
- 第6章 休学、転学、退学および除籍
- 第7章 教育課程および履修の方法
- 第8章 卒業および学位授与
- 第9章 教育職員免許状
- 第10章 学費および入学検定料
- 第11章 科目等履修生
- 第12章 特別聴講学生
- 第13章 研 究 生
- 第14章 外国人特別留学生
- 第15章 賞 罰
- 第16章 職員組織および教授会
- 第17章 基礎教育研究センター、図書館、工作技術センターおよび研究所
- 第18章 大 学 院
- 第19章 公 開 講 座
- 第20章 学 則 の 改 廃
- 附 則
- 別 表

## 第1章 目的および自己点検・評価

第1条 本学は、「良き技術は、良き人格から生まれる」を教育理念とし、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学術を教授研究し、知的、道徳的および応用的能力を展開させ、あわせて人類の幸福を希求する科学技術の振興と文化の創造ならびに地域社会の発展に寄与することを目的とする。

第2条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的および社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検および評価を行い、その結果を公表するとともに、公的機関による認証評価を受けるものとする。

- 2 本学は、教育研究の内容等の改善を図るための組織的な研修および研究を実施する。
- 3 前二項の点検および評価等についての必要な事項は、八戸工業大学自己点検・評価取扱要綱を準用する。

## 第2章 学部構成および教育研究上の目的

第3条 本学に、次の学部および学科を置く。

### 工学部

機械情報技術学科

電気電子システム学科

システム情報工学科

バイオ環境工学科

土木建築工学科

### 感性デザイン学部

感性デザイン学科

- 2 工学部および感性デザイン学部の教育研究上の目的は、次の通りとする。

#### 一 工学部

豊かな人間性と総合的な判断力をもった技術者、工学の基礎原理を踏まえ高度な応用展開能力をもった技術者および地域社会への関心とともに国際的な視野をもった技術者を育成するとともに、機械、電子・電気、土木・建築、情報およびバイオ・環境などの工学に関する教育研究の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

#### 二 感性デザイン学部

現代社会が抱える問題を発見、理解できる能力、並びにその問題の解決ができるデザイン能力を有し、豊かな生活と幸福な社会づくりに貢献できる人材を育成する

## 第5 学 則

とともに、人々の生活の視点に立った感性デザインを探究し、これらの成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

### 3 各学科における教育研究上の目的は、次の通りとする。

#### 一 機械情報技術学科

多様化した社会ニーズに応えるため、必要な科学と機械ならびに情報技術の知識、幅広い教養と倫理観および問題解決・応用展開能力をもった機械技術者を養成するとともに、材料および設計・製造加工学、エネルギーおよび熱・流体工学、情報および制御工学、自動車工学、ロボット工学などに関する研究の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

#### 二 電気電子システム学科

科学技術の高度化、知能化およびシステム化の進展とエネルギー環境問題の解決ならびに地域のニーズに応えるため、幅広い教養と技術者としての倫理観をもち、電気電子技術に関する知識の応用力と構想力を備えた技術者を育成する。また、電子デバイス、情報・通信・メディア、エネルギーシステム制御に関する研究の実施と成果の還元を通じて社会の発展に貢献すること

#### 三 システム情報工学科

情報通信技術の分野で地域産業の活性化と発展をはかるため、科学技術の基礎知識、情報工学の専門知識ならびに国際的視野に立った幅広い教養と倫理観を備え、時代の変化に対応できる能力をもった技術者を養成するとともに、情報工学、システム工学、マルチメディア工学および情報関連分野に関する研究の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

#### 四 バイオ環境工学科

バイオ基礎として生物がもつ特異な機能を種々のシステムに有効活用できるバイオテクノロジーに関する専門知識と食品衛生管理技術を身につけたバイオ技術者および環境に負荷を与えない環境調和・環境修復に関する知識と実務能力をもつ環境調和技術者を育成するとともに、生物、環境科学に関する研究の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

#### 五 土木建築工学科

社会基盤と居住空間の整備、自然環境と調和した地域社会の発展、地域・文化・時代により変化する建設分野への要請および諸課題へ対応するため、必要な科学と土木・建築工学技術の知識、幅広い教養と倫理観、コミュニケーション能力、生涯自己学習能力および問題解決・応用展開能力をもった技術者を養成するとともに、

土木工学および建築工学に関する研究の実施と成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

六 感性デザイン学科

現代社会の構造変化、価値観の多様化などの社会的背景を理解し、多角的な視点でモノを表現するデザイン力、並びに豊かな住環境を提供するデザイン力をもって、幸福で美しい社会づくりに積極的に携わることができる人材を養成するとともに、人々の生活の視点に立った感性デザインを探究し、これらの成果の公表を通じて社会の発展に貢献すること

第3章 修業年限および収容定員

第4条 本学の修業年限は、4年とする。ただし、在学年数は8年を超えることができない。

第5条 本学の入学定員および収容定員は、次の通りとする。

	入学定員	収容定員
一 工学部 機械情報技術学科	80名	320名
二 工学部 電気電子システム学科	60名	240名
三 工学部 システム情報工学科	70名	280名
四 工学部 バイオ環境工学科	60名	240名
五 工学部 土木建築工学科	70名	280名
六 感性デザイン学部 感性デザイン学科	60名	240名

第4章 開学記念日、学年、学期および休業日

第6条 開学記念日は、1月29日とする。

2 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第7条 学年を分けて、次の2学期とする。

- 一 前期（4月1日より 9月15日まで）
- 二 後期（9月16日より 翌年 3月31日まで）

第8条 学年中の休業日は、次の通りとする。

- 一 土曜日および日曜日
- 二 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- 三 春季休業
- 四 夏季休業



## 第5 学 則

### 五 冬季休業

- 2 前項の第3号から第5号の休業日については、毎年度定める。
- 3 必要がある場合、第1項の休業日を臨時に変更し、または臨時に休業日を定めることができる。
- 4 必要がある場合、第1項の休業日に授業等を行うことがある。

## 第5章 入学、再入学、転入学、編入学、復籍、転学部、転学科および保証人

**第9条** 入学、転入学および編入学の時期は、学年の初めから30日以内とする。

- 2 再入学の時期は、学期の初めとする。

**第10条** 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- 一 高等学校を卒業した者
- 二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）
- 三 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 四 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 五 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 六 文部科学大臣の指定した者
- 七 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- 八 相当の年齢に達し、本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

**第11条** 入学を志願する者に対しては、入学試験の上、入学を許可する。

**第12条** 本学を退学した者または第22条第五号の規定により除籍となった者が、再入学を志願するときは、選考の上、許可することがある。

- 2 第22条第二号、第三号及び第四号の規定により除籍された者の復籍については、認めない。
- 3 第22条第五号の規定により除籍された者の復籍については、別に定める。

**第13条** 次の各号の一に該当する者は、人員に余裕のある場合に限り、選考の上、転入学または編入学を許可することがある。

- 一 他の大学に在学する者で、その学長または学部長の許可を得て転入学を志願する者
- 二 大学、短期大学、高等専門学校を卒業した者ならびに文部科学大臣の定める基準を満たす専修学校の専門課程を修了した者（学校教育法第90条に規定する者に限る。）で、本学に編入学を志願する者

**第14条** 転学部あるいは転学科を志願する者があるときは、選考の上、許可することがある。

**第15条** 再入学、転入学、編入学、転学部または転学科を許可された者の、すでに修得した授業科目とその単位数および修業年数は、審査の上、その一部または全部を認めることがある。

**第16条** 学生が本学に入学する前に大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）について、教育上有益と認めるときは、本学における授業科目の履修により修得したものとして認定することができる。ただし、この認定に関連して修業年限の短縮は行わない。

2 前項による単位の認定は、合計30単位を超えない範囲で行うものとする。

**第17条** 入学、再入学、転入学または編入学を許可された者は、保証人連署の誓約書を指定期日までに提出し、その他本学所定の入学手続きを完了しなければならない。

2 正当の理由なく前項の手続きをしないときは、入学、再入学、転入学または編入学の許可はその効力を失う。

**第18条** 保証人は父母または独立生計を営む成年の者とする。

2 保証人は、入学、再入学、転入学または編入学を許可された者の誓約に関し、連帯責任を負うものとする。

3 保証人の変更、転居、改印、改氏名等は、そのつど届け出なければならない。

## 第6章 休学、転学、退学および除籍

**第19条** 病気その他の事由により、引続き3月以上修学することができない場合は、願い出て許可を受けて休学することができる。

2 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の事情がある場合は、願い出により期間の延長を許可することがある。

3 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

4 休学期間中に事由がなくなったときは、許可を受けて復学することができる。

5 休学期間は、修業期間に算入しない。

**第20条** 他の大学に転学を志願する者は、事由を具して、その許可を願い出なければならない

## 第5 学 則

らない。

**第21条** 退学しようとする者は、事由を具して、その許可を願い出なければならない。

**第22条** 次の各号の一に該当する者は、除籍する。

- 一 死亡の届け出のあった者
- 二 病気その他やむを得ない事情により修学の見込みのない者
- 三 第4条の在学年数を経て、なお所定の課程を修了できない者
- 四 第19条第3項の休学期間に達しても、なお修学できない者
- 五 授業料等の滞納期間が2月を超える者

## 第7章 教育課程および履修の方法

**第23条** 本学の開設する授業科目、単位数、授業時間数およびその配置等は、別表第1による。

2 学生が所属する学部学科以外の学科の講義科目を履修することを認めることがある。

3 学部または学科に、必要に応じて履修上のコースを設けることができる。

**第24条** 各授業科目に対する単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- 一 講義および演習については、毎週1時間15週または毎週2時間15週の授業をもって1単位とする
- 二 実験、実習および実技については、実験室または実習場等で行われるものであることを考慮し、毎週2時間15週または毎週3時間15週の実験、実習または実技をもって1単位とする

2 一つの授業科目について、講義、演習、実験、実習または実技のうち二つ以上の方法の併用により行う場合の単位数を計算するに当たっては、その組み合わせに応じ、前項各号に規定する基準をもって1単位とする。

**第25条** 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

**第26条** 学生は、毎学期の初めに、履修しようとする授業科目を、所定の手続きにより届け出なければならない。

2 学生は、届け出た科目に限り、単位修得の認定を受けることができる。

**第27条** 授業科目の単位修得の認定は、試験による。ただし、平常の成績を加味するこ

とがある。

2 実験、実習、演習および実技は、平常の成績をもって試験にかえることがある。

**第28条** 試験は原則として、学期末に行う。

2 各授業科目の成績評価は、S、A、B、CおよびDによるものとし、S、A、B、Cは合格、Dは不合格とする。

3 病気その他やむを得ない事故で定期的試験に欠席した者に対しては、追試験を行うことがある。

4 その他試験の施行に関しては、別に定める。

**第29条** 各学年において、修得単位数が、別に定める基準に満たない場合には、その学年に留年とする。

**第30条** 卒業に必要な修得単位数は、別表第1に定める単位を含め、124単位以上とする。

**第31条** 卒業研究あるいは卒業制作・論文の題目および研究計画は、卒業しようとする年度の初めに、所定の手続きにより、届け出なければならない。

**第32条** 学長は、学生が他の大学の授業科目を履修することまたは、これに相当する教育機関等において修学することが教育上有益であると認めるときは、教授会の議を経て当該大学等と協議のうえ、履修することまたは修学することを認めることができる。

2 学長は、学生が外国の大学またはこれに相当する教育機関等において修学することが教育上有益であると認めるときは、教授会の議を経て当該大学等と協議のうえ、留学することを認めることができる。

3 留学の期間は、修業期間に算入する。

4 学長は、第1項の規定により修得した成果および、第2項の規定により留学して得た修学の成果について、教授会の議を経て本学において修得したものとして認定するものとする。

5 前項の規定により修得したものとみなす単位数は、第16条の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

## 第8章 卒業および学位授与

**第33条** 本学において4年以上修業し、所定の授業科目を履修し所定の単位を修得した者は卒業とし、工学部にあつては学士（工学）、感性デザイン学部にあつては学士（感性デザイン）の学位を授与する。

2 前項の規定にかかわらず文部科学大臣の定めるところにより、本学に3年以上在学

## 第5 学 則

した者で、卒業の要件として本学が定める単位を優秀な成績で修得したと認める場合は、卒業を認めるものとする。

3 学位の授与についての必要な事項は、八戸工業大学学位規程に定める。

### 第9章 教育職員免許状

**第34条** 教育職員免許状を取得しようとする者は、卒業に必要な単位を修得するほか、教育職員免許法および同法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。この修得すべき授業科目ならびに単位数は別表第1に掲げる。

2 前項の所要条件を満たした者に対しては、次に掲げる教育職員免許状取得の資格を与える。

免許状の種類	免許教科の種類	学 科
中学校教諭 一種免許状	技 術	工 学 部 機 械 情 報 技 術 学 科 電 気 電 子 シ ス テ ム 学 科 シ ス テ ム 情 報 工 学 科 バ イ オ 環 境 工 学 科 土 木 建 築 工 学 科
	美 術	感性デザイン学部 感 性 デ ザ イ ン 学 科
高等学校教諭 一種免許状	工 業	工 学 部 機 械 情 報 技 術 学 科 電 気 電 子 シ ス テ ム 学 科 シ ス テ ム 情 報 工 学 科 バ イ オ 環 境 工 学 科 土 木 建 築 工 学 科
	情 報	工 学 部 シ ス テ ム 情 報 工 学 科
	理 科	工 学 部 バ イ オ 環 境 工 学 科
	美 術	感性デザイン学部
	工 芸	感 性 デ ザ イ ン 学 科

## 第10章 学費および入学検定料

第35条 本学に納付すべき学費および入学検定料は、別表第2の通りとする。

第36条 納入方法その他の取扱いについては、別に定める。ただし、休学期間中の授業料は、原則としてこれを免除する。

## 第11章 科目等履修生

第37条 本学の授業科目のうち、1科目または数科目を選んで履修を志願する者があるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

第38条 科目等履修生の入学の時期は、学年または学期の初めとする。

第39条 科目等履修生はその履修科目を学修するのに十分な学力がなければならない。

第40条 科目等履修生の在学期間は1年以内とする。ただし、願い出によって期間を延長することがある。

第41条 科目等履修生は、その履修科目の試験を受けることができる。

2 試験に合格した者には、大学の定めるところにより、単位修得の認定をする。

第42条 科目等履修生の学費および入学検定料は、別表第2の通りとする。

第43条 科目等履修生には、本章の規定のほか、第4章（学年、学期および休業日）、第17条（入学手続）、第18条（保証人）、第6章（休学、転学、退学および除籍）、第7章（教育課程および履修の方法）、第9章（教育職員免許状）および第15章（賞罰）の規定を準用する。

## 第12章 特別聴講学生

第44条 本学と他の大学または、これに相当する教育機関等との協議に基づき、本学の学生が当該他大学等で開設する授業科目の履修および単位の修得を希望するとき、若しくは当該他大学等の学生が本学で開設する授業科目の履修および単位の修得を希望するときは、特別聴講学生として扱い、その履修および単位の修得を認めることができる。

2 特別聴講学生に関し必要な事項は、別に定める。

第45条 受入れ特別聴講学生には、本章の規定のほか、第4章（学年、学期および休業日）、第7章（教育課程および履修の方法）および第15章（賞罰）の規定を準用する。

## 第13章 研 究 生

第46条 本学において特定の事項について研究することを願い出た者があるときは、選

## 第5 学 則

考の上、研究生として入学を許可することがある。

**第47条** 研究生の入学の時期は、学年または学期の初めとする。ただし、特別の事情がある場合はこの限りではない。

**第48条** 研究生を志願できるものは、次の各号の一に該当する者とする。

- 一 大学を卒業した者
- 二 短期大学、高等専門学校またはこれと同等以上の学校を卒業した者で、関係学科を履修した者
- 三 本学において前二号と同等以上の学力があると認めたる者

**第49条** 研究生の在学期間は、1年以内とする。ただし引き続き在学を願い出たときは、在学期間の延長を許可することがある。

**第50条** 研究生が研究事項について証明を願い出たときは、研究証明書を交付することがある。

**第51条** 研究生がその研究に関係のある授業科目の履修を願い出たときは、許可することがある。

**第52条** 研究生の学費および入学検定料は、別表第2の通りとする。

**第53条** 研究生には、本章の規定のほか、第4章（学年、学期および休業日）、第17条（入学手続）、第18条（保証人）、第6章（休学、転学、退学および除籍）、第7章（教育課程および履修の方法）および第15章（賞罰）の規定を準用する。

2 研究生が授業科目を履修する場合は、その履修科目について、第11章（科目等履修生）の規定を準用する。

## 第14章 外国人特別留学生

**第54条** 外国人で特別留学生として入学を希望する者があるときは、第10条の規定によらず、特別に選抜の上入学を許可することがある。

**第55条** 外国人特別留学生の取り扱いについては、別に定める規定による外はすべて本学学生に関する規定を準用する。

## 第15章 賞 罰

**第56条** 顕著な善行があった者は表彰することがある。

2 卒業に際して、人物、学業ともに優秀で他の学生の模範とするに足る者は表彰することがある。

**第57条** 本学の規則、命令に違反し、または学生の本分に反する行為のあった者は、懲

戒する。

- 2 懲戒の種類は、訓告、停学および退学とする。
- 3 停学3月以上にわたるときは、その期間は修業期間に算入しない。
- 4 懲戒処分の基準およびその手続きについては、別に定める。

**第58条** 前条の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

- 一 性行不良で改善の見込みがないと認められた者
- 二 学力劣等で成業の見込みがないと認められた者
- 三 正当の理由がなく出席常でない者
- 四 本学の秩序を乱し、その他学生の本分に反した者

## 第16章 職員組織および教授会

**第59条** 本学に学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員および技術職員を置く。

- 2 本学に前項のほか、副学長その他必要な職員を置くことができる。

**第60条** 職員の職務は、次の通りとする。

- 一 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統轄する
- 二 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる
- 三 教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の特に優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する
- 四 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する
- 五 講師は、教授または准教授に準ずる職務に従事する
- 六 助教は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の知識および能力を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する
- 七 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する
- 八 事務職員は、事務に従事する
- 九 技術職員は、技術に関する職務に従事する

**第61条** 本学に、教授会を置く。

- 2 教授会は、学長、副学長、教授、准教授、講師および助教をもって組織する。



## 第5 学 則

3 教授会の構成および運営に関する事項は、別に定める。

**第62条** 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

一 学生の入学、卒業

二 学位の授与

三 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、および学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

## 第17章 基礎教育研究センター、図書館、工作技術センターおよび研究所

**第63条** 本学に基礎教育研究センター、図書館、工作技術センターおよび研究所を置く。

2 基礎教育研究センター、図書館、工作技術センターおよび研究所の運営等に関する事項は、別に定める。

## 第18章 大 学 院

**第64条** 本学に大学院を置く。

2 大学院に関する事項は、別に定める。

## 第19章 公 開 講 座

**第65条** 本学に公開講座を開設することができる。

2 公開講座の運営等に関する事項は、別に定める。

## 第20章 学 則 の 改 廃

**第66条** この学則の改廃は、教授会の議を経て、理事会が行う。

附 則（昭和46年9月28日 八戸工業大学設置認可申請書）

この学則は、昭和47年4月1日から施行する。

附 則（昭和50年3月25日 八工大総第251号）

この学則は、昭和50年4月1日から施行する。

附 則（昭和51年3月25日 八工大総第64号）

この学則は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則（昭和53年3月25日 八工大総第51号）

- 1 この学則は、昭和53年4月1日から施行する。
- 2 昭和52年以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。

附 則（昭和54年2月28日 八工大総第38号）

- 1 この学則は、昭和54年4月1日から施行する。
- 2 昭和54年以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。

附 則（昭和55年3月25日 八工大総第38号）

- 1 この学則は、昭和55年4月1日から施行する。
- 2 昭和54年以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。

附 則（昭和56年1月30日 八工大総第36号）

- 1 この学則は、昭和56年4月1日から施行する。
- 2 昭和55年以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。

附 則（昭和57年3月11日 八工大総第64号）

- 1 この学則は、昭和57年4月1日から施行する。
- 2 第2条および第4条の産業機械工学科は昭和57年度より学生募集を停止する。
- 3 昭和56年以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。

附 則（昭和57年12月20日 八工大総第57号）

この学則は、昭和58年4月1日から施行する。

## 第5 学 則

### 附 則（昭和59年3月22日 八工大総第54号）

- 1 この学則は、昭和59年4月1日から施行する。
- 2 昭和58年以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。

### 附 則（昭和60年3月8日 八工大総第62号）

- 1 この学則は、昭和60年4月1日から施行する。
- 2 昭和59年以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。

### 附 則（昭和61年3月7日 八工大総第60号）

- 1 この学則は、昭和61年4月1日から施行する。
- 2 昭和60年以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。

### 附 則（昭和62年2月13日 八工大総第40号）

- 1 この学則は、昭和62年4月1日から施行する。
- 2 昭和61年以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。

### 附 則（昭和63年3月1日 八工大総第63号）

- 1 この学則は、昭和63年4月1日から施行する。
- 2 昭和62年以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。

### 附 則（平成元年3月22日 八工大総第79号）

- 1 この学則は、平成元年4月1日から施行する。
- 2 昭和63年以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。
- 3 昭和63年度以前に入学した学部学生の授業料は、当該入学年度の授業料に1万円を加算した金額とする。

附 則（平成2年2月7日 八工大総第60号）

- 1 この学則は、平成2年4月1日から施行する。
- 2 平成元年度以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。

附 則（平成3年2月27日 八工大総第65号）

- 1 この学則は、平成3年4月1日から施行する。
- 2 平成2年度以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。
- 3 平成2年度以前に入学した学生の授業料は、当該入学年度の授業料に当該入学年度の施設設備費、実験実習費並びに維持費を加算した金額とする。当該入学年度の施設設備費、実験実習費並びに維持費は廃止する。

附 則（平成3年10月3日 八工大総第37号）

この学則は、平成3年9月1日から施行する。

附 則（平成4年3月4日 八工大総第60号）

- 1 この学則は、平成4年4月1日から施行する。
- 2 平成3年度以前に入学した学生の授業科目、単位数およびその配置は改正前の学則による。
- 3 第4条の規定にかかわらず、平成4年度から平成11年度までの入学定員は、次の通りとする。

一	工学部	機械工学科	120名
二	工学部	電気工学科	120名
三	工学部	土木工学科	120名
四	工学部	建築工学科	120名
五	工学部	エネルギー工学科	120名

附 則（平成5年2月9日 八工大総第54号）

この学則は、平成5年4月1日から施行する。

## 第5 学 則

附 則（平成6年2月7日 八工大総第69号）

この学則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則（平成7年3月17日 八工大総第67号）

この学則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成8年2月27日 八工大総第72号）

この学則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成9年3月24日 八工大総第80号）

この学則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則（平成10年3月2日 八工大総第68号）

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則（平成11年1月6日 八工大総第72号）

- 1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 2 電気工学科は、第2条の規定にかかわらず、平成11年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則（平成11年3月20日 八工大総第88号）

この学則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則（平成11年7月29日 八工大総第40号）

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成11年7月30日 八工大総第41号）

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成12年3月8日 八工大総第92号）

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成12年11月6日 八工大総第72号）

- 1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 機械工学科および土木工学科は、第2条の規定にかかわらず、平成13年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則（平成13年3月8日 八工大総第93号）

この学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則（平成13年5月31日 八工大総第17号）

- 1 この学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 第2条および第4条のエネルギー工学科は、平成14年度より学生募集を停止する。

附 則（平成14年3月20日 八工大総第82号）

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成14年7月30日 八工大総第45号）

- 1 この学則は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 電気電子工学科は、第2条の規定にかかわらず、平成15年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則（平成15年3月7日 八工大総第80号）

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成16年3月5日 八工大総第88号）

この学則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成16年6月18日 八工大総第30号）

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年3月30日 八工大総第94号）

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

## 第5 学 則

附 則（平成17年3月30日 八工大総第95号）

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成18年3月3日 八工大総第72号）

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成18年11月7日 八工大総第53号）

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年2月22日 八工大総第74号）

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成20年6月27日 八工大総第27号）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 第3条および第5条の環境建設工学科および建築工学科は、平成21年度から学生募集を停止する。

附 則（平成20年9月24日 八工大総第46号）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 工学部生物環境化学工学科は、第3条の規定にかかわらず、平成21年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則（平成20年10月30日 八工大総第57号）

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成21年2月26日 八工大総第92号）

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成21年4月7日 八工大総第2号）

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 工学部電子知能システム学科は、第3条の規定にかかわらず、平成22年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則（平成22年3月2日 八工大総第73号）

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成23年2月23日 八工大総第75号）

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 第28条第2項については、平成22年度以前に入学した学生は従前の規定を適用する。

附 則（平成25年3月29日 八工大総第94号）

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成26年2月27日 八工大総第76号）

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成26年12月25日 八工大総第57号）

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

但し、建築工学科廃止日は、理事会承認の日（平成26年12月19日）とする。

附 則（平成27年3月31日 八工大総第86号）

この学則は、平成27年4月1日から施行する。



第5 学 則

機 械 情 報 技 術 学 科 課 程 表

別表第1

平成21年度入学生より適用

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要		
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年				
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
導入転換 科 目	キ ャ リ ア デ ザ イン	キ ャ リ ア デ ザ イン I	1	1	1										
		キ ャ リ ア デ ザ イン II	1			1	1								
		キ ャ リ ア デ ザ イン III	2					2	2						
		キ ャ リ ア デ ザ イン IV	1	2											
	工学への関心	機 械 情 報 ゼ ミ ナ ー ル I	1	2											
		機 械 情 報 技 術 概 論	2		2										
エ ン ジ ン 解 剖 実 習		1	3												
総合教養 科 目	人 間 科 学	哲 学	2				2							左記の科目から必修を含み8単位以上修得すること	分野を問わず必修を含み24単位以上修得すること
		文 学	2			2									
		心 理 学	2			2									
		職 業 倫 理	2					2							
		歴 史	2	2											
		経 済 学	2		2										
	日 本 国 憲 法	2						2							
	国際コミュニ ケ ー シ ョ ン	日 本 語 表 現 法	2		2									左記の科目から必修を含み8単位以上修得すること	
		実 践 日 本 語 表 現	2				2								
		現 代 英 語 I	1		2										
		現 代 英 語 II	1			2									
		英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	1			2									
		英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	1				2								
		英 語 特 別 演 習	1					2							
		ド イ ツ 語 基 礎 I	1	2											
		ド イ ツ 語 基 礎 II	1		2										
		ド イ ツ 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	1			2									
		ド イ ツ 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	1				2								
		ド イ ツ 語 特 別 演 習	1					2							
		中 国 語 基 礎 I	1	2											
中 国 語 基 礎 II		1		2											
中 国 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	1			2											
中 国 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	1				2										
中 国 語 特 別 演 習	1					2									

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要			
			必 修	選 択	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期				
総合教養 科 目	体育科学	体 育 学		1	2											
		スポーツ健康学		1			2									
		スポーツ特別演習		1		2										
	総合学際	主題別ゼミナールⅠ		2		2										
		主題別ゼミナールⅡ		2			2									
		主題別ゼミナールⅢ		2				2								
		主 題 別 講 義		2						2						
	海 外 研 修		1	2												
工学基礎 科 目	工学基礎	機 械 基 礎 数 学	2		2											左記の科目から必修を含み14単位以上修得すること
		線 形 代 数	2			2										
		微 分	2		2											
		積 分	2			2										
		確 率 ・ 統 計	2				2									
		応 用 数 学	2						2							
		基 礎 物 理 学 Ⅰ	2			2										
		基 礎 物 理 学 Ⅱ	2				2									
		基 礎 物 理 学 Ⅲ	2						2							
		基 礎 化 学 Ⅰ	2	2												
		基 礎 化 学 Ⅱ	2			2										
		物 理 学 実 験	2	4												
		化 学 実 験	2			4										
		物 理 科 学	2	2												
リメディアル科目	リメディアル	数 学 基 礎 Ⅰ		1	2											
		数 学 基 礎 Ⅱ		1	2											
		物 理 基 礎		2	2											
		英 語 基 礎 Ⅰ		1	2											
		英 語 基 礎 Ⅱ		1		2										

第5 学 則

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要	
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年			
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
専門科目	材力・機力	材力・機力学基礎	2	2	2									専門科目から 必修を含み70 単位以上を修 得すること
		材 料 力 学	2			2								
		C A E 材 料 力 学	2				2							
		機 械 力 学	2					2						
		C A E 機 械 力 学	2						2					
	熱・流体	熱・流体学基礎	2	2	2									
		熱 力 学	2			2								
		熱 工 学	2				2							
		伝 熱 工 学	2					2						
		C A E 伝 熱 工 学	2						2					
		冷 凍 空 調 工 学	2							2				
		流 れ 学	2			2								
		C A E 流 れ 学	2				2							
	情報・制御	流体機械システム工学	2						2					
		パソコン工作学	2	2										
		基礎機械情報工学	2		2									
		応用機械情報工学	2			2								
		計 測 工 学	2				2							
		メカトロニクス基礎	2					2						
		ロボット工学	2							2				
電気電子工学概論		2				2								
電子回路工学		2					2							
制 御 工 学		2						2						
材料・設計・加工	C A E 制 御 工 学	2						2						
	機械材料工学	2	2											
	先進材料工学	2		2										
	基礎設計工学	2			2									
	応用設計工学	2				2								
	工 作 学	2		2										
	機 械 加 工 学	2					2							
	成 形 加 工 学	2						2						
	マイクロマシンシステム	2								2				
	基礎設計製図	2				6								
C A D 設 計 製 図	2					6								
機 械 設 計 技 法	2								6					

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要			
			必修	選択	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期				
専門科目	材料・設計・加工	機 械 工 作 実 習	1						3							
		ロ ボ ッ ト 創 作	1							3						
品 質 管 理		2						2								
自動車工学	自動車工学	潤 滑 工 学	2						2							
		自 動 車 エ ン ジ ン	2					2								
		自 動 車 測 定 検 査 概 論	2						2							
		自 動 車 構 造 I	2							2						
		自 動 車 構 造 II	2								2					
		自 動 車 法 規	2									2				
		自 動 車 工 学	2									2				
		カ ー エ レ ク ト ロ ニ ッ ク ス	2									2				
		自 動 車 検 査	2									2				
		自 動 車 整 備 実 習	6									9	9			
		統合工学	統合工学	機 械 工 学 実 験 I	1						3					
				機 械 工 学 実 験 II	1							3				
				機 械 工 学 演 習 I	2			2								
				機 械 工 学 演 習 II	2				2							
				機 械 工 学 演 習 III	2					2						
機 械 工 学 演 習 IV	2								2							
機 械 情 報 ゼ ミ ナ ー ル II	1								2							
機 械 情 報 ゼ ミ ナ ー ル III	1										2					
機 械 創 造 学 外 研 修 卒 業 研 究	2 1 6					2				1			9	9		
原子力工学	原子力工学	原 子 力 エ ネ ル ギ ー	2		2											
		放 射 線 の 利 用	2			2										
		原 子 力 体 感 研 修	2							2						
		原 子 燃 料 サ イ ク ル ・ 安 全 工 学	2								2					
機 械 情 報 技 術 学 科 総 計			70	151	46	43	45	35	41	28	42	22				

第5 学 則

電気電子システム学科課程表

別表第1

平成22年度入学生より適用

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要				
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年						
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期					
導入転換 科 目	キ ャ リ ア デ ザ イン	キ ャ リ ア デ ザ イン I		1	1	1											
		キ ャ リ ア デ ザ イン II		1			1	1									
		キ ャ リ ア デ ザ イン III		2					2	2							
		キ ャ リ ア デ ザ イン IV		1	2												
	工学への関心	電気電子システム入門	2		2												
		電気電子システム概論	2			2											
総合教養 科 目	人 間 科 学	歴 史		2	2												左記の科 目から必 修を含み 8単位以 上を修得 すること
		経 済 学		2		2											
		文 学		2			2										
		心 理 学		2			2										
		哲 学		2				2									
		職 業 倫 理	2						2								
		日 本 国 憲 法		2						2							
		環 境 と エ ネ ル ギ ー	2					2									
	生 命 科 学		2					2									
	国際コミュニ ケーション	日 本 語 表 現 法		2		2											左記の科 目から必 修を含み 8単位以 上を修得 すること
		実 践 日 本 語 表 現		2					2								
		現 代 英 語 I	1		2												
		現 代 英 語 II	1			2											
		英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I	1				2										
		英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II	1					2									
英 語 特 別 演 習			1					2									
ド イ ツ 語 基 礎 I			1	2													
ド イ ツ 語 基 礎 II			1		2												
ド イ ツ 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I			1			2											
ド イ ツ 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II		1				2											
ド イ ツ 語 特 別 演 習		1					2										
中 国 語 基 礎 I		1	2														
中 国 語 基 礎 II		1		2													
中 国 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I		1			2												
中 国 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II		1				2											
中 国 語 特 別 演 習		1					2										

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要			
			必 修	選 択	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期				
総合教養 科 目	体 育 科 学	体 育 学		1	2											
		ス ポ ー ツ 健 康 学		1			2									
		ス ポ ー ツ 特 別 演 習		1		2										
	総 合 学 際	主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル I		2		2										
		主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル II		2			2									
		主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル III		2				2								
		主 題 別 講 義 海 外 研 修		2 1							2					
工学基礎 科 目	数 学	微 分	2		2										左記の科目から 必修を含み 8単位以上を 修得すること	
		積 分	2			2										
		線 形 代 数	2			2										
		確 率 ・ 統 計 学	2				2									
		応 用 数 学	2					2								
	物 理 学 ・ 化 学	物 理 科 学	2	2												左記の科目から 2単位以上を修 得すること
		基 礎 物 理 学 I	2			2										
		基 礎 物 理 学 II	2				2									
		基 礎 物 理 学 III	2					2								
		基 礎 化 学 I	2	2												
		基 礎 化 学 II	2		2											
	情 報	基 礎 情 報 科 学	2		2											
実 験	物 理 学 実 験	2		4											左記の科目から 2単位以上を修 得すること	
	化 学 実 験	2			4											
リメディア ル科目	リメディア ル科目	数 学 基 礎 I		1	2											
		数 学 基 礎 II		1	2											
		物 理 基 礎		2	2											
		英 語 基 礎 I		1	2											
		英 語 基 礎 II		1		2										

第5 学 則

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要			
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年					
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
専門科目	専 門 基 礎	電 気 回 路 入 門	2		2										左記の科目から必修を含み70単位以上を修得すること	
		電 気 電 子 数 学	2			2										
		電 磁 気 学 I	2			2										
		電 磁 気 学 II	2				2									
		電 磁 気 学 演 習 I	2				2									
		電 磁 気 学 演 習 II	2					2								
		電 気 回 路 I	2				2									
		電 気 回 路 II	2					2								
		電 気 回 路 演 習 I	2				2									
		電 気 回 路 演 習 II	2					2								
技 術 英 語	2							2								
電子デバイス・システム制御系	電 気 電 子 計 測 セ ン サ ー 応 用 工 学	電 子 回 路 I	2					2								
		電 子 回 路 II	2						2							
		知 能 集 積 回 路	2								2					
		電 子 物 性 工 学	2				2									
		電 気 電 子 材 料 工 学	2					2								
		半 導 体 工 学	2						2							
		制 御 工 学 I	2					2								
		制 御 工 学 II	2						2							
知 能 ロ ボ ッ ト 工 学	2								2							
情報・通信・メディア系	ネ ッ ト ワ ー ク 基 礎 情 報 メ デ ィ ア 工 学	コ ン ピ ュ ー タ プ ロ グ ラ ム ィ ン グ I	2		2			2								
		コ ン ピ ュ ー タ プ ロ グ ラ ム ィ ン グ II	2					2								
		デ ィ ジ タ ル 回 路	2				2									
		電 磁 波 工 学	2					2								
		情 報 通 信 工 学 I	2						2							
		情 報 通 信 工 学 II	2							2						
		通 信 ネ ッ ト ワ ー ク 工 学	2								2					
		情 報 通 信 法 規	2									2				
		電気エネルギーシステム系	電 力 発 生 工 学 電 力 輸 送 工 学 電 気 機 器 工 学	電 力 発 生 工 学	2				2							
				電 力 輸 送 工 学	2						2					
電 気 機 器 工 学	2									2						

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要		
			必修	選択	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期			
専門科目	電気エネルギーシステム系	電力システム工学		2							2			電子情報システム実験、電気エネルギーシステム実験のいずれかを修得すること	
		電気利用工学		2							2				
		高電界工学		2							2				
		パワーエレクトロニクス		2								2			
		プラズマ工学		2								2			
		機械工学概論		2								2			
		電気法規と電気施設管理		2								2			
	実験・製図・ 研修・研究	創造工学実験	2				6								
		電気電子基礎実験	2					6							
		電子情報システム実験	2						6						
		電気エネルギーシステム実験	2							6					
		電気電子設計製図	2									4			
		学 外 研 修	1							2					
		先 端 技 術 工 学	1								1				
	卒 業 研 究	6									9	9			
	原子力工学	原子力エネルギー	2		2										
		放射線の利用	2			2									
		原子力体感研修	2							2					
		原子燃料サイクル・安全工学	2								2				
	電気電子システム学科総計			62	140	37	37	43	43	34	35	23	13		



第5 学 則

システム情報工学科課程表

別表第1

平成21年度入学生より適用

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要		
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年				
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
導入転換 科 目	キ ャ リ ア デ ザ イン	キャリアデザインⅠ		1	1	1									
		キャリアデザインⅡ		1		1	1								
		キャリアデザインⅢ		2				2	2						
		キャリアデザインⅣ		1	2										
	工学への関心	情報基礎ゼミナール	2		2										
		情報科学アラカルト	2		2										
情報工学概論		2			2										
総合教養 科 目	人 間 科 学	哲 学	2				2							左記の科 目から8 単位以上 を修得す ること	
		文 学	2			2									
		心 理 学	2			2									
		職 業 倫 理	2					2							
		歴 史	2	2											
		経 済 学	2		2										
	日 本 国 憲 法	2						2							
	国際コミュニ ケーション	日 本 語 表 現 法	2		2									左記の科 目から必 修を含み 8単位以 上を修得 すること	
		実 践 日 本 語 表 現	2					2							
		現 代 英 語 Ⅰ	1		2										
		現 代 英 語 Ⅱ	1		2										
		英 語 コミュニケーションⅠ	1			2									
		英 語 コミュニケーションⅡ	1				2								
		英 語 特 別 演 習	1					2							
		ド イ ツ 語 基 礎 Ⅰ	1	2											
		ド イ ツ 語 基 礎 Ⅱ	1		2										
		ド イ ツ 語 コミュニケーションⅠ	1			2									
		ド イ ツ 語 コミュニケーションⅡ	1				2								
		ド イ ツ 語 特 別 演 習	1					2							
		中 国 語 基 礎 Ⅰ	1	2											
中 国 語 基 礎 Ⅱ		1		2											
中 国 語 コミュニケーションⅠ	1			2											
中 国 語 コミュニケーションⅡ	1				2										
中 国 語 特 別 演 習	1					2									

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要			
			必 修	選 択	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期				
総合教養 科 目	体 育 科 学	体 育 学		1	2											
		ス ポ ー ツ 健 康 学		1			2									
		ス ポ ー ツ 特 別 演 習		1		2										
	総 合 学 際	主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル Ⅰ		2		2										
		主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル Ⅱ		2			2									
		主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル Ⅲ		2				2								
		主 題 別 講 義 海 外 研 修		2 1							2					
工学基礎 科 目	工 学 基 礎	微 分	2		2											
		積 分	2			2										
		線 形 代 数	2			2										
		基 礎 物 理 学 Ⅰ		2		2										
		基 礎 物 理 学 Ⅱ		2			2									
		基 礎 物 理 学 Ⅲ		2				2								
		基 礎 化 学 Ⅰ		2	2											
		基 礎 化 学 Ⅱ		2		2										
		基 礎 情 報 科 学	2		2											
		確 率 ・ 統 計		2			2									
		物 理 科 学		2	2											
		環 境 と エ ネ ル ギ ー		2			2									
		生 命 科 学		2				2								
		物 理 学 実 験	2	4										左記の科目から 2単位以上を修 得すること		
		化 学 実 験	2		4											
リメディ アル科目	リメディアル	数 学 基 礎 Ⅰ		1	2											
		数 学 基 礎 Ⅱ		1	2											
		物 理 基 礎		2	2											
		英 語 基 礎 Ⅰ		1	2											
		英 語 基 礎 Ⅱ		1		2										

第5 学 則

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要				
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年						
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期					
専門科目	シ ス テ ム	システム数理	2				2										
		情報通信工学	2				2										
		制御工学		2						2							
		計測情報工学		2					2								
		情報ネットワーク入門		2					2								
		ロボット工学		2							2						
		情報ネットワーク設計		2						2							
		シミュレーション工学		2							2						
		情報ネットワーク構築		2							2						
		情報システム論		2							2						
		情報セキュリティ		2						2							
情 報	ブ ロ グ ラ ミ ン グ 入 門	離 散 数 学	2	2													
		グ ラ フ 理 論 入 門	2		2												
		ブ ロ グ ラ ミ ン グ 言 語	2		2												
		情 報 数 理	2			2											
		プ ロ グ ラ ム 設 計	2				2										
		オ ペ レ ー テ ィ ン グ シ ス テ ム	2				2										
		コ ン ピ ュ ー タ シ ス テ ム	2				2										
		デ ィ ジ タ ル 信 号 処 理	2						2								
		ア ル ゴ リ ズ ム	2				2										
		言 語 と コ ン パ イ ラ	2							2							
		論 理 回 路	2							2							
		数 値 解 析	2								2						
		デ ー タ ベ ー ス	2								2						
		知 識 工 学	2									2					
集 積 回 路	2										2						
パ タ ー ン 情 報 処 理	2											2					
人 間 ・ 社 会	ウ ェ ブ デ ザ イ ン	デ ィ ジ タ ル 映 像 表 現	2	2													
		コ ン ピ ュ ー タ グ ラ フ ィ ッ ク ス	2			2											
		バ ー チ ャ ル リ ア リ テ ィ	2				2										
		人 間 情 報 科 学	2						2								
		産 業 情 報 論	2					2									
		マ ル チ メ デ ィ ア 工 学	2							2							

左記の科目から必修を含み70単位以上を修得すること

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要			
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年					
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
専門科目	人間・社会	経 営 情 報 論		2				2								
		情 報 文 化 論		2						2						
	関 連	電 子 工 学		2					2							
		電 気 工 学		2				2								
		機 械 工 学 概 論		2					2							
	実験・研修・ その他	情報工学基礎実験Ⅰ	1				4									
		情報工学基礎実験Ⅱ	1					4								
		情報工学応用実験Ⅰ	1						4							
		情報工学応用実験Ⅱ	1							4						
		設 計 ・ 製 図		2						4						
		情報工学特別講義		2						2						
		学 外 研 修		1						2						
		情報専門ゼミナール		2							2					
	卒 業 研 究	6										9	9			
	原子力工学	原子力エネルギー		2		2										
		放 射 線 の 利 用		2			2									
		原子力体感研修		2						2						
		原子燃料サイクル・安全工学		2							2					
	システム情報工学科総計			46	151	43	41	43	35	42	32	11	9			

第5 学 則

バ イ オ 環 境 工 学 科 課 程 表

別表第1

平成21年度入学生より適用

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要		
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年				
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
導入転換 科 目	キ ャ リ ア デ ザ イン	キ ャ リ ア デ ザ イン I		1	1	1									
		キ ャ リ ア デ ザ イン II		1		1	1								
		キ ャ リ ア デ ザ イン III		2				2	2						
		キ ャ リ ア デ ザ イン IV		1	2										
	工学への関心	バ イ オ 環 境 工 学 概 論	2		2										
		バ イ オ 環 境 工 学 導 入 デ ザ イン I	2		2										
バ イ オ 環 境 工 学 導 入 デ ザ イン II		2			2										
総合教養 科 目	人 間 科 学	哲 学	2				2							左記の科目から必修を含み8単位以上修得すること	
		文 学	2			2									
		心 理 学	2			2									
		職 業 倫 理 学	2					2							
		歴 史 学	2	2											
		経 済 学	2		2						2				
	国際コミュニ ケ ー シ ョ ン	日 本 語 表 現 法	2		2									左記の科目から必修を含み8単位以上修得すること	
		実 践 日 本 語 表 現	2					2							
		現 代 英 語 I	1		2										
		現 代 英 語 II	1			2									
		英 語 コミュニケーションI	1				2								
		英 語 コミュニケーションII	1					2							
		英 語 特 別 演 習	1						2						
		ド イ ツ 語 基 礎 I	1	2											
		ド イ ツ 語 基 礎 II	1		2										
		ド イ ツ 語 コミュニケーションI	1			2									
		ド イ ツ 語 コミュニケーションII	1				2								
		ド イ ツ 語 特 別 演 習	1						2						
		中 国 語 基 礎 I	1	2											
		中 国 語 基 礎 II	1		2										
中 国 語 コミュニケーションI	1			2											
中 国 語 コミュニケーションII	1				2										
中 国 語 特 別 演 習	1						2								

分野を問わず必修を含み20単位以上修得すること

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要	
			必 修	選 択	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期		
総合教養 科 目	体 育 科 学	体 育 学		1	2									
		ス ポ ー ツ 健 康 学		1			2							
		ス ポ ー ツ 特 別 演 習		1		2								
	総 合 学 際	主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル I		2		2								
		主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル II		2			2							
		主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル III		2				2						
		主 題 別 講 義		2						2				
	海 外 研 修		1	2										
工学基礎 科 目	工 学 基 礎	線 形 代 数		2		2								
		微 分		2		2								
		積 分		2			2							
		確 率 ・ 統 計		2			2							
		工 業 数 学		2				2						
		基 礎 物 理 学 I		2		2								
		基 礎 物 理 学 II		2			2							
		基 礎 物 理 学 III		2				2						
		基 礎 化 学 I	2		2									
		基 礎 化 学 II		2		2								
		物 理 学 実 験		2			4							
		化 学 実 験	2		4									
		物 理 科 学		2		2								
環 境 と エ ネ ル ギ ー		2				2								
生 命 科 学		2		2										
基 礎 情 報 科 学	2		2											
リメデイ アル科目	リメデイアル	数 学 基 礎 I		1	2									
		数 学 基 礎 II		1	2									
		物 理 基 礎		2	2									
		英 語 基 礎 I		1	2									
		英 語 基 礎 II		1		2								

第5 学 則

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要	
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年			
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
専門科目	専 門 基 礎	バイオテクノロジー	2		2									専門科目から 必修を含み70 単位以上を修 得すること
		無機化学	2		2									
		生化学	2				2							
		物理化学	2				2							
		分析化学	2				2							
		有機化学	2				2							
		環境材料学	2				2							
		環境化学量論	2				2							
		伝熱工学	2						2					
		エネルギーと物質の循環	2						2					
計測工学	2						2							
バイオ サイエンス	微 生 物 学 微 生 物 工 学 分 子 遺 伝 学 遺 伝 子 工 学 環 境 生 物 学 酵 素 工 学 生 物 有 機 化 学 食 品 分 析 学 食 品 製 造 学 食 品 工 学 食 品 化 学 食 品 衛 生 学 公 衆 衛 生 学 生 理 学	2			2									
		2				2								
		2				2								
		2		2										
		2						2						
		2						2						
		2							2					
		2							2					
		2								2				
		2									2			
環境工学	環 境 熱 力 学 環 境 応 答 学 リサイクル工学 エコインダストリー グリーンケミストリー 環 境 影 響 評 価 論 機 器 分 析 環 境 汚 染 物 質 分 析 学 地 球 環 境 シ ス テ ム 科 学	2			2									
		2					2							
		2					2							
		2		2										
		2						2						
		2						2						
		2							2					
		2			2									

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要			
			必 修	選 択	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期				
専門科目	総 合	品 質 管 理		2						2						
		電 気 電 子 工 学 概 論		2								2				
		機 械 工 学 概 論		2								2				
		技 術 マ ネ ジ メ ン ト		2							2					
	実 験 ・ 実 習 ・ 演 習	バ イ オ 環 境 工 学 基 礎 演 習 I	2				2									
		バ イ オ 環 境 工 学 基 礎 演 習 II	2					2								
		バ イ オ 環 境 工 学 演 習 I	2							2						
		バ イ オ 環 境 工 学 演 習 II	2								2					
		バ イ オ 環 境 工 学 基 礎 実 験	1					3								
		バ イ オ 環 境 工 学 実 験 I	1								3					
		バ イ オ 環 境 工 学 実 験 II	1									3				
		プ ロ グ ラ ミ ン グ 実 習		1		2										
		バ イ オ 環 境 プ ロ セ ス 実 習 I	1				2									
		バ イ オ 環 境 プ ロ セ ス 実 習 II	1									2				
	研 修	バ イ オ 環 境 工 学 セ ミ ナ ー	1										2			
		卒 業 研 究	6										9	9		
	原 子 力 工 学	原 子 力 エ ネ ル ギ ー		2		2										
		放 射 線 の 利 用		2			2									
		原 子 力 体 感 研 修		2							2					
		原 子 燃 料 サ イ ク ル ・ 安 全 工 学		2								2				
バ イ オ 環 境 工 学 科 総 計			62	137	41	43	41	36	33	31	19	9				



第5 学 則

土 木 建 築 工 学 科 課 程 表

別表第1

平成21年度入学生より適用

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要			
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年					
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
導入転換 科 目	キ ャ リ ア デ ザ イン	キ ャ リ ア デ ザ イン I		1	1	1										
		キ ャ リ ア デ ザ イン II		1			1	1								
		キ ャ リ ア デ ザ イン III		2					2	2						
		キ ャ リ ア デ ザ イン IV		1	2											
	工学への関心	建 築 概 論	2		2											
		土 木 工 学 概 論	2			2										
総合教養 科 目	人 間 科 学	哲 学	2					2								
		文 学	2				2									
		心 理 学	2				2									
		職 業 倫 理	2						2							
		歴 史	2	2												
		経 済 学	2		2											
			日 本 国 憲 法	2						2						
	国際コミュニ ケーション	日 本 語 表 現 法	日 本 語 表 現 法	2		2										
			実 践 日 本 語 表 現	2					2							
		現 代 英 語 I	現 代 英 語 I	1		2										
			現 代 英 語 II	1			2									
		英 語 コミュニケーション I	英 語 コミュニケーション I	1				2								
			英 語 コミュニケーション II	1					2							
		英 語 特 別 演 習	英 語 特 別 演 習	1						2						
			ド イ ツ 語 基 礎 I	1	2											
		ド イ ツ 語 基 礎 II	ド イ ツ 語 基 礎 II	1		2										
			ド イ ツ 語 コミュニケーション I	1				2								
		ド イ ツ 語 コミュニケーション II	ド イ ツ 語 コミュニケーション II	1					2							
			ド イ ツ 語 特 別 演 習	1							2					
		中 国 語 基 礎 I	中 国 語 基 礎 I	1	2											
			中 国 語 基 礎 II	1		2										
	中 国 語 コミュニケーション I	中 国 語 コミュニケーション I	1				2									
		中 国 語 コミュニケーション II	1					2								
	中 国 語 特 別 演 習	中 国 語 特 別 演 習	1							2						

左記の科目から必修を含み26単位以上を修得すること

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要			
			必 修	選 択	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期				
総合教養 科 目	体 育 学 科	体 育 学		1	2											
		ス ポ ー ツ 健 康 学		1			2									
		ス ポ ー ツ 特 別 演 習		1		2										
	総 合 学 際	主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル I		2		2										
		主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル II		2			2									
		主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル III		2				2								
		主 題 別 講 義 海 外 研 修		2 1							2					
工学基礎 科 目	数 学	線 形 代 数	2			2										
		微 分	2		2											
		積 分	2			2										
		確 率 ・ 統 計 応 用 数 学	2 2				2				2					
	物 理 学 ・ 化 学	基 礎 物 理 学 I		2		2										
		基 礎 物 理 学 II		2			2									
		基 礎 物 理 学 III		2				2								
		基 礎 化 学 I		2	2											
		基 礎 化 学 II		2		2										
	そ の 他 の 自 然 科 学	物 理 科 学		2	2											
		環 境 と エ ネ ル ギ ー		2			2									
		生 命 科 学		2				2								
	情 報	基 礎 情 報 科 学	2		2											
	実 験	物 理 学 実 験		2	4											
化 学 実 験			2		4											
リメデイ アル科目	リメデイアル	数 学 基 礎 I		1	2											
		数 学 基 礎 II		1	2											
		物 理 基 礎		2	2											
		英 語 基 礎 I		1	2											
		英 語 基 礎 II		1		2										

左記の科目から必修を含み22単位以上を修得すること

第5 学 則

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要		
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年				
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
専門科目	専門基礎	基礎製図	2		4										左記の科目から必修を含み72単位以上をと修得すること
		CAD基礎演習	2		4										
		地球環境論	2		2										
		デザイン	2	4											
		測量学	2			2									
		測量実習	1			3									
		都市計画	2					2							
		構造力学Ⅰ	2				2								
		構造力学Ⅱ	2					2							
建設材料学	2				2										
土木専門科目	土木基礎	材料の力学	2			2									
		情報処理	2			2									
		情報処理応用	2				2								
		応用測量学及び実習	2						3						
	環境保全	廃棄物と工事排水	2				2								
		上下水道工学	2					2							
		水処理工学	2						2						
		基礎水理学	2			2									
		流れの力学	2				2								
		河川の科学	2					2							
海岸・港湾工学		2						2							
計画数理	2					2									
道路・交通工学	2						2								
防災建設	応用構造力学	2				2									
	地盤の科学	2			2										
	地盤の力学	2				2									
	地盤構造工学	2					2								
	コンクリートの材料科学	2				2									
	コンクリート構造学	2					2								
	構造物のメンテナンス	2						2							
	施工技術	2						2							
土木応用	土木工学実験Ⅰ	2				6									
	土木工学実験Ⅱ	1						3							
	水工学設計・演習	2						4							

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要
			必 修	選 択	1年	2年	3年	4年					
					前 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
専門科目	土 木 応 用	橋工学設計・演習		2						4			
		地盤工学設計・演習		2						4			
		コンクリート工学設計・演習		2						4			
		キャリアプランニングI		2				2					
		キャリアプランニングII		2				2					
		土木総合デザインI		2				2					
		土木総合デザインII		2						2			
		技術英文読解		2						2			
		地球温暖化と防災		2						2			
		火 葉 学		2						2			
建築専門 科 目	建 築 基 礎	建 築 設 計 I		3			6						
		建 築 設 計 II		3			6						
		住 居 計 画		2			2						
		建 築 計 画		2			2						
		熱・空気環境		2			2						
		建 築 構 造		2			2						
		建 築 施 工		2			2						
		建 築 法 規		2						2			
		建 築 材 料 実 験		2						4			
		アーキテクト	建 築 設 計 III		3				6				
	建 築 史			2			2						
	熱・空気環境演習			1			2						
	音・光環境			2					2				
	音・光環境演習			1					2				
	建 築 設 備			2						2			
	構造力学演習I			1			2						
	構造力学演習II			1			2						
	鉄筋コンクリート構造			2						2			
	鋼 構 造			2						2			
	構 造 設 計		2							2			
建 築 生 産		2							2				
す ま い デ ザ イ ナ ー	す ま い 設 計		3						6				
	CAD・CG演習I		2						4				
	CAD・CG演習II		2						4				

第5 学 則

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要	
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年			
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
建築専門 科 目	す ま い デザイナー	インテリアデザイン	2			2								
		住 生 活 学	2				2							
		木 構 造	2					2						
		色 彩 学	2				2							
	建 築 応 用	建築プレゼンテーション	2								4			
		応用電子計算機	2			2								
		雪 国 建 築	2						2					
		建 築 セ ミ ナ ー	2						2					
		卒業研究プレセミナー	2							2				
専門応用 科 目	専 門 応 用	インターンシップ	1					2						
		学 外 研 修 I	1				2							
		学 外 研 修 II	1						2					
		機 械 工 学 概 論	2							2				
		電 気 電 子 工 学 概 論	2								2			
		卒 業 研 究	6								9	9		
	原 子 力 工 学	原子力エネルギー	2		2									
		放 射 線 の 利 用	2			2								
		原 子 力 体 感 研 修	2						2					
		原 子 燃 料 サ イ ク ル 安 全 工 学	2							2				
土 木 建 築 工 学 科 総 計			32	233	45	39	58	57	67	65	19	9		

## 感性デザイン学科課程表

別表第1

平成21年度入学生より適用

区 分	分 野	授 業 科 目	単 位 数	年次および週時間数								摘 要			
				必 修	選 択	1年		2年		3年			4年		
						前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期	
導入転換 科 目	感性デザイン 入門・キャリア デザイン	オープニングセミナー	2	2											
		キャリアデザインⅠ	1	1	1										
		キャリアデザインⅡ	1			1	1								
		キャリアデザインⅢ	2					2	2						
総合教養 科 目	人 間 科 学	哲 学	2				2								
		文 学	2			2									
		心 理 学	2			2									
		職 業 倫 理	2								2				
		歴 史	2	2											
		経 済 学	2		2										
		知 的 財 産 論	2								2				
		日 本 国 憲 法	2							2					
	自 然 科 学 概 論	2	2												
	数 学	2	2												
	国際コミュニ ケーション	日 本 語 表 現 法	2	2	2										左記の科目から 必修を含み 30単位以上を 修得すること
		実 践 日 本 語 表 現	2						2						
		現 代 英 語 Ⅰ	1	2											
		現 代 英 語 Ⅱ	1		2										
		英 語 コミュニケーションⅠ	1			2									
		英 語 コミュニケーションⅡ	1				2								
		英 語 特 別 演 習	1					2							
		ド イ ツ 語 基 礎 Ⅰ	1	2											
		ド イ ツ 語 基 礎 Ⅱ	1		2										
ド イ ツ 語 コミュニケーションⅠ		1			2										
ド イ ツ 語 コミュニケーションⅡ		1				2									
ド イ ツ 語 特 別 演 習	1					2									
中 国 語 基 礎 Ⅰ	1	2													
中 国 語 基 礎 Ⅱ	1		2												
中 国 語 コミュニケーションⅠ	1			2											
中 国 語 コミュニケーションⅡ	1				2										
中 国 語 特 別 演 習	1					2									

第5 学 則

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要	
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年			
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
総合教養 科 目	体 育 科 学	体 育 学	1	2										
		ス ポ ー ツ 健 康 学	1			2								
	総 合 学 際	主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル I		2	2									
		主 題 別 ゼ ミ ナ ー ル II		2		2								
		主 題 別 講 義 海 外 研 修		2	2									
リメデイ アル科目	リメディアル	英 語 基 礎 I	1	2										
		英 語 基 礎 II	1		2									

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要					
			必 修	選 択	1年	2年	3年	4年										
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
専門科目	感性デザイン 基 礎	感性デザイン総論	2	2													左記の科目から必修を含み28単位以上を修得すること	
		コンピュータ基礎演習	2	2														
		プレゼンテーション	2		2													
		デ ッ サ ン	2	4														
		色 彩 学	2		2													
		デ ザ イ ン 史		2	2													
		ユニバーサルデザイン論	2			2												
		デザインマーケティング論	2						2									
		社会福祉論	2	2	2													
		ボランティア論	2	2	2													
		生涯スポーツ演習	2				2											
		感性行動科学	2				2											
		感性心理学	2						2									
		日本の文化	2				2											
		地域文化論	2						2									
		比較文化論	2							2								
	情報メディア論	2							2									
	感性CAD&CG演習I	2				4												
	感性CAD&CG演習II	2					4											
	ビジュアル デザイン	絵 画 I	2	4														左記の科目から必修を含み60単位以上を修得すること
		絵 画 II	2		4													
		表 現 技 法	2	2														
		図 学	2		2													
タイポグラフィ論		2	2															
ビジュアルデザイン論		2		2														
Webデザイン		2				4												
広 告 論		2						2										
映像メディア論		2						2										
イラストレーションI		2						4										
イラストレーションII		2							4									
工 芸 学		2	2															
工 芸 実 習		2		4														
彫 刻		2			4													
美 術 史	2							2										



第5 学 則

区 分	分 野	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要	
			必 修	選 択	1年		2年		3年		4年			
					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
専門科目	ビジュアル デザイン	芸 術 批 評	2								2			
		ビジュアルデザイン演習I	2			4								
		ビジュアルデザイン演習II	2				4							
		ビジュアルデザイン演習III	2					4						
		ビジュアルデザイン演習IV	2							4				
住 環 境 デザイン	老 人 福 祉 論 介 護 論 地 域 福 祉 論 ボランティア実習 福祉人間工学 福祉機器デザイン ワークデザイン スポーツ健康論 レクリエーション余暇論 福祉心理学 リハビリテーション論 住まいのデザイン 福祉住環境デザイン インテリアデザイン エクステリアデザイン 音と光デザイン 景観デザイン 住環境デザイン演習I 住環境デザイン演習II 住環境デザイン演習III	2		2										
		2			2									
		2				2								
		2				2	2							
		2				2								
		2					2							
		2						2						
		2							2					
		2								2				
		2									2			
		2	2									2		
		2		2										
		2			2									
		2				2								
		2					2							
		感性デザイン 応 用	学 外 研 修 インターンシップ 感性デザイン特別講義 感性デザイン応用演習 卒業制作・論文	1						2				
2									2					
1										1				
2											2			
6												9	9	
感性デザイン学科総計			28	158	43	41	39	37	40	37	13	9		

## 教 職 課 程 表

別表第1

平成22年度入学生より適用

免許状の 種 類 別	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要		
		必 修	選 択	1年		2年		3年		4年				
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
中1種技術 中1種美術 高1種工業 高1種情報 高1種理科 高1種美術 高1種工芸	教 職 総 論	2		2										各学科について、中1種技術、中1種美術、高1種工業、高1種情報、高1種理科、高1種美術および高1種工芸とも共通に必修
	教 育 基 礎 論	2		2										
	認 知 と 人 格 の 発 達	2			2					2				
	教 育 の 制 度	2							2					
	教 育 課 程 論	2				2								
	特 別 活 動	2		2										
	教 育 工 学	2							2					
	生 徒 指 導 ・ 進 路 指 導	2						2						
	教 育 相 談	2				2								
	教 職 実 践 演 習 (中・高)	2										2		
	事 前 ・ 事 後 指 導	1									2			
	教 育 実 習 I	2									4			
日 本 国 憲 法	2							2						
体 育 学	1		2											
ス ポ ー ツ 健 康 学	1			2										
中1種技術 中1種美術	道 徳 教 育	2		2									各学科共通に必修	
	教 育 実 践 論	2					2							
	教 育 実 習 II	2								4				
中1種技術	技 術 科 指 導 法 I	4					2	2					機械情報技術学科、電気電子システム学科、システム情報工学科、バイオ環境工学科、土木建築工学科に必修	
	技 術 科 指 導 法 II		2							2			機械情報技術学科、電気電子システム学科、システム情報工学科、バイオ環境工学科、土木建築工学科に選択	
	技 術 科 指 導 法 III		2							2			機械情報技術学科、電気電子システム学科、システム情報工学科、バイオ環境工学科、土木建築工学科に必修	
	木 材 加 工 裁 培	2						2					機械情報技術学科、電気電子システム学科、システム情報工学科、バイオ環境工学科、土木建築工学科に必修	
	基 礎 情 報 科 学	2		2									機械情報技術学科に必修	
	電 気 電 子 工 学 概 論	2			2									
	工 作 学	2			2									
	機 械 工 作 実 習	1						3						電気電子システム学科、システム情報工学科、バイオ環境工学科、土木建築工学科に必修
	デ ィ ジ タ ル 回 路	2					2							電気電子システム学科に必修
	電 気 機 器 工 学	2					2							
機 械 工 学 概 論	2								2					
電 気 電 子 設 計 製 図	2									4				
コ ン プ ュ ー タ プ ロ グ ラ ミ ン グ I	2					2								

第5 学 則

免許状の 種 類 別	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要	
		必 修	選 択	1年		2年		3年		4年			
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
中1種技術	機 械 工 学 概 論	2						2					システム情報工学科に 必修
	ロ ボ ッ ト 工 学	2							2				
	電 子 工 学	2						2					
	電 気 工 学	2				2							
	デ ィ ジ タ ル 信 号 処 理	2						2					
	設 計 ・ 製 図	2							4				
	制 御 工 学	2							2				
	グ ラ フ 理 論 入 門	2		2									
	機 械 加 工 工 学	2						2					バイオ環境工学科に 必修
	電 気 電 子 工 学 概 論	2								2			
機 械 工 学 概 論	2									2			
伝 熱 工 学	2								2				
計 測 工 学	2								2				
リ サ イ ク ル 工 学	2					2							
プ ロ グ ラ ミ ン グ 実 習	1		2										
機 械 加 工 工 学	2						2					土木建築工学科に必修  } 土木建築工学科い ずれか1科目選択必修	
構 造 力 学 Ⅱ	2				2								
材 料 の 力 学	2				2								
鋼 構 造	2						2						
機 械 工 学 概 論	2									2			
原 子 力 エ ネ ル ギ ー	2					2							
原 子 燃 料 サ イ ク ル ・ 安 全 工 学	2									2			
電 気 電 子 工 学 概 論	2									2			
情 報 処 理 応 用	2		2			2							
応 用 電 子 計 算 機	2		2			2							
中1種美術	美 術 科 指 導 法 Ⅰ	4						2	2				感性デザイン学科に必修
	美 術 科 指 導 法 Ⅱ	2								2			感性デザイン学科に 選択
	美 術 科 指 導 法 Ⅲ	2									2		
	コ ン プ ュ ー タ 基 礎 演 習	2		2									感性デザイン学科に 必修  } ビジュアルデザイン演習 Ⅱ、ビジュアルデザイン 演習Ⅲ、ビジュアルデ ザイン演習Ⅳのい ずれか1科目選択必修
	絵 画 Ⅰ	2		4									
	絵 画 Ⅱ	2			4								
	彫 刻	2				4							
	ビジュアルデザイン演習Ⅰ	2					4						
	ビジュアルデザイン演習Ⅱ	2						4					
	ビジュアルデザイン演習Ⅲ	2							4				
ビジュアルデザイン演習Ⅳ	2								4				
イラストレーションⅠ	2									4			

免許状の 種 類 別	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要		
		必 修	選 択	1年		2年		3年		4年				
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
中1種美術	W e b デ ザ イ ン	2				4								
	工 芸 実 習	2			4									
	美 術 史	2						2						
	デ ザ イ ン 史	2			2									
	芸 術 批 評	2							2					
	表 現 技 法	2		2										
	ビジュアルデザイン論	2			2									
高1種工業	工 業 科 指 導 法	4								2	2	機械情報技術学科、電気電子システム学科、システム情報工学科、バイオ環境工学科、土木建築工学科に必修		
	職 業 指 導	4								2	2			
	電 気 電 子 工 学 概 論	2				2						機械情報技術学科に必修		
	機 械 工 学 概 論	2								2		電気電子システム学科に必修		
	電 気 電 子 工 学 概 論	2								2		バイオ環境工学科、土木建築工学科に必修		
	機 械 工 学 概 論	2								2				
	ロ ボ ッ ト 工 学	2								2		システム情報工学科に必修		
	デ ィ ジ タ ル 信 号 処 理	2							2					
	集 積 回 路	2							2					
	電 子 工 学	2							2					
	電 気 工 学	2				2								
	機 械 工 学 概 論	2					2							
	設 計 ・ 製 図	2						4						
	制 御 工 学	2							2					
	グ ラ フ 理 論 入 門	2			2									
	数 値 解 析	2								2				
	情 報 専 門 ゼ ミ ナ ル	2								2				
	計 測 工 学	2							2			バイオ環境工学科に必修		
	リ サ イ ク ル 工 学	2					2							
	品 質 管 理	2							2					
技 術 マ ネ ジ メ ン ト	2								2					
プ ロ グ ラ ミ ン グ 実 習	1			2										
測 量 学	2				2						土木建築工学科に必修			
測 量 実 習	1				3									
都 市 計 画	2							2						
構 造 力 学 Ⅱ	2					2								
建 設 材 料 学	2				2									

第5 学 則

免許状の 種 類 別	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要		
		必 修	選 択	1年		2年		3年		4年				
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
高1種工業	材 料 の 力 学	2				2								土木建築工学科 左記の科目より18 単位以上選択必修
	応用測量学及び実習	2							3					
	廃棄物と工事排水	2				2								
	上下水道工学	2					2							
	基礎水理学	2				2								
	流れの力学	2				2								
	地盤の力学	2				2								
	地盤構造工学	2					2							
	建築設計Ⅰ	3				6								
	建築設計Ⅱ	3					6							
	住居計画	2				2								
	建築計画	2					2							
	熱・空気環境	2					2							
	建築構造	2					2							
建築施工	2						2							
建築材料実験	2							4						
情報処理応用	2					2							土木建築工学科い ずれか1科目選択必修	
応用電子計算機	2					2								
高1種情報	情報科指導法	4								2	2		システム情報工学科に 必修	
	計測情報工学	2					2							
	情報ネットワーク入門	2					2							
	シミュレーション工学	2						2						
	データベース	2					2							
	産業情報論	2					2							
	マルチメディア工学	2						2						
	情報文化論	2							2					
	情報システム論	2							2					
	離散数学	2			2									
高1種理科	理科指導法Ⅰ	2						2					バイオ環境工学科に 必修	
	理科指導法Ⅱ	2							2					
	基礎物理学Ⅰ	2			2									
	基礎物理学Ⅱ	2				2								
	基礎物理学Ⅲ	2					2							
	物理科学	2		2										
	基礎化学Ⅱ	2			2									
	有機化学	2				2								
	無機化学	2					2							
	生命科学	2						2						
	地球環境システム科学	2						2						
物理実験	2				4									

免許状の 種 類 別	授 業 科 目	単位数		年次および週時間数								摘 要		
		必 修	選 択	1年		2年		3年		4年				
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
高1種美術	美術科指導法Ⅰ	4						2	2					感性デザイン学科に 必修  ビジュアルデザイン演習Ⅱ、ビジュアルデザイン演習Ⅲ、ビジュアルデザイン演習Ⅳのいずれか1科目選択必修
	絵 画 Ⅰ		4											
	絵 画 Ⅱ	2		4										
	彫 刻	2			4									
	ビジュアルデザイン演習Ⅰ	2			4									
	ビジュアルデザイン演習Ⅱ	2	2			4								
	ビジュアルデザイン演習Ⅲ	2					4							
	ビジュアルデザイン演習Ⅳ	2						4						
	イラストレーションⅠ	2						4						
	イラストレーションⅡ	2							4					
	W e b デ ザ イ ン	2					4							
	感性CAD&CG演習Ⅱ	2					4							
	美 術 史	2						2						
	デ ザ イ ン 史	2		2										
	芸 術 批 評	2							2					
表 現 技 法	2		2											
タイポグラフィー論	2		2											
ビジュアルデザイン論	2		2											
高1種工芸	工 芸 科 指 導 法	4						2	2					感性デザイン学科に 必修  ビジュアルデザイン演習Ⅱ、ビジュアルデザイン演習Ⅲ、ビジュアルデザイン演習Ⅳのいずれか1科目選択必修
	図 学	2		2										
	ビジュアルデザイン演習Ⅰ	2			4									
	ビジュアルデザイン演習Ⅱ	2	2			4								
	ビジュアルデザイン演習Ⅲ	2					4							
	ビジュアルデザイン演習Ⅳ	2						4						
	イラストレーションⅠ	2						4						
	イラストレーションⅡ	2							4					
	W e b デ ザ イ ン	2					4							
	感性CAD&CG演習Ⅱ	2					4							
	工 芸 実 習	2		4										
	工 芸 学	2		2										
	美 術 史	2						2						
	デ ザ イ ン 史	2		2										
	芸 術 批 評	2							2					
表 現 技 法	2		2											
タイポグラフィー論	2		2											
ビジュアルデザイン論	2		2											

## 第5 学 則

### 別表第2

## 学 費 , 入 学 検 定 料

### 工学部学費

学費種別	学 部 学 生	科目等履修生	研 究 生
入 学 金 (入学時)	250,000 円	27,500 円	66,000 円
授 業 料	年額 942,000 円	1 単位につき 講 義 科 目 22,000 円 実 験 実 習 科 目 41,000 円	月額 24,000 円
施 設 設 備 費 (年 額)	300,000 円		
実 験 実 習 費 (年 額)	1 年次 30,000 円 2 年次以降 65,000 円		実 費 徴 収

### 感性デザイン学部学費

学費種別	学 部 学 生	科目等履修生	研 究 生
入 学 金 (入学時)	250,000 円	27,500 円	66,000 円
授 業 料	年額 650,000 円	1 単位につき 講 義 科 目 22,000 円 実 験 実 習 科 目 41,000 円	月額 24,000 円
施 設 設 備 費 (年 額)	170,000 円		
実 験 実 習 費 (年 額)	1 年次 30,000 円 2 年次以降 65,000 円		実 費 徴 収

入学検定料は、工学部、感性デザイン学部ともに次の通りとする。

学 部 学 生 30,000 円

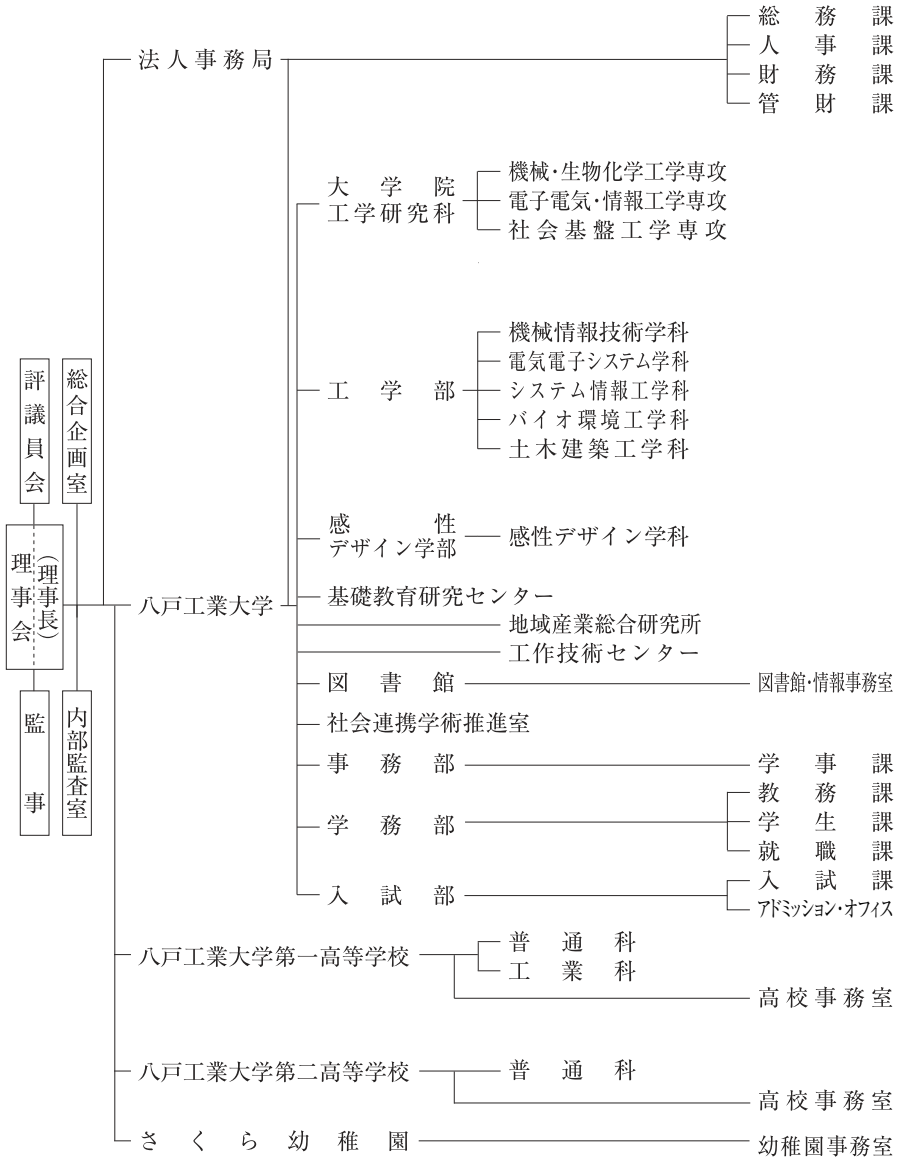
(ただし、「センター入学試験」で志願する者は、15,000 円とする。)

科 目 等 履 修 生 20,000 円

研 究 生 20,000 円

# 第6 組 織

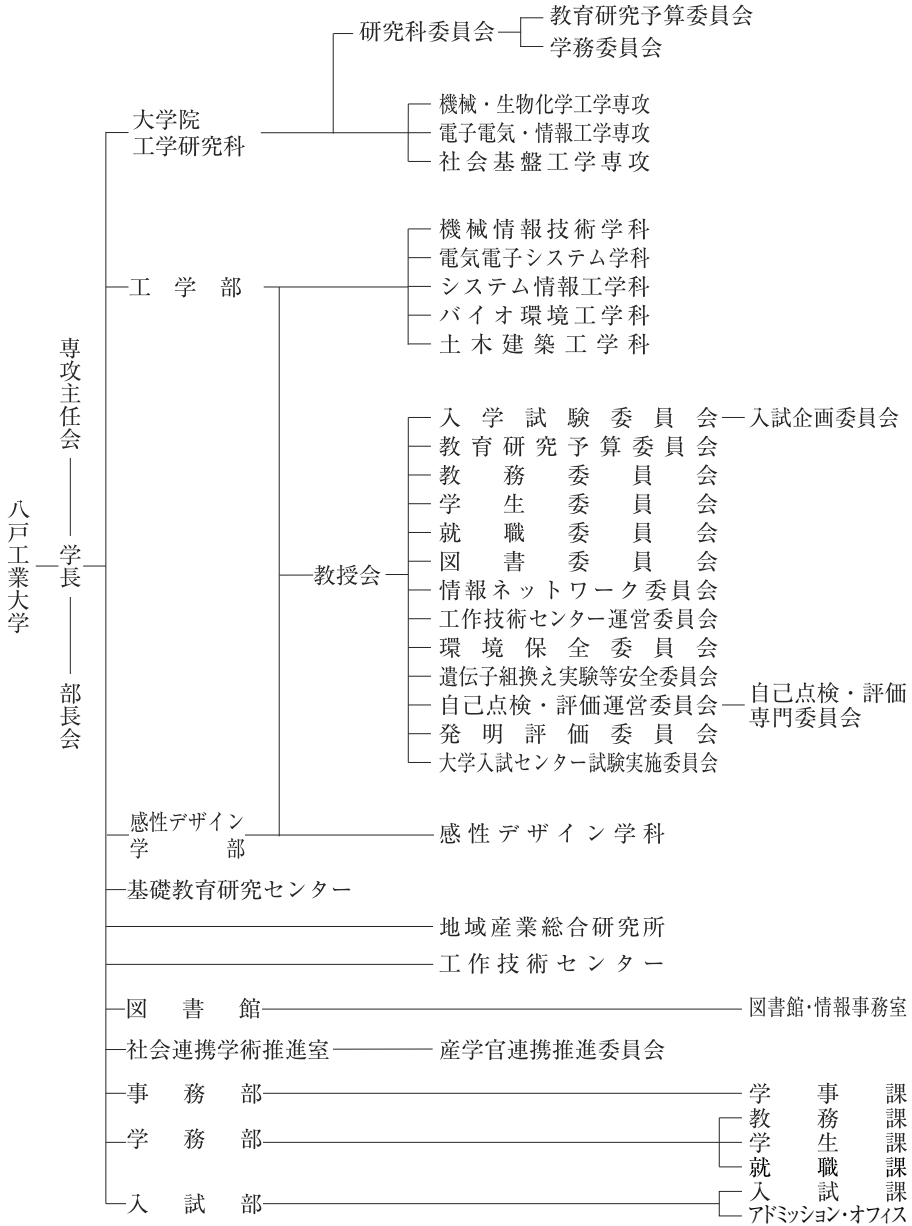
## 1 法人組織図





第6 組織

2 大学組織図



## 第7 名誉学長・名誉教授

## 1 名 誉 学 長

称号授与	学 位	氏 名	専攻分野
平5. 4. 1	工学博士	河 上 房 義	基礎・土質工学
12. 4. 1	工学博士	村 上 孝 一	電力工学・電気機器工学 計測・制御工学

## 2 名 誉 教 授

称号授与	学 位	氏 名	専攻分野
平3. 1. 1		内 川 健 吾	英語学
3. 1. 1	工学博士	門 脇 又 男	電力工学
3. 1. 1		淵 澤 定 敏	液体機械学
3. 1. 1		佐 藤 健 吉	土質工学
3. 1. 1	工学博士	佐々木 嘉 彦	建築計画・都市計画
3. 4. 1	工学博士	三 戸 暁	機械材料学
3. 4. 1	工学博士	萱 場 孝 雄	機械要素
4. 4. 1	工学博士	田 原 浩 一	化学工学
4. 4. 1		高 橋 久 太 郎	教育学
5. 4. 1	工学博士	河 上 房 義	基礎・土質工学
6. 4. 1	工学博士	槌 川 武 男	機械工作
6. 4. 1	工学博士	能 登 文 敏	電力工学 電気機器工学
6. 4. 1	工学博士	内 山 和 夫	建築構造・材料
8. 4. 1	工学博士	鈴 木 幸 三	工業力学 材料力学 環境安全工学
8. 4. 1	工学博士	志 満 嘉 夫	電力工学・電気機器工学 流体工学
9. 4. 1	理学博士	伊 達 蕙	物理化学
12. 4. 1	工学博士	村 上 孝 一	電力工学・電気機器工学 計測・制御工学

第7 名誉学長・名誉教授

平12.	4.	1	工学博士	佐藤敦久	土木環境システム 環境保全
12.	4.	1	博士(工学)	佐藤米司	土木環境システム
12.	4.	1	工学博士	杉田慶一郎	電力工学・電気機器工学 プラズマ理工学
16.	4.	1	博士(工学)	加賀拓也	流体工学 船舶工学
17.	4.	1	博士(工学)	杉田修一	土木材料・力学一般
18.	4.	1	農学博士	奥田愼一	応用微生物学・応用生物化学
18.	4.	1		勝村靖夫	体育学
18.	4.	1	博士(工学)	塩井幸武	橋梁工学基礎工学耐震工学
18.	4.	1	工学博士	須田  漈	交通工学・国土計画 社会システム工学
18.	4.	1	工学博士	高橋  燦吉	化学工学一般 反応・分離工学 熱工学
18.	4.	1	経済学修士	福田  直	経済理論 経済統計学
18.	4.	1	理学修士	本間 健祐	電子・電気材料工学 固体物性I
19.	4.	1	工学博士	増田 陽一郎	電子・電気材料工学 薄膜表面界面物性
19.	4.	1	工学博士	豊田 淳  一	電力工学・電気機器工学 システム工学 エネルギー学
20.	4.	1	理学博士	田中  昇	物理化学一般 環境科学
20.	4.	1	工学博士	渡邊 正朋	建築構造・材料
20.	4.	1	工学博士	松坂知行	システム工学 制御工学
20.	4.	1	理学修士	尾崎康弘	教育工学 科学教育
20.	4.	1	文学修士	竹園洋子	日本文学
20.	4.	1		澤田 紘次	建築環境・設備
21.	4.	1	理学博士	坂尻直巳	固体地球惑星物理学 地震工学
21.	4.	1	理学博士	清野大樹	物性II メディア情報
21.	4.	1	博士(工学)	小山信次	材料科学・材料力学 複合材料・物性
22.	4.	1	工学博士	小松崎年雄	制御工学 知能ロボティクス

第7 名誉学長・名誉教授

平22.	4.	1	工学博士	苜米地	宣裕	コンピュータシステム
22.	4.	1	博士(工学)	岡村	隆成	エネルギー学 熱工学
23.	4.	1	工学博士	佐藤	正毅	電力工学・電気機器工学 エネルギー学
23.	4.	1	理学修士	目	修三	物理学 科学教育
24.	4.	1	工学博士	伊藤	幸雄	流体力学 リサイクル工学
24.	4.	1	工学博士	毛呂	眞	建築構造・材料 自然災害科学
25.	4.	1	工学博士	大内	清行	塑性加工学 材料加工・処理
26.	4.	1	工学博士	村中	健	応用物理学 環境動態解析
26.	4.	1	博士(工学)	梅津	光男	住居デザイン 都市計画・建築計画
27.	4.	1	工学博士	阿部	勝憲	原子力学・核融合学
28.	4.	1	工学博士	藤田	成隆	マイクロ・ナノデバイス 計測工学 環境動態解析

## 第8 役 職 員

学		長	長	谷	川	明
副	学	長	橋	本		都
副	学	長	福	士	憲	一
事	務	長	松	坂	博	行
	学	長	松	坂	博	行
学	務	長	坂	本	禎	智
	学	長	阿	波		稔
	学	長	小	玉	成	人
	教	長	奥		正	克
	学	長	笹	田	公	烈
	就	長	栗	橋	秀	行
入	試	長	野	田	英	彦
	入	長	宮	腰	直	幸
	入	長	信	山	克	義
	入	長	竹	本	成	喜
社会	連携	長	石	山	俊	彦
	社会	長	高	橋		晋
	社会	長	得	丸	雅	夫
図	書	長	鈴	木		寛
	図書館・情報	長	青	井	信	達
大学	院	長	長	谷		明
工	学	長	長	谷		明
感	性	長	坂	本	禎	智
機	械	長	大	黒	正	敏
電	気	長	関		秀	廣
シ	ス	長	武	山		泰
バ	イ	長	小	比	卷	孝
土	木	長	竹	内	貴	弘
感	性	長	小	嶋	高	良
基	礎	長	鈴	木		寛
地	域	長	四	竈	樹	男
工	作	長	大	黒	正	敏

## 第9 教 職 員

## 1 教 職 員

職 名	学 位	氏 名	兼任・専攻分野・その他
学 長	工学博士	長谷川 明	(兼)理事・大学院工学研究科長・ 工学部長・教授 構造力学 橋梁工学 計算工学
副 学 長		橋 本 都	(兼)理事・総合企画室室長・教授 教育学
副 学 長		福 士 憲 一	(兼)理事・教授 土木環境システム 環境技術

職 名	氏 名	兼任・その他
[事 務 部]		
次 長	松 坂 博 行	
学 事 課		
課 長	松 坂 博 行	
主 事	寺 下 智 子	
主 事	奥 貴和子	
書 記	佐 京 紗也加	
主 事 (嘱託)	柳 谷 史 子	
[学 務 部]		
部 長	坂 本 禎 智	感性デザイン学科教授
次 長	阿 波 稔	土木建築工学科教授 (兼)アドミッション・オフィスオフィサー
次 長	小 玉 成 人	システム情報工学科教授
教 務 課		
課 長	奥 正 克	
主 事	西 村 恵	
主 事	本 間 貴 士	
主 事 補	佐々木 綾 子	
書 記	風 張 洋 佑	

第9 教職員

学 生 課

課 長 笹 田 公 烈

主 事 中 嶋 沙 香 絵

主 事 補 三 上 実 穂

書 記 中 村 優 孝

就 職 課

課 長 栗 橋 秀 行

係 長 立 花 桂 子

主 事 補 新 山 隆 文

書 記 五 十 嵐 七 果

〔入 試 部〕

部 長 野 田 英 彦 機械情報技術学科教授

(兼)アドミッション・オフィスチーフ

次 長 宮 腰 直 幸 感性デザイン学科准教授

(兼)アドミッション・オフィスオフィサー

次 長 信 山 克 義 電気電子システム学科准教授

(兼)アドミッション・オフィスオフィサー

入 試 課

課 長 竹 本 成 喜 (兼)アドミッション・オフィスサブチーフ

主 事 島 田 典 彰 (兼)アドミッション・オフィススタッフ

主 事 桂 山 清 美 (兼)アドミッション・オフィススタッフ

主 事 補 田 島 尚 幸 (兼)アドミッション・オフィススタッフ

書 記 濱 田 信 吾 (兼)アドミッション・オフィススタッフ

書 記 小 林 南 (兼)アドミッション・オフィススタッフ

参 与 (嘱 託) 大 庭 文 武 地区アドバイザー

参 与 (嘱 託) 佐々木 隆 地区アドバイザー

参 与 (嘱 託) 入 駒 智 地区アドバイザー

参 与 (嘱 託) 阿 部 文 康 地区アドバイザー

参 与 (嘱 託) 加 藤 繁 地区アドバイザー

〔社会連携学術推進室〕

室長	石山俊彦	電気電子システム学科教授
次長	高橋晋	バイオ環境工学科准教授
課長	得丸雅夫	
主事	泉世市子	
主事	畑中広明	
主事	齊藤克治	
書記	畑中ひとみ	

〔図書館〕

館長	鈴木寛	機械情報技術学科教授
図書館・情報事務室		
事務長代行	青井信達	
主事	岩織敬道	
主事	大久保るり子	
技師	谷津昌樹	
主事補	笹山由紀子	
臨時事務職員	松川勉	
(財)技師	山日康之	

〔大学教育再生加速プログラム〕

特任教授	太田口和久
プロジェクト事務補助員	茨島涼

〔未利用熱エネルギー革新的活用技術研究開発〕

特任講師	小田島聡
------	------

〔客員教員〕

客員教授	内川晋	トヨタ自動車東日本(株)名誉顧問
客員教授	唐澤英年	東北化学薬品(株) 非常勤顧問 青森県商工労働部 青森県企業誘致スーパーバイザー (一財)エネルギー総合工学研究所 非常勤嘱託
客員教授	堀田平	国立研究開発法人 海洋研究開発機構 特任参事
客員教授	阿部勝憲	八戸工業大学 名誉教授



第9 教職員

工 学 部

職 名	学 位	氏 名	兼任・専攻分野・その他
工学部長	工学博士	長谷川 明	学長
〔機械情報技術学科〕			
教 授	工学博士	大 黒 正 敏	(兼)学科長・工作技術センター所長 熱工学
教 授	博士(工学)	野 田 英 彦	(兼)入試部長 熱工学 移動現象
教 授	博士(工学)	鈴 木 寛	(兼)基礎教育研究センター長・図書館長 機械材料・材料力学
教 授	博士(工学)	佐 藤 学	原子力学 核融合学
教授(嘱託)	工学博士	齋 藤 正 博	機械材料・材料力学 構造・機能材料
(兼)教授(嘱託)	工学博士	四 竈 樹 男	地域産業総合研究所教授
(兼)教 授	博士(工学)	小 嶋 高 良	感性デザイン学科教授
准 教 授	博士(工学)	武 藤 一 夫	生産工学・加工学 設計工学・機械機能要素・トライボロジー
准 教 授	博士(工学)	工 藤 祐 嗣	社会システム工学・安全システム 熱工学
准 教 授	博士(工学)	太 田 勝	電力工学・電気機器工学
講 師	博士(工学)	藤 澤 隆 介	知覚情報処理・知能ロボティクス
助 教		浅 川 拓 克	自動車工学
技 師		寺 井 孝 男	
技 師		中 田 光 広	
技師(嘱託)		坂 本 勝 男	
工 師		坂 本 秀 祉	
工師(嘱託)		早 坂 昭 男	

## 〔電気電子システム学科〕

教 授	工学博士	関 秀 廣	(兼)学科長 電子デバイス・電子機器 電子・電気材料工学
教 授	文学修士	松 浦 勉	教育学 日本史
教 授	博士(工学)	石 山 俊 彦	(兼)社会連携学術推進室長 電子・電気材料工学 電子デバイス・電子機器
教授(嘱託)	博士(工学)	根 城 安 伯	プラズマ理工学 宇宙工学
(併)教 授	文学修士	渡 辺 武 秀	基礎教育研究センター教授
(併)教 授	工学博士	坂 本 禎 智	感性デザイン学科教授
准 教 授	博士(工学)	神 原 利 彦	知覚情報処理・知能ロボティクス 知能機械学・機械システム
准 教 授	博士(工学)	柴 田 幸 司	電子回路・計測工学 通信ネットワーク工学
准 教 授	博士(工学)	信 山 克 義	(兼)入試部次長 電子・電気材料工学 環境技術・環境材料
(併)准教授	博士(工学)	川 本 清	基礎教育研究センター准教授
講 師	博士(工学)	佐々木 崇 徳	通信・ネットワーク工学 数理物理 物性基礎 ソフトウェア 衛星リモートセンシング
講 師	博士(工学)	花 田 一 磨	電力工学・電力変換・電気機器 エネルギー学
技 師		大 畷 倫 和	
技 師 補		上 野 浩 志	

## 第9 教職員

### [システム情報工学科]

教 授	博士(工学)	武 山 泰	(兼)学科長 社会システム工学 ソフトウエア
教 授	博士(工学)	高 橋 良 英	ソフトウェア工学 知能情報学
教 授	博士(工学)	小坂谷 壽 一	ヒューマン・インターフェイス 音楽情報科学
教 授	博士(工学)	嶋 脇 秀 隆	電子デバイス・電子機器
教 授	博士(情報工学)	藤 岡 与 周	計算機システム
教授(嘱託)	工学博士	栗 原 伸 夫	計測制御工学 組込ソフトウェア
准 教 授		山 本 忠	中国語・中国文学
准 教 授	博士(工学)	清 水 能 理	知能情報学 制御工学
准 教 授	博士(理学)	山 口 広 行	計算機システム・ネットワーク
准 教 授	博士(工学)	小 玉 成 人	(兼)学務部次長 計算機システム・ネットワーク 制御工学
准 教 授	博士(工学)	伊 藤 智 也	メディア情報学・データベース
(兼)准教授	博士(理学)	笹 原 徹	基礎教育研究センター准教授
(兼)講 師	Doctor of Philosophy	斎 藤 明 宏	基礎教育研究センター講師
技 師		本 田 和 也	
技 師		山 日 康 之	

## 〔バイオ環境工学科〕

教 授	博士(理学)	小比類卷 孝幸	(兼)学科長 無機化学 環境関連化学
教 授	農学博士	若 生 豊	応用生物化学 食品科学
教 授	博士(工学)	鶴 田 猛彦	応用微生物学 生物機能・バイオプロセス
教 授	博士(工学)	小 林 正樹	反応工学・移動操作・単位操作
准教授	経済学修士	岩 村 満	経済史 環境政策
准教授	博士(農学)	西 村 順子	食品微生物学・畜産物利用学
准教授	博士(水産学)	藤 田 敏明	水産学一般
准教授	博士(工学)	高 橋 晋	(兼)社会連携学術推進室次長 化学工学 物理化学
准教授	博士(理学)	鮎 川 恵理	生態・環境 生物多様性・分類
(兼)准教授	博士(理学)	田 中 義幸	基礎教育研究センター准教授
(兼)講 師	修士(人間科学)	大 室 康平	基礎教育研究センター講師
技 師		磯 島 康雄	
技 師		中 谷 勝美	

## 第9 教職員

### [土木建築工学科]

教 授	博士(工学)	竹 内 貴 弘	(兼)学科長 海洋工学 水工水理学
教 授	博士(工学)	橋 本 典 久	建築環境・設備
教 授	工学博士	福 士 憲 一	(兼)理事 副学長 土木環境システム 環境技術
教 授	博士(工学)	月 永 洋 一	建築構造・材料
教 授	工学博士	滝 田 貢	建築構造・材料
教 授	博士(工学)	阿 波 稔	(兼)学務部次長 土木材料 維持管理工学
教 授	博士(工学)	金 子 賢 治	地盤工学 応用力学 計算力学
教授(嘱託)	博士(工学)	熊 谷 浩 二	地盤環境工学 職業倫理
教授(嘱託)	工学博士	佐々木 幹 夫	水工水理学 自然災害科学
教授(嘱託)	工学博士	長谷川 明	学長
(併)教 授	博士(理学)	佐 野 公 朗	基礎教育研究センター教授
(併)教 授	博士(工学)	武 山 泰	システム情報工学科教授
准 教 授	博士(工学)	鈴 木 拓 也	土木環境システム 環境技術・環境システム
准 教 授	博士(工学)	迫 井 裕 樹	土木材料
(併)准教授	修士(工学)	小 藤 一 樹	感性デザイン学科准教授
(併)准教授	博士(工学)	宮 腰 直 幸	感性デザイン学科准教授
(併)准教授	博士(工学)	安 部 信 行	感性デザイン学科准教授
技 師		関 川 定 美	
技 師		高 島 幸 典	

## 感性デザイン学部

職名	学位	氏名	兼任・専攻分野・その他
感性デザイン 学部長	工学博士	坂本 禎 智	(兼)学務部長 ユニバーサルデザイン・電気機器工学 計測・制御工学
〔感性デザイン学科〕			
教 授	博士(工学)	小 嶋 高 良	(兼)学科長 リハビリテーション科学・福祉工学 社会システム工学・安全システム
教 授	文学修士	水 沼 和 夫	独語・独文学 比較文化
教 授	教育学修士	高 橋 康 造	哲学 教育学
教 授	文学修士	佐 藤 手 織	認知心理学 実験系心理学
教授(嘱託)		橋 本 都	(兼)理事・総合企画室長 副学長 教育学
教授(嘱託)		田 村 充 治	教育学 幾何学
准教授	博士(文学)	高 橋 史 朗	英語・英米文学 芸術批評
准教授	修士(工学)	小 藤 一 樹	建築意匠 建築計画
准教授		川守田 礼 子	日本文学 日本文化
准教授	博士(工学)	宮 腰 直 幸	建築計画 認知科学 図学
准教授	芸術学修士	横 溝 賢	メディア情報学 知能情報学
准教授	博士(工学)	安 部 信 行	福祉環境工学・ユニバーサルデザイン
(兼)准教授	博士(文学)	今 出 敏 彦	基礎教育研究センター准教授
講 師	博士(文学)	岩 崎 真 梨 子	日本語学 日本語史
技 師		高 橋 英 樹	
技 師		夏 坂 光 男	

## 第9 教職員

### 基礎教育研究センター

職名	学位	氏名	兼任・専攻分野・その他
教授	博士(工学)	鈴木 寛	(兼)基礎教育研究センター長・図書館長 機械情報技術学科教授
教授	文学修士	渡辺 武秀	中国語・中国文学
教授	博士(理学)	佐野 公朗	解析学基礎
(併)教授	文学修士	水沼 和夫	感性デザイン学科教授
(併)教授	教育学修士	高橋 康造	感性デザイン学科教授
(併)教授	文学修士	松浦 勉	電気電子システム学科教授
(併)教授	博士(工学)	鶴田 猛彦	バイオ環境工学科教授
(併)教授	文学修士	佐藤 手織	感性デザイン学科教授
(併)教授	博士(理学)	小比類卷 孝幸	バイオ環境工学科教授
(併)教授	博士(工学)	佐藤 学	機械情報技術学科教授
(併)教授(嘱託)		橋本 都	副学長 感性デザイン学科教授
(併)教授(嘱託)		田村 充治	感性デザイン学科教授
(併)教授(嘱託)	博士(工学)	根城 安伯	電気電子システム学科教授
准教授	博士(工学)	川本 清	薄膜・表面界面物性
准教授	博士(理学)	田中 義幸	海洋生態学 安定同位体比解析 生態系機能
准教授	博士(文学)	今出 敏彦	公共哲学・倫理学
准教授	博士(理学)	笹原 徹	幾何学
(併)准教授	経済学修士	岩村 満	バイオ環境工学科准教授
(併)准教授		山本 忠	システム情報工学科准教授
(併)准教授	博士(文学)	高橋 史朗	感性デザイン学科准教授
(併)准教授		川守田 礼子	感性デザイン学科准教授
(併)准教授	博士(工学)	高橋 晋	バイオ環境工学科准教授

第9 教職員

講 師	Doctor of Philosophy	斎 藤 明 宏	応用言語学・ディスコース研究
講 師	修 士 (人間科学)	大 室 康 平	スポーツ科学
(併講) 師	博士(工学)	佐々木 崇 徳	電気電子システム学科講師
(併講) 師	博士(文学)	岩 崎 真梨子	感性デザイン学科講師
技 師		西田中 多美子	
技 師		細 越 寿 則	



## 第9 教職員

### 地域産業総合研究所

職名	学位	氏名	兼任・専攻分野・その他
教授(嘱託)	工学博士	四 竈 樹 男	(兼)所長 原子力学・核融合学
(併)教授	博士(工学)	金 子 賢 治	土木建築工学科教授
(併)准教授	博士(工学)	川 本 清	基礎教育研究センター准教授
(併)准教授	博士(理学)	田 中 義 幸	基礎教育研究センター准教授
(併)准教授	芸術学修士	横 溝 賢	感性デザイン学科准教授
(併)准教授	博士(工学)	太 田 勝	機械情報技術学科准教授
(併)准教授	博士(工学)	小 玉 成 人	システム情報工学科准教授
(併)講 師	博士(工学)	花 田 一 磨	電気電子システム学科講師

## 工作技術センター

職名	氏名	その他
所長	大黒正敏	機械情報技術学科教授
工師	三上晃	
工師補	黒滝稔	
工師補	日影学	
工師(嘱託)	玉川邦夫	

第9 教職員

大学院工学研究科

職名	学位	氏名	研究部門・その他
工学研究科長	工学博士	長谷川 明	学長
〔機械・生物化学工学専攻〕			
教授	工学博士	大黒 正 敏	(兼)専攻主任 移動現象工学 (機械情報技術学科教授)
教授	博士(工学)	野田 英 彦	移動現象工学 (機械情報技術学科教授)
教授	農学博士	若生 豊	物質変換工学 (バイオ環境工学科教授)
教授	博士(工学)	鶴田 猛 彦	物質変換工学 (バイオ環境工学科教授)
教授	博士(工学)	鈴木 寛	材料加工学 (機械情報技術学科教授)
教授	博士(理学)	小比類巻 孝幸	物質変換工学 (バイオ環境工学科教授)
教授	博士(工学)	佐藤 学	材料加工学 (機械情報技術学科教授)
教授	博士(工学)	小林 正 樹	物質変換工学 (バイオ環境工学科教授)
教授(嘱託)	工学博士	栗原 伸 夫	計測システム工学 (システム情報工学科教授)
教授(嘱託)	工学博士	齋藤 正 博	材料加工学 (機械情報技術学科教授)
教授(嘱託)	工学博士	四竈 樹 男	材料加工学 (地域産業総合研究所教授)
准教授	博士(工学)	武藤 一 夫	材料加工学 (機械情報技術学科准教授)
准教授	博士(農学)	西村 順 子	物質変換工学 (バイオ環境工学科准教授)
准教授	博士(水産学)	藤田 敏 明	物質変換工学 (バイオ環境工学科准教授)
准教授	博士(工学)	高橋 晋	計測システム工学 (バイオ環境工学科准教授)
准教授	博士(理学)	鮎川 恵 理	物質変換工学 (バイオ環境工学科准教授)
准教授	博士(工学)	工藤 祐 嗣	移動現象工学 (機械情報技術学科准教授)
准教授	博士(工学)	太田 勝	計測システム工学(機械情報技術学科准教授)

## 〔電子電気・情報工学専攻〕

教 授	工 学 博 士	関 秀 廣	(兼)専攻主任 電子デバイス工学(電気電子システム学科教授)
教 授	博 士(工 学)	高 橋 良 英	情報システム工学(システム情報工学科教授)
教 授	博 士(工 学)	小坂谷 壽 一	通信メディア工学(システム情報工学科教授)
教 授	工 学 博 士	坂 本 禎 智	エネルギーシステム工学(感性デザイン学科教授)
教 授	博 士(工 学)	石 山 俊 彦	エネルギーシステム工学(電気電子システム学科教授)
教 授	博 士(工 学)	嶋 脇 秀 隆	通信メディア工学(システム情報工学科教授)
教 授	博 士 (情報工学)	藤 岡 与 周	通信メディア工学・情報システム工学 (システム情報工学科教授)
教授(嘱託)	博 士(工 学)	根 城 安 伯	エネルギーシステム工学・基盤科目 (電気電子システム学科教授)
准 教 授	博 士(工 学)	清 水 能 理	情報システム工学(システム情報工学科准教授)
准 教 授	博 士(工 学)	川 本 清	電子デバイス工学(基礎教育研究センター准教授)
准 教 授	博 士(工 学)	神 原 利 彦	通信メディア工学(電気電子システム学科准教授)
准 教 授	博 士(理 学)	山 口 広 行	通信メディア工学(システム情報工学科准教授)
准 教 授	博 士(理 学)	笹 原 徹	基盤科目(基礎教育研究センター准教授)
准 教 授	博 士(工 学)	信 山 克 義	電子デバイス工学(電気電子システム学科准教授)

## 第9 教職員

### 〔社会基盤工学専攻〕

教 授	博士(工学)	竹 内 貴 弘	(兼)専攻主任 水工・寒地工学 (土木建築工学科教授)
教 授	博士(工学)	橋 本 典 久	環境工学 (土木建築工学科教授)
教 授	工学博士	福 士 憲 一	環境工学 (副学長・土木建築工学科教授)
教 授	博士(工学)	月 永 洋 一	構造材料工学 (土木建築工学科教授)
教 授	博士(工学)	武 山 泰	環境工学 (システム情報工学科教授)
教 授	博士(工学)	阿 波 稔	構造材料工学 (土木建築工学科教授)
教 授	博士(工学)	金 子 賢 治	地盤防災工学 (土木建築工学科教授)
教 授	博士(理学)	佐 野 公 朗	基盤科目 (基礎教育研究センター教授)
教授(嘱託)	博士(工学)	熊 谷 浩 二	地盤防災工学 (土木建築工学科教授)
教授(嘱託)	工学博士	佐々木 幹 夫	水工・寒地工学 (土木建築工学科教授)
教授(嘱託)	工学博士	長谷川 明	構造材料工学 (学長)
准 教 授	博士(工学)	宮 腰 直 幸	環境工学 (感性デザイン学科准教授)
准 教 授	博士(工学)	鈴 木 拓 也	環境工学 (土木建築工学科准教授)
准 教 授	博士(工学)	迫 井 裕 樹	構造材料工学 (土木建築工学科准教授)

## 非常勤講師

学位	氏名	所属・職名	担当科目
工学博士	藤田尚毅	岩手大学 名誉教授	機械設計技法
商学士	小又誠一		自動車整備実習 潤滑工学 電気電子工学概論(自動車) 自動車検査(自動車) 電子回路工学(自動車) 自動車法規(自動車) 自動車測定検査概論
工学博士	羽根一博	東北大学大学院 教授	マイクロマシンシステム
博士(工学)	澤瀬 薫	一関工業高等専門学校 教授	自動車工学
工学博士	松野文俊	京都大学大学院 教授	ロボット工学
学士(工学)	紺谷陽広	(株)夢真ホールディングス	CAD設計製図 設計・製図
工学博士	藤原民也		高電界工学
工学士	霜鳥正浩	東北電力(株) 青森支店電力ネットワーク本部 設備計画グループ 統括リーダー(部長)	電気法規と電気施設管理
博士(工学)	奥村幸彦	(株)NTTドコモ先進技術研究所 5G推進室 主幹研究員	情報通信法規
工学博士	穴澤義久		電気電子設計製図
工学博士	本田耕一郎	芝浦工業大学 非常勤講師	知能集積回路
学士(工学)	市川昇	(株)サンライズ・エー・イー 第一開発部 部長	情報工学応用実験ⅡA
学士(工学)	角田静	(株)サンライズ・エー・イー 第二開発部 課長	情報工学応用実験ⅡA
学士(工学)	松塚春男	(株)サンライズ・エー・イー 第一開発部	情報工学応用実験ⅡA
社会学学士	佐藤賢一郎	(株)インフォテック・サーブ 教育事業部 開発グループ 主任	情報工学特別講義

## 第9 教職員

准 学 士	大久保 等	八戸学院短期大学 ライフデザイン学科 教授	経営情報論
修士(経営学)	岩 淵 護	青森大学 経営学部 准教授	経営情報論
博士(工学)	佐 藤 陽 悦	一関工業高等専門学校 制御情報工学科 准教授	マルチメディア工学
工学博士	青 木 秀 敏		バイオ環境工学基礎実験 食品工学 グリーンケミストリー エネルギーと物質の循環 エコインダストリー
理 学 士	佐々木 隆	(一財)青森市文化スポーツ振興公社 理 事 長	理科指導法Ⅰ 理科指導法Ⅱ
教育学士	橋 本 謙 一		地球環境システム科学
工学博士	毛 呂 眞	八戸工業大学 名誉教授	建築構造 鉄筋コンクリート構造
工 学 士	古 戸 陸 子	ふるとちかこ建築設計室 代表	建築設計Ⅰ
学士(工学)	枇 澤 卓 馬	(有)檜屋木材店 1952HINOKIYA 一級建築士事務所	建築設計Ⅰ
工 学 士	松 橋 義 明	(有)柳計画設計 技師	建築設計Ⅱ
学士(工学)	齋 藤 綾 子	サイトウアヤコ建築設計事務所 代 表	建築設計Ⅱ
工 学 士	菅 原 晃	一級建築士事務所設計工房 SD 代 表	建築設計Ⅲ
修士(工学)	川 口 實	川口實建築研究所 代 表 所 長	建築設計Ⅲ
工 学 士	橋 本 徳 浩	一級建築士事務所(株)キャデック 課 長	CAD基礎演習
博士(工学)	馬 渡 龍	八戸工業高等専門学校 産業システム工学科 准 教 授	建築計画
工 学 士	石 藤 千 春	三 並 建 設 (株) 専 務 取 締 役	施工技術
修士(工学)	福 士 讓	フクシアンドフクシ建築事務所 所 長	すまい設計

第9 教職員

修士(工学)	石 橋 学	(株)第一測量設計 取締役	応用測量学および実習
博士(工学)	黒 川 孝 一	日 本 工 機 (株) 非 常 勤 監 査 役	火薬学
博士(工学)	武 田 明 純	室 蘭 工 業 大 学 建 築 社 会 基 盤 系 学 科 助 教	建築史
博士(工学)	橋 詰 豊		基礎製図
工 学 士	藤 村 俊 作		工業科指導法
工 学 士	高 橋 稔	からくり工房・工遊館 代 表	木材加工
工 学 士	赤 坂 裕 一 郎		技術科指導法Ⅰ 技術科指導法Ⅱ
農学修士	山 内 重 孝		基礎化学Ⅰ 化学実験B 基礎化学Ⅱ
理 学 士	石 橋 啓 逸		基礎化学Ⅰ 基礎化学Ⅱ 化学実験B
	榎 本 良 孝		栽培 生命科学
理学修士	田 中 義 一		物理科学 基礎物理学Ⅲ
工学博士	堀 田 平	国立研究開発法人海洋研究開発機構 特 任 参 事	主題別ゼミナールⅠ
文 学 士	秋 山 友 則		日本国憲法
教育学士	桃 井 龍 慈		英語基礎Ⅰ 英語コミュニケーションⅠ 英語基礎Ⅱ 英語コミュニケーションⅡ
文学修士	奈 良 直 一		英語基礎Ⅰ 英語コミュニケーションⅠ 英語基礎Ⅱ 英語コミュニケーションⅡ
文学修士	前 田 純 子		英語コミュニケーションⅠ 現代英語Ⅰ 英語コミュニケーションⅡ 現代英語Ⅱ



## 第9 教職員

経営学士	Matthew S.Thomas	八戸工業大学他 非常勤講師	英語コミュニケーションⅠ 現代英語Ⅰ 英語コミュニケーションⅡ 現代英語Ⅱ
歴史学士	Michael J.Morris	Michael's English School 経営	英語特別演習 英語コミュニケーションⅠ 現代英語Ⅰ 英語コミュニケーションⅡ 現代英語Ⅱ
文学修士	小林 繁吉		ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語特別演習 ドイツ語基礎Ⅰ 文学 ドイツ語コミュニケーションⅡ ドイツ語基礎Ⅱ
体育学士	和田 敬世		体育学 スポーツ健康学 リハビリテーション論 レクリエーション余暇論
文学修士	大津 正道		デザインマーケティング論
経済学士	杉山 京子		美術科指導法Ⅰ 工芸科指導法 彫刻 工芸学 美術科指導法Ⅱ 美術史 美術科指導法Ⅲ
修士 (社会福祉学)	小柳 達也	八戸学院大学 人間健康学部 講師	介護論 老人福祉論
修士 (社会福祉学)	熊谷 大輔	八戸学院大学 人間健康学部 講師	社会福祉論 地域福祉論
文教育学士	大 嶌 雅 子	画 家	絵画Ⅰ 絵画Ⅱ
芸術学士	安 斉 将	フリーランス イラストレーター	イラストレーションⅠ イラストレーションⅡ
工 学 士	村 井 麻里子	(株) デザインヤード デザインマネージャー	インテリアデザイン
修士(工学)	高 坂 真	編集者、フリーランス デザイナー	デザイン史

第9 教職員

農 学 士	富 沢 知 成	富 沢 特 許 事 務 所 弁 理 士	知的財産論
	小 向 美 枝 子	茶 道 裏 千 家 淡 交 会 青 森 支 部 茶 道 教 授	日本の文化
学 士 (文 学)	星 聡 昭	クリエイティブエージェンシー・ラモン代表	広告論
文 学 修 士	高 橋 哲 徳	東 北 工 業 大 学 共 通 教 育 セ ン タ ー 准 教 授	映像メディア論
博 士 (工 学)	遊 佐 訓 孝	東 北 大 学 大 学 院 工 学 研 究 科 准 教 授	応用放射線工学特論

第9 教職員

2 教職員数

( ) 女子内数

区 分		専 任													プロ ジェ クト 研究 員等	そ の 他	非 常 勤 講 師	総 計
		教 員							職 員					合 計				
		学 長	副 学 長	教 授	准 授	講 師	助 教	助 手	小 計	事 務 職 員	技 術 職 員	技 能 職 員	労 務 職 員					
八 戸 工 業 大 学		1	2 (1)						3 (1)	34 (15)	1	4	40 (15)	43 (16)	5	9	65 (7)	122 (23)
工 学 部	機 械 情 報 技 術 学 科			5	3	1	1		10		3	2	5	15				15
	電 気 電 子 シ ス テ ム 学 科			4	3	2			9		2		2	11				11
	シ ス テ ム 情 報 工 学 学 科			6	5				11		2		2	13				13
	バ イ オ 環 境 工 学 学 科			4	5 (2)				9 (2)		2		2	11 (2)				11 (2)
	土 木 建 築 工 学 学 科			8	2				10		2		2	12				12
イ 感 性 ン 学 デ 部 サ	感 性 デ ザ イ ン 学 科			6	6 (1)	1 (1)			13 (2)		2		2	15 (2)				15 (2)
基 礎 教 育 研 究 セ ン タ ー				2	4	2			8		2 (1)		2 (1)	10 (1)				10 (1)
地 域 産 業 総 合 研 究 所				1					1					1				1
総 計		1	2 (1)	36 (3)	28 (3)	6 (1)	1		74 (5)	34 (15)	16 (1)	6	57 (16)	131 (21)	5	9	65 (7)	210 (28)

## 第10 学 生

## 1 在籍学生数 (平成28年5月1日現在)

(大学院工学研究科)

( ) 女子内数

専攻名称	年次	博士前期課程			博士後期課程					合計	
		収容定員	1	2	小計	収容定員	1	2	3		小計
機械・生物化学工学		10				6		1		1	1(0)
電子電気・情報工学		10	2	3	5	6					5(0)
社会基盤工学		10				6	1	1		2	2(0)
計		30	2	3	5	18	1	2		3	8(0)

(工学部・感性デザイン学部)

( ) 女子内数

学部・学科		学年	収容定員	1	2	3	4	合計
工 学 部	機械情報技術学科		320	54	53	48(2)	51	206(2)
	電気電子システム学科		240	32	33(1)	41	37(1)	143(2)
	システム情報工学科		280	63(3)	59(5)	67(3)	66(4)	255(15)
	バイオ環境工学科		240	36(5)	32(11)	42(14)	32(8)	142(38)
	土木建築工学科		280	77(12)	71(8)	50(4)	41(2)	239(26)
	小計		1,360	262(20)	248(25)	248(23)	227(15)	985(83)
イ 感 性 学 部 デ ザ	感性デザイン学科		240	44(19)	35(18)	29(17)	33(21)	141(75)
	小計		240	44(19)	35(18)	29(17)	33(21)	141(75)
合 計			1,600	306(39)	283(43)	277(40)	260(36)	1,126(158)

第10 学 生

2 出身都道府県別学生数（平成28年5月1日現在）

（大学院工学研究科）

年次 県別	博士前期課程			博士後期課程				合 計
	1	2	計	1	2	3	計	
青 森	2	2	4					4
福 島				1			1	1
新 潟		1	1					1
中 国					2		2	2
総 計	2	3	5	1	2		3	8

（工学部・感性デザイン学部）

（ ）女子内数

学年 県別	1	2	3	4	合計
北海道	5 ( 1)	3	2	9 ( 1)	19 ( 2)
青 森	223 ( 33)	225 ( 36)	203 ( 33)	183 ( 24)	834 (126)
岩 手	40 ( 2)	30 ( 4)	38 ( 5)	24 ( 5)	132 ( 16)
宮 城	5	4	7	4	20
秋 田	22 ( 3)	13 ( 2)	16	29 ( 4)	80 ( 9)
山 形	4	1	6 ( 2)	7 ( 1)	18 ( 3)
福 島	3	2		2	7
茨 城		1	1	1 ( 1)	3 ( 1)
群 馬		1			1
埼 玉		1 ( 1)			1 ( 1)
千 葉	1				1
東 京	1		1	1	3
新 潟			1		1
長 野	1				1
静 岡			2		2
京 都		1			1
和歌山		1			1
鹿児島	1				1
総 計	306 ( 39)	283 ( 43)	277 ( 40)	260 ( 36)	1,126 (158)

## 3 学位授与者数

種 類	専攻 年度	授 与 者 数									
		機械システム工学 機械・生物化学工学		電 気 電 子 工 学 電 子 電 気 ・ 情 報 工 学		土 木 工 学 社 会 基 盤 工 学		建 築 工 学		計	
		課 程 修 了	論 文 審 査	課 程 修 了	論 文 審 査	課 程 修 了	論 文 審 査	課 程 修 了	論 文 審 査	課 程 修 了	論 文 審 査
博 士 (工学)	平成 11			2		1		—	—	3	
	12	2		2		1	1	—	—	5	1
	13	2		1		4	1	—	—	7	1
	14			1		1		—	—	2	
	15	4	1			2	1	—	—	6	2
	16	2		1		1		1		5	
	17	2		1		2	1	2		7	1
	18	1				1	1			2	1
	19	2		2		1	1			5	1
	20			2				2		4	
	21										
	22	2		1				1		4	
	23								1		1
	24					1				1	
	25										
26											
27	1				1				2		
計		18	1	13	0	16	6	6	1	53	8

種 類	専攻 年度	授 与 者 数				計		
		機械システム工学 機械・生物化学工学		電 気 電 子 工 学 電 子 電 気 ・ 情 報 工 学			土 木 工 学 社 会 基 盤 工 学	建 築 工 学
		課 程 修 了	論 文 審 査	課 程 修 了	論 文 審 査		課 程 修 了	論 文 審 査
修 士 (工学)	平成 8	5		6		4	—	15
	9	5		5		6	—	16
	10	9		4		5	—	18
	11	12		5		9	—	26
	12	9		6		10	4	29
	13	16		6		7	8	37
	14	12		7		10	4	33
	15	14		5		7	3	29
	16	16		9		11	11	47
	17	7		12		5	6	30
	18	7		4		9	8	28
	19	11		7		8	10	36
	20	3		3		1	7	14
	21	17		8		1	1	27
	22	5		6		6	3	20
	23	7		12		5	4	28
	24	7		3		1	2	13
25	2		5		3	0	10	
26	7		2		—	3	12	
27	3		0		3	2	8	
計		174		115		111	76	476

第10 学 生

4 卒 業 者 数

(工学部・感性デザイン学部)

年度	学科 機械工学科・ 機械情報 技術学科	電気工学科・ 電子情報 システム学科・ 電子システム 学科	土木工学科・ 環境建設 工 学 科	建 築 工 学 科	エネ ル ギ ー 工 学 科	シ ス テ ム 情 報 工 学 科	生 物 環 境 工 学 科 化学工学科 環境工 学 科	土 木 建 築 工 学 科	感 性 デ ザ イ ン 学 科	計
昭和50	51	72								123
51	80	73								153
52	93	76								169
53	91	95								186
54	85	101	71	89						346
55	72	80	100	91						343
56	64	89	75	121						349
57	61	90	78	115						344
58	75	113	86	101						375
59	54	103	76	91						324
60	63	112	78	80	32					365
61	64	110	82	64	34					354
62	99	128	60	32	62					381
63	95	112	67	51	66					391
平成元	127	143	79	75	98					522
2	137	124	120	100	111					592
3	142	144	141	110	118					655
4	125	133	139	134	138					669
5	132	140	142	136	147					697
6	104	100	108	96	104					512
7	131	129	148	117	128					653
8	142	145	143	135	132					697
9	136	128	141	139	136					680
10	131	139	138	144	131					683
11	136	128	133	129	130					656
12	118	115	132	120	123					608
13	138	132	138	130	123					661
14	102	76	104	114	70	56				522
15	60	65	60	79	45	89				398
16	87	70	64	69	35	99				424
17	88	74	83	77		91	69			482
18	78	66	68	67		72	56			407
19	78	62	59	67		95	53			414
20	73	66	44	90		77	49		31	430
21	68	50	42	49		54	43		47	353
22	70	43	22	42		60	31		49	317
23	87	56	29	24		56	39		30	321
24	62	28	1			54	40	45	31	261
25	71	31				67	47	43	45	304
26	43	62				69	33	27	41	275
27	36	34				49	46	33	17	215
計	3,749	3,837	3,051	3,078	1,963	988	506	148	291	17,611

但し、機械工学科・機械情報技術学科欄の昭和50年度から昭和59年度までの卒業者には産業機械工学科卒業者を含む

## 5 平成27年度 就職状況

地域別（本社所在地）

（大学院工学研究科）

専攻		地域											計	
		北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	東京	神奈川	群馬	その他		
博士後期課程	機械・生物化学工学													
	電子電気・情報工学													
	土木工学													
	建築工学													
	計													
博士前期課程	機械・生物化学工学								2					2
	電子電気・情報工学													
	土木工学								3	1				
	建築工学		1						1					2
	計		1						6	1				8

進学者等を除く

（工学部・感性デザイン学部）

学科	地域											計
	北海道	東北	東北地区内訳						東京	関東	その他	
			青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島				
機械情報技術学科	1	20	15	1	3		1		8	2	3	34
電気電子システム学科	1	16	11	1	3	1			14		1	32
システム情報工学科		20	14	1	2	2	1		23	3	1	47
バイオ環境工学科		28	22	5		1			8	2	4	42
土木建築工学科		21	17	3	1				11			32
感性デザイン学科	1	11	8	2				1			1	13
計	3	116	87	13	9	4	2	1	64	7	10	200

進学者等を除く



第10 学 生

産 業 別

(大学院工学研究科)

専攻		産業分類											計			
		建設業	製造業	水道業	電気・ガス・情報通信業	運輸業・郵便業	卸小売業	専門・技術サービス業	飲食サービス業	教育・学習支援業	医療・福祉	その他サービス業		国家公務	地方公務	その他
博士後期課程	機械・生物化学工学															
	電子電気・情報工学															
	土木工学															
	建築工学															
	計															
博士前期課程	機械・生物化学工学	1	2													3
	電子電気・情報工学															
	土木工学	3														3
	建築工学	1											1			2
	計	5	2										1			8

進学者等を除く

(工学部・感性デザイン学部)

学 科		産業分類											計			
		建設業	製造業	水道業	電気・ガス・情報通信業	運輸業・郵便業	卸小売業	専門・技術サービス業	飲食サービス業	教育・学習支援業	医療・福祉	その他サービス業		国家公務	地方公務	その他
機械情報技術学科	4	12		1	1	6	6							3	1	34
電気電子システム学科	12	3	1	1	2	1	8					1	3			32
システム情報工学科	1	10		13	3	4	6			2	5	1	1	1		47
バイオ環境工学科	5	8			1	12	5	1	1		3		4	2		42
土木建築工学科	17	1				1	7						5	1		32
感性デザイン学科	2	1				4			2	4						13
計	41	35	1	15	7	28	32	1	3	6	8	2	16	5		200

進学者等を除く

## 6 平成27年度 奨学生数

## 日本学生支援機構

大学院・学部	学 生 数 (A)	奨 学 生 数		計 (B)	比率% (B)／(A)
		第 一 種	第 二 種		
工学研究科	17	4	3	7	41.2
学 部	1,084	244	504	748	69.0
計	1,101	248	507	755	68.6

## 市町村・諸団体

大学院・学部	市 町 村	諸 団 体	計
工学研究科	0	0	0
学 部	10	10	20
計	10	10	20

## 平成27年度 八戸工業大学特待生・奨学生

	特待生 A	特待生 B	特待生 C	奨学生 C	特待生 D	特待生 E	計
特 待 生	－	34	89	－	4	－	127
奨 学 生	－	－	－	24	－	－	24
計	0	34	89	24	4	0	151

## 第11 学 位 授 与

工学研究科〔博士（工学）〕

(1) 課程修了によるもの

氏 名	授 与 年 月 日	番 号	学 位 論 文 名	専 攻 名
太田 勝	平12. 3.18	博第1号	平面磁路形パラメトリック変圧器に関する研究	電気電子工 学
信山克義	平12. 3.18	博第2号	高分子絶縁材料の電気的特性に及ぼす電子線照射効果に関する研究	電気電子工 学
王 海軍	平12. 3.18	博第3号	超長大橋のための鉄筋コンクリート充填鋼管構造に関する研究	土木工学
名久井 保	平12. 9.15	博第4号	凍結作用を受けた火山灰質粘性土の工学的特性に関する研究	土木工学
内山恒久	平12.12.21	博第5号	ウォータージェットによる壊食発生機構とその応用技術に関する基礎的研究	機械システム工学
高橋 晋	平13. 3.19	博第6号	$^1\text{H}$ -, $^{17}\text{O}$ -NMRによる水の液体構造解析に関する研究	機械システム工学
上野毅稔	平13. 3.19	博第7号	液晶表示素子における色彩設計と光学的評価に関する研究	電気電子工 学
小玉成人	平13. 3.19	博第8号	風力発電機の出力変動抑制に関する研究	電気電子工 学
橋 詰 豊	平13. 9.15	博第9号	地盤の振動性状と地震応答	土木工学
家口 心	平14. 3.20	博第10号	TiAl金属間化合物の恒温鍛造に関する研究	機械システム工学
工藤雅成	平14. 3.20	博第11号	LiBr-H <sub>2</sub> O-1,4-dioxane系吸収式熱機関高溶解性混合媒体の開発と基本性能評価に関する研究	機械システム工学
中野 茂	平14. 3.20	博第12号	電気流体力学ポンプのポンピング力と安定動作条件に関する研究	電気電子工 学
佐々木文夫	平14. 3.20	博第13号	港湾工用波浪予想法の開発と工事の安全管理	土木工学
王 磊	平14. 3.20	博第14号	浄水処理におけるナノろ過特性に関する研究	土木工学
徳橋一樹	平14. 3.20	博第15号	粉体系高流動コンクリートの配合設計法とその性能に関する実験的研究	土木工学
山村暁宏	平15. 3.20	博第16号	色素レーザーの高出力化に関する研究	電気電子工 学
川崎栄久	平15. 3.20	博第17号	地盤の極限状態における平衡に関する研究	土木工学

氏名	授与年月日	番号	学位論文名	専攻名
小嶋高良	平16. 3.20	博第18号	1,4-dioxane水溶液の諸物性値への水の液体構造の影響と推算法に関する研究	機械システム工学
千葉克己	平16. 3.20	博第19号	食品加工プラント用シャープポンプの基本性能とキャピテーション特性に関する研究	機械システム工学
付景順	平16. 3.20	博第20号	自動車エンジンにおける燃焼制御の応答性改善に関する研究	機械システム工学
古舘仁	平16. 3.20	博第21号	液体微粒化の促進および噴霧特性制御に関する基礎的研究	機械システム工学
鈴木拓也	平16. 3.20	博第22号	浄化処理におけるナノろ過の微量化学物質の除去特性	土木工学
山道浩仁	平16. 3.20	博第23号	もみから灰混合コンクリートの性質に関する基礎的研究	土木工学
馮慶革	平16. 9.15	博第24号	STUDY ON THE FUNDAMENTAL PROPERTIES OF RICE HUSK ASH AND ITS APPLICATION (もみがら灰の基本的性質と有効利用に関する研究)	土木工学
小林和徳	平17. 3.19	博第25号	キャピテーション・ジェットの挙動・壊食特性ならびにキャピテーション効果に関する研究	機械システム工学
中村勇夫	平17. 3.19	博第26号	アルミ薄膜表面の微細加工に関する研究	機械システム工学
岡山透	平17. 3.19	博第27号	近接場光検出システムの構築と微細構造評価技術に関する研究	電気電子工学
矢澤一樹	平17. 3.19	博第28号	表層地盤特性と地震被害記録に基づく木造住宅の地震被害に関する基礎的研究	建築工学
中村隼人	平17. 12.15	博第29号	掘立柱建物跡から復元した中世港湾都市十三湊の都市構造に関する研究	建築工学
佐藤久佳	平18. 3.18	博第30号	八戸地域における降水の安定同位体比の動態に関する研究	機械システム工学
吉田朋央	平18. 3.18	博第31号	ホタテ貝殻の機能性に関する研究	機械システム工学
佐藤裕哉	平18. 3.18	博第32号	液晶デバイスを用いた光学処理技術に関する研究	電気電子工学専攻
工藤浩	平18. 3.18	博第33号	斜張併用吊橋の構造特性および鉄筋コンクリート充填鋼管構造の適用に関する研究	土木工学
深田久	平18. 3.18	博第34号	軟弱地盤上の構造物に対する地盤と基礎の強化に関する研究	土木工学
安部信行	平18. 3.18	博第35号	視覚障害者の歩行環境整備手法に関する研究	建築工学
島長義	平19. 3.20	博第36号	環境水中トリチウム濃度測定のための電解濃縮前処理に関する研究	機械システム工学
佐藤正視	平19. 3.20	博第37号	岩木川河口地形変動特性に関する研究	土木工学

第11 学位授与

氏 名	授 与 年 月 日	番 号	学 位 論 文 名	専 攻 名
大倉 広 宙	平20. 3.20	博第38号	無電解めっきで創製した銅系構造体(プレート型) 触媒に関する研究	機械システム工学
鎌田 佳 之	平20. 3.20	博第39号	マイクロ構造化触媒反応器による水素製造に関する研究	機械システム工学
趙 文 輝	平20. 3.20	博第40号	リモートセンシングによる産廃不法投棄現場の環境解析に関する研究	電気電子工学
李 錦	平20. 3.20	博第41号	多層光学薄膜の開発と太陽電池への応用に関する研究	電気電子工学
鈴木 拓 也	平20. 3.20	博第42号	複合構造を活用した新橋梁に関する研究	土木工学
佐々木 崇 徳	平21. 3.19	博第43号	衛星リモートセンシングによる未発見産業廃棄物不法投棄現場の早期発見法の開発に関する研究	電気電子工学
山村 有 希	平21. 3.19	博第44号	ホール推進機のシース構造と性能評価に関する研究	電気電子工学
権代 由 範	平21. 3.19	博第45号	塩化物環境下におけるコンクリートのスケーリング抵抗性と その評価手法に関する実験的研究	建築工学
村山 明	平21. 3.19	博第46号	木造建物の耐震性能の力学的評価に関する研究	建築工学
小笠原 慎	平23. 3.19	博第47号	超高速回転体の微粒化特性に関する研究	機械システム工学
張 揚	平23. 3.19	博第48号	自動車エンジンのロバスト制御に関する研究	機械システム工学
吉田 雅 昭	平23. 3.19	博第49号	Mathieu方程式に基づく平面磁路形パラメトリック変圧器の動作特性と発振安定性に関する研究	電気電子工学
鳥山 香 織	平23. 3.19	博第50号	積雪地域における公営住宅の共用空間に関する研究 -生活拠点としての集会施設を中心として-	建築工学
阿里 甫 江	平25. 3.19	博第51号	鉄筋コンクリート充填鋼管構造の力学的特性に関する解析的および実験的研究	土木工学
畑野 智 信	平28. 3.18	博第52号	柿渋ゲルおよび微生物による水溶液からのクロム除去と回収システムに関する研究	機械・生物化学工学専攻
虻川 高 宏	平28. 3.18	博第53号	橋梁の津波対策に関する研究	社会基盤工学専攻

## (2) 論文提出によるもの

氏 名	授 与 年 月 日	番 号	学 位 論 文 名
神藤 健一	平12.12.21	第 1 号	山岳工事における地盤評価方法とその施工への適用
新井 齊	平14. 3.20	第 2 号	廃棄物最終処分場におけるジオメンブレン遮水構造の品質管理手法に関する研究
萱場 智雄	平15. 6.30	第 3 号	ダイヤモンド薄膜形成過程における核発生の分子動力学解析
田中正美	平15.12.22	第 4 号	住宅地環境関連制度による新規開発戸建住宅地の接道部緑化効果に関する研究
北沢 淳史	平17. 6.23	第 5 号	長大山岳トンネルの施工技術の高度化に関する研究
木内 勝司	平19. 3.20	第 6 号	自然再生に配慮した河道形成技術の研究
服部 修一	平20. 3.20	第 7 号	鉱山地域を通過するトンネルにおける鉱化ずりの特性と分別判定方法に関する研究
庭瀬 一仁	平23.12.16	第 8 号	低レベル放射性廃棄物処分施設におけるセメント系材料の設計と施工に関する基礎的研究



## 第12 委員会委員等一覧

### 1 学内委員会 (\*印は併任教員)

委員の所属は、各委員会規定に従った。

委員会名	委員長 副委員長	委 員											
		法人事務局 副学長	機械情報 技術学科	電気電子 システム学科	システム情報 工学学科	バイオ環境 工学学科	土木建築 工学学科	感性デザイン 学 科	基礎教育 研究センター	社会連携学術推進室・地域産業総合研究所・事務部・ 学務部・入試部・図書館・工作技術センター			
入学試験委員会	長谷川 明 野田 英彦	白石 司 橋本 都 福士 憲一	大黒 正敏	関 秀廣	武山 泰	小比類卷孝幸	竹内 貴弘	小嶋 高良	鈴木 寛	松坂 博行・坂本 禎智			竹本 成喜
入試企画委員会	野田 英彦	橋本 都 福士 憲一	浅川 拓克 太田 勝	神原 利彦 根城 安伯	清水 能理 武山 泰 山口 広行	鮎川 恵理 小比類卷孝幸 西村 順子	橋本 典久 竹内 貴弘 滝田 貢	宮腰 直幸 小嶋 高良 小藤 一樹	川本 清 鈴木 寛 佐野 公朗	宮腰 直幸・信山 克義 石山 俊彦・四竈 樹男・*太田 勝 松坂 博行・坂本 禎智・野田 英彦			竹本 成喜 得丸 雅夫 蛭名 昭人
教育研究予算委員会	長谷川 明	橋本 都 福士 憲一	大黒 正敏	関 秀廣	武山 泰	小比類卷孝幸	竹内 貴弘	小嶋 高良	鈴木 寛	石山 俊彦・四竈 樹男・*太田 勝 松坂 博行・坂本 禎智・野田 英彦			竹本 成喜 得丸 雅夫 蛭名 昭人
教務委員会	坂本 禎智		佐藤 学	佐々木 崇徳	伊藤 智也	藤田 敏明	鈴木 拓也	高橋 史朗	大室 康平	阿波 稔			奥 正克
学生委員会	坂本 禎智		藤澤 隆介	松浦 勉	斎藤 明宏	小林 正樹	迫井 裕樹	佐藤 手織	齊藤 明宏	小玉 成人			笹田 公烈
就職委員会	坂本 禎智		工藤 祐嗣	花田 一磨	小坂谷 壽一	鶴田 猛彦	金子 賢治	岩崎 真梨子	笹原 徹	小玉 成人			栗橋 秀行
図書委員会	鈴木 寛		武藤 一夫	柴田 幸司	山本 忠	岩村 満	佐々木 幹夫	水沼 和夫	今出 敏彦				青井 信達
情報ネットワーク委員会	鈴木 寛		武藤 一夫	佐々木 崇徳	高橋 良英	小林 正樹	佐々木 幹夫	横溝 賢	田中 義幸				青井 信達
工作技術センター運営委員会	大黒 正敏		信山 克義	藤岡 与周	高橋 晋	滝田 貢	安部 信行						三上 晃
環境保全委員会	小比類卷孝幸	木村 孝太	齋藤 正博	松浦 勉	栗原 伸夫	若生 豊	熊谷 浩二	高橋 康造		四竈 樹男・松坂 博行・坂本 禎智			
遺伝子組換え実験等安全委員会	長谷川 明	バイオ環境工学科	小比類卷孝幸	藤田 敏明	鮎川 恵理	感性デザイン学科	佐藤 手織	学務部長：坂本 禎智	事務部次長：松坂 博行				
自己点検・評価運営委員会	長谷川 明	白石 司 橋本 都 福士 憲一	大黒 正敏	関 秀廣	武山 泰	小比類卷孝幸	竹内 貴弘	小嶋 高良	鈴木 寛	石山 俊彦・四竈 樹男・松坂 博行 坂本 禎智・野田 英彦			得丸 雅夫
自己点検・評価専門委員会	石山 俊彦	大野 和弘	佐藤 学	石山 俊彦	藤岡 与周	小林 正樹	金子 賢治	川守田 礼子	渡辺 武秀	松坂 博行			得丸 雅夫
発明評価委員会	長谷川 明	白石 司 橋本 都 福士 憲一	大黒 正敏	関 秀廣	武山 泰	小比類卷孝幸	竹内 貴弘	小嶋 高良	鈴木 寛	石山 俊彦・坂本 禎智・四竈 樹男 松坂 博行			得丸 雅夫
大学入試センター 試験実施委員会	長谷川 明 野田 英彦	白石 司 橋本 都 福士 憲一	大黒 正敏	関 秀廣	武山 泰	小比類卷孝幸	竹内 貴弘	小嶋 高良	鈴木 寛	松坂 博行・坂本 禎智			竹本 成喜
大学院学務委員会	坂本 禎智	機械・生物化学工学専攻：鶴田 猛彦，電子電気・情報工学専攻：高橋 良英，社会基盤工学専攻：月永 洋一										阿波 稔・小玉 成人	奥 正克
大学院教育 研究予算委員会	長谷川 明	副学長：橋本 都，副学長：福士 憲一，学務部長：坂本 禎智，機械・生物化学工学専攻主任：大黒 正敏 電子電気・情報工学専攻主任：関 秀廣，社会基盤工学専攻主任：竹内 貴弘，事務部次長：松坂 博行 機械・生物化学工学専攻：鶴田 猛彦，電子電気・情報工学専攻：高橋 良英，社会基盤工学専攻：月永 洋一，教務課長：奥 正克											蛭名 昭人
産学官連携推進委員会	石山 俊彦	四竈 樹男，藤岡 与周，小林 正樹，安部 信行，畑中 広明，畑中 ひとみ											

### 2 担 任 (\*印は副担任)

	機械情報技術学科	電気電子 システム学科	システム情報 工学学科	バイオ環境 工学学科	土木建築工学 学科	感性デザイン学 科
第1学年	藤澤 隆介 *浅川 拓克	柴田 幸司 *渡辺 武秀	鳴脇 秀隆 *笹原 徹	藤田 敏明 *西村 順子	金子 賢治 *熊谷 浩二	佐藤 手織 *安部 信行
第2学年	武藤 一夫 *佐藤 学	神原 利彦 *川本 清	山口 広行 *山本 忠	高橋 晋 *大室 康平	滝田 貢 *阿波 稔	小藤 一樹 *川守田 礼子
第3学年	太田 勝 *大黒 正敏	信山 克義 *石山 俊彦	藤岡 与周 *栗原 伸夫 *小坂谷 壽一	鮎川 恵理 *田中 義幸	迫井 裕樹 *橋本 典久	宮腰 直幸 *横溝 賢
第4学年	工藤 祐嗣 *鈴木 寛	花田 一磨 *松浦 勉	小玉 成人 *斎藤 明宏	鶴田 猛彦 *小比類卷孝幸	鈴木 拓也 *佐野 公朗	高橋 史朗 *岩崎 真梨子

### 3 学友会担当

機械情報 技術学科	電気電子 システム学科	システム情報 工学学科	バイオ環境 工学学科
藤澤 隆介	川本 清	斎藤 明宏	小林 正樹
土木建築 工学	感性デザイン 学 科	管 財 課	学 務 部
迫井 裕樹	安部 信行	栗橋 知士子	笹田 公烈



## 4 学外委員会等

平成27年度

職名	氏名	委員等名	依頼先
学長	藤田 成隆	弘前大学北日本新エネルギー研究所戦略会議委員	国立大学法人弘前大学 北日本新エネルギー研究所
		青森県エネルギー産業振興戦略策定委員会	青森県
		青森県原子力政策懇話会委員	青森県
		イノベーション・ネットワークあおもり「産学官金ラウンドテーブル」メンバー	青森県
		青森県県南・下北地域産業活性化協議会委員	青森県商工労働部
		青森県三八地域活性化協議会ものづくり活性化推進会議委員	青森県三八地域県民局
		青森県三八地域活性化協議会環境・エネルギー関連産業振興会議委員	青森県三八地域県民局
		青森県三八地域活性化協議会地域づくり推進会議委員	青森県三八地域県民局
		青森県ITER計画推進会議理事	青森県ITER計画推進会議
		青森県留学生交流推進協議会構成員・副会長	青森県留学生交流推進協議会
		青森県航空宇宙産業研究会会長	青森県航空宇宙産業研究会
		あおもり農工ベストミックス構想推進協議会役員	あおもり農工ベストミックス構想推進協議会
		八戸市総合計画策定委員会委員	八戸市総合政策部
		八戸市企業誘致促進協議会委員	八戸市企業誘致促進協議会
		『マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ(シニア)』顧問	八戸市水産科学館 マリエント
		八戸商工会議所参与	八戸商工会議所
		「アートのまち・はちのへ」を推進する会理事	「アートのまち・はちのへ」を推進する会
		とうほく自動車産業集積連携会議幹事	とうほく自動車産業集積連携会議
		三陸ジオパーク推進協議会委員	三陸ジオパーク推進協議会
		医学研究倫理審査委員会および治験審査委員会	(独)労働者健康福祉機構 青森労災病院
(地独)青森県産業技術センター八戸地域研究所協議会顧問	(地独)青森県産業技術センター八戸地域研究所協議会		
(公財)21あおもり産業総合支援センター評議員	(公財)21あおもり産業総合支援センター		

第12 委員会委員等一覧

職名	氏名	委員等名	依頼先
		(公財)八戸地域高度技術振興センター評議員	(公財)八戸地域高度技術振興センター
		(公財)日本高等教育評価機構評議員	(公財)日本高等教育評価機構
		(公財)平成27年度エネルギー教育推進事業「かべ新聞コンテスト二次審査委員会」委員長	(公財)日本科学技術振興財団
		(公財)吉原育英会理事	(公財)吉原育英会
		(公財)八戸市総合健診センター評議員選定委員会委員	(公財)八戸市総合健診センター
		(公財)みちのく・ふるさと貢献基金理事	(公財)みちのく・ふるさと貢献基金
		(一財)青森県工業技術教育振興会 理事長	(一社)青森県工業技術教育振興会
		教育・研究技術委員会1号委員	(一社)電気学会
		(一社)青森県情報サービス産業協会理事	(一社)青森県情報サービス産業協会
		特定非営利活動法人循環型社会創造ネットワーク顧問	特定非営利活動法人循環型社会創造ネットワーク
		八戸ガス(株)取締役 品質保証に係る顧問会	八戸ガス(株) 日本原燃(株)
副学長	橋本都	中央教育審議会専門委員(初等中等教育分科会)	文部科学省初等中等教育局
		国立教育政策研究所評議員	国立教育政策研究所
		(独)教員研修センター監事	(独)教員研修センター
		(一財)棟方志功記念館理事	(一財)棟方志功記念館
		(一社)原子力安全推進協議会評議員	(一社)原子力安全推進協会
		消費者教育実践モデル運営検討委員会委員	特定非営利活動法人青森県消費者協会
		青森テレビ放送番組審議会副委員長	(株)青森テレビ
教授	野田英彦	青森県地球温暖化対策推進協議会委員	青森県環境生活部
		第10次青森県職業能力開発計画検討委員会委員	青森県商工労働部
		平成27年度スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会委員(八戸北高校)	青森県教育委員会
		田子町環境不法投棄原状回復調査協議会委員	田子町
教授	齋藤正博	八戸市卓越技能者選考会委員	八戸市
教授	大黒正敏	学校評議員	青森県立八戸工業高等学校

第12 委員会委員等一覧

職名	氏名	委員等名	依頼先
教授	佐藤 学	「複合極限環境評価法による先進材料開発」FEEMA計画課題選定委員	国立大学法人 室蘭工業大学
		青森県原子力人材育成・研究開発活動計画検討委員会委員	青 森 県
		PAモニタリング委員会委員	(公財)日本分析センター
		(公社)日本金属学会講演大会委員	(公社)日本金属学会
		(一社)日本溶接協会東北地区溶接技術検定委員会委員・評価員	(一社)日本溶接協会 東北地区溶接技術 検 定 委 員 会
東北放射線科学センター理事	東 北 放 射 線 科 学 セ ン タ ー		
准教授	武藤 一夫	自動車技術会委員会委員	(公財)自動車技術会 技 術 会 議
准教授	工藤 祐嗣	粉じん対策指導委員	青 森 労 働 局
		技術者教育プログラム認定審査のための審査員	(一社)日本技術者教育 認 定 機 構
教授	根城 安伯	2015年度応用物理教育分科会幹事長	(公社)応用物理学会
教授	関 秀 廣	平成27年度スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会委員(八戸北高校)	青 森 県 教 育 委 員 会
		八戸市新商品特定随意契約制度事業者認定審査会委員	八 戸 市
		八戸市復興計画推進市民委員会委員	八 戸 市
教授	石山 俊彦	イノベーションネットワークあおり委員	青 森 県
		久慈市スマートグリッド通信インターフェイス標準化検討委員会委員	久 慈 市
		「家庭等におけるエネルギー高度利用化F技術動向調査専門委員会」委員	(一社)電 気 学 会
		(一社)電気情報通信学会東北支部委員	(一社)電気情報通信学会
		平成27年度八戸市産学官共同研究開発支援事業審査委員会委員	(株)八戸インテリジェント プ ラ ザ
准教授	柴田 幸司	地域振興用周波数の有効利用のための技術的条件に関する調査検討会副座長	東 北 総 合 通 信 局

第12 委員会委員等一覧

職名	氏名	委員等名	依頼先
准教授	信山 克義	青森県環境影響評価審査会委員	青 森 県
		青森県原子力施設環境放射線監視評価会議委員	青 森 県
		青森県環境影響評価審査会委員	青 森 県
講 師	佐々木崇徳	高度技術利用研究会委員	(公財) 八戸地域高度技術振興センター
講 師	花田 一磨	青森・岩手県境不法投棄事業案に係る風評被害認定委員会委員	青 森 県 環 境 生 活 部
		青森県型LED道路照明推進事業に係る検討委員	青 森 県 県 土 整 備 部
		地産地消再生可能エネルギー面的利用等推進事業に係る検討委員会委員	特定非営利活動法人グリーンシティ
教 授	武 山 泰	青森ブロック総合評価委員会	国土交通省東北地方整備局
		東北地方整備局道路ドクター	国土交通省東北地方整備局
		青森県環境影響評価審査会委員	青 森 県
		青森県産業廃棄物処理施設の設置許可に係る生活環境保全等に関する専門家	青 森 県
		青森県県土整備部建設工事総合評価競争入札審査員	青 森 県
		青森県公共事業再評価等審議委員会	青 森 県
		青森県公共事業評価システム検討委員会	青 森 県
		青森県土地収用事業認定審議会委員	青 森 県
		青森県地球温暖化対策推進協議会委員	青 森 県 環 境 生 活 部
		八戸市都市計画マスタープラン等策定委員会委員	八 戸 市
		八戸市行政改革委員会委員	八 戸 市
八戸市都市計画審議会委員	八 戸 市		
階上地域公共交通会議委員	階 上 町		
田子町総合公共交通協議会委員	田 子 町		
教 授	藤 岡 与 周	三八地域IT企業・ものづくり企業ネットワーク研究会会長	青森県三八地域県民局
		学校評議員	青森県立八戸高等学校
		計測自動制御学会東北支部顧問	計測自動制御学会東北支部
准教授	小玉 成人	青森県環境影響評価審査会	青 森 県
		平成27年度多様な学習を支援する高等学校の推進事業運営指導委員会委員	青 森 県 教 育 委 員 会
		野辺地町再生可能エネルギー推進協議会委員	野 辺 地 町
教 授	若 生 豊	学校評議員	青森県立八戸水産高等学校
		八戸市産業廃棄物減量等推進審議会委員	八 戸 市

第12 委員会委員等一覧

職名	氏名	委員等名	依頼先
教授	小比類巻孝幸	公害防止に関する技術アドバイザー 三沢市行政改革推進委員会委員	八戸市 三沢市
准教授	西村 順子	八戸市環境審議会委員	八戸市
准教授	高橋 晋	青森県環境影響評価審査会委員	青森県
准教授	鮎川 恵理	希少野生動植物種保存推進員 青森県環境影響評価審査会委員 青森県環境審議会委員	環境省 青森県 青森県
教授	竹内 貴弘	東北地方整備局事業評価監視委員会 河川水辺の国勢調査アドバイザー 馬淵川水系河川整備学識懇談会委員 青森県農林水産部建設工事総合評価競争入札員(水産土木工事) 青森県県土整備部建設工事総合評価競争入札審査員 八戸市国民保護協議会委員 八戸市防災会議委員 八戸圏域水道企業団入札監視員会委員 特別調査役(非常勤)	国土交通省東北地方整備局 国土交通省東北地方整備局 国土交通省東北地方整備局 青森県 青森県 八戸市 八戸市防災会議 八戸圏域水道企業団 (一社)寒地港湾技術 研究センター
教授	佐々木幹夫	東北地方整備局工事成績評定審査委員会委員 岩木川河川整備委員会委員 高瀬川河川整備委員会委員 馬淵川水系河川整備学識懇談会委員 河川水辺の国勢調査アドバイザー 津軽ダム水源地域ビジョン策定委員会委員 東北地方整備局道路ドクター 青森ブロック総合評価委員会 青森県海岸漂流物対策推進協議会委員 青森県海岸津波対策検討委員会座長 青森県農林水産部建設工事総合評価競争入札員(水産土木工事) 青森県地震・津波被害想定検討委員会委員 青森空港BCP対策協議会委員 岩手県政策評価委員会 岩手県立政策評価委員会委員 河川・海岸環境機能等検討委員会委員 技術顧問 八戸港の海辺づくりを考える検討会委員	国土交通省東北地方整備局 国土交通省東北地方整備局 国土交通省東北地方整備局 国土交通省東北地方整備局 国土交通省東北地方整備局 国土交通省東北地方整備局 国土交通省東北地方整備局 青森県 青森県 青森県 青森県県土整備部 岩手県 岩手県 (公財)リバープロント セ ン タ ー (一財)みなと総合 研 究 財 団

第12 委員会委員等一覧

職名	氏名	委員等名	依頼先
教授	長谷川 明	東北地方整備局道路ドクター	国土交通省東北地方整備局
		青森県県土整備部建設工事総合評価競争入札審査員	青 森 県
		八戸市中心市街地にぎわい形成事業検討委員会	八 戸 市
		技術顧問	(公財)青森県建設技術センター
		非常勤研究員	(一財)建設工学研究振興会
教授	月舘 敏栄	青森県建築審査会委員	青 森 県
		青森県景観形成審議会委員	青 森 県
		青森県文化財保護審議会委員	青森県教育委員会
		十和田市新庁舎建設基本計画及び基本設計業務プロポーザル選定委員会	十 和 田 市
		旧釜石鉱山事務所活用検討委員会委員	釜石市教育委員会
		陸前高田市文化財等保存活用計画策定委員会委員	陸前高田市教育委員会
教授	橋本 典久	青森県県土整備部建設工事総合評価競争入札審査員	青 森 県
		八戸市建築紛争調停委員会委員	八 戸 市
		公害防止に関する技術アドバイザー	八 戸 市
教授	福士 憲一	青森県地震・津波被害想定検討委員会委員	青 森 県
		八戸市櫛引地区産業廃棄物に係る生活環境への影響調整等アドバイザー	青 森 県
		学校評議員	青森県立十和田工業高等学校
		八戸市公共下水道基本構想検討委員会委員	八 戸 市
		八戸圏域水道企業団経営審議会委員	八戸圏域水道企業団
		青森市横内川水道水源保護審議会委員	青 森 市
		青森市浪岡不燃物埋立処理場の適正廃止に向けた意見聴取会議委員	青 森 市
		横浜町特定環境保全公共下水道事業再開発評価等審議会委員会委員	横 浜 町
		北海道新幹線、トンネル盛土滲出水の影響検討勉強会委員会委員	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構
		技術顧問	(公財)青森県建設技術センター
		浄水技術支援委員会委員	(公財)水道技術研究会
自然由来重金属等堀削土対策検討委員会に関する委員	(一社)北海道環境保全技術協会		

第12 委員会委員等一覧

職名	氏名	委員等名	依頼先
教授	月永 洋一	青森県リサイクル製品認定審査会委員	青 森 県
		青森県県土整備部建設工事総合評価競争入札審査員	青 森 県
		公害防止に関する技術アドバイザー	八 戸 市
		八戸市建築審査会会長	八 戸 市
		八戸市建設部指定管理者選定委員会委員	八 戸 市
		青森県生コンクリート工業組合技術研修センター運営委員会委員	青森県生コンクリート工業組合
教授	滝田 貢	青森県入札監視委員会委員	青 森 県
		青森県県土整備部建設工事総合評価競争入札審査員	青 森 県
		(仮称)八戸市総合保険センター建設事業設計者選定プロポーザル審査委員会委員	八 戸 市
		青森県木造建築物耐震診断判定委員会委員	(一社) 青森県建築士事務所協会
		青森県建築物耐震診断・改修判定委員会委員	(一社) 青森県建築士事務所協会
		構造計算適合性判定専門委員	(株)建築住宅センター
教授	阿波 稔	東北地方整備局道路ドクター	国土交通省東北地方整備局
		青森県原子力施設環境放射線監視評価会議委員	青 森 県
		青森県原子力政策懇話会委員	青 森 県
		青森県農林水産部建設工事総合評価競争入札員(水産土木工事)	青 森 県
		青森県公共事業再評価等審議委員会	青 森 県
		青森県公共事業評価システム検討委員会	青 森 県
		むつ市旧大湊水源地水道施設修理専門委員会副委員長	む つ 市
		青森県生コンクリート品質管理監査会議委員	青森県生コンクリート工業組合
		コンクリート委員会/示方書改訂小委員会/維系管理編集部委員	(公社) 土 木 学 会
青森地域技術懇談会委員	東日本高速道路(株)		

第12 委員会委員等一覧

職名	氏名	委員等名	依頼先
教授	金子 賢治	東北地方整備局道路ドクター	国土交通省東北地方整備局
		青森県国土利用計画審議会委員	青 森 県
		青森県地震・津波被害想定検討委員会委員	青 森 県
		非常勤研究員	(一社)建設工学研究振興会
准教授	鈴木 拓也	青森県環境審議会委員	青 森 県
		第五次青森県環境計画策定検討有識者会議委員	青 森 県
		県境不法投棄現場原状回復対策推進協議会委員	青 森 県
		青森県総合計画審議会委員	青森県企画政策部
教授	坂本 禎智	八戸市美術館運営協議会委員	八 戸 市
		八戸市中小企業新事業活動審議会委員	八 戸 市
		学校評議員	八戸工業高等専門学校
教授	田村 充治	評議員	(公財)吉原育英会
教授	佐藤 手織	全国私立大学教職課程研究連絡協議会 2015年度教職課程カリキュラム部委員	全国私立大学教職課程 研究連絡協議会
准教授	小藤 一樹	(仮称)八戸市総合保険センター建設事業 設計者選定プロポーザル審査委員会委員	八 戸 市
		八戸市開発審査委員	八 戸 市
准教授	川守田礼子	「八戸ポータルミュージアムアドバイザ リーポート」委員	八 戸 市
准教授	宮腰 直幸	八戸景観審議会委員	八 戸 市
		放送番組審議会委員	(株)八戸テレビ放送
准教授	安部 信行	八戸市旅館等建築審議会委員	八 戸 市
講師	岩崎真梨子	放送番組審議会委員	(株)八戸テレビ放送
教授	熊谷 浩二	東北地方整備局道路ドクター	国土交通省東北地方整備局
		青森県環境審議会会長	青 森 県
		青森県循環型社会形成推進委員会委員長	青 森 県
		青森県廃棄物処理施設の設置許可に係る 生活環境保全等に関する専門家	青 森 県
		平成27年度あおもり元気企業チャレンジ 助成事業審査委員会委員	(公財)21あおもり産業 総合支援センター
		技術顧問	(公財)青森県建設技術 セ ン タ ー



第12 委員会委員等一覧

職名	氏名	委員等名	依頼先
教授	熊谷 浩二	非常勤研究員	(一財)建設工学研究振興会
		(公社)地盤工学会東北支部評議員	(公社)地盤工学会東北支部
		東北地域地盤災害研究委員会委員	(公社)地盤工学会東北支部
		(公社)土木学会東北支部商議員	(公社)土木学会東北支部
		青森地域技術懇談会座長	東日本高速道路(株)
教授	渡辺 武秀	NHK文化センター講師	NHK文化センター 八戸支社
准教授	川本 清	平成27年度スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会委員(三本木高校)	青森県教育委員会
		「青少年のための科学の祭典2015」八戸大会実行委員	八戸市教育委員会
教授	四竈 樹男	核融合エネルギーフォーラム専門委員	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
		燃料・材料技術専門委員会委員	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 高速炉研究開発部門 次世代高速炉サイクル 研究開発センター
		京都大学エネルギー理工学研究所 共同利用運営委員会委員	京都大学エネルギー 理工学研究所
		文部科学省先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業「複合極限環境評価法における先進材料開発」FEEMA計画運営委員	国立大学室蘭工業大学 環境・エネルギーシステム 材料研究機構
		日本学術会議委員	日本学術会議
		高度技術利用研究会委員	(公財)八戸地域高度 技術振興センター
		技術開発審査委員会委員	(公財)八戸地域高度 技術振興センター
特任教授	太田口和久	平成27年度環境研究企画委員会(安全が確保される社会部会)	(一社)国際環境研究協会
参事	工藤 利治	(公社)八戸観光コンベンション協会理事・監事	(公社)八戸観光 コンベンション協会
主事	栗橋 秀行	青森労働局新卒者等卒業・採用応援本部本部長	青森県労働局職業安定部長
工師	玉川 邦夫	技能検定委員	青森県職業能力開発協会
工師補	黒滝 稔	「機械保全機能検定運営委員会」委員	(公社)日本プラント メンテナンス協会

## 第13 研究業績

### 1 科学研究費交付一覧

平成24年度科学研究費（基金分）継続  
基盤研究（C）一般（間接経費含む）

教授 阿波 稔	表層品質と環境要因に着目した寒冷地コンクリート構造物の予防維持管理技術	1,170 千円
------------	-------------------------------------	----------

平成25年度科学研究費（基金分）継続  
基盤研究（C）一般（間接経費含む）

准教授 高橋 史朗	積極的なコミュニケーション力を養成するための英作文教材の開発研究	520 千円
教授 鈴木 寛	移動電界を利用した一方向分散CNT/エポキシ樹脂薄板の試作および電気的特性評価	780 千円

平成26年度科学研究費（基金分）継続  
基盤研究（C）一般（間接経費含む）

教授 小坂谷 壽一	知的エージェント方式に因る伝統音楽（津軽三味線）保存用自動採譜に関する研究	1,820 千円
--------------	---------------------------------------	----------

若手研究（B）一般（間接経費含む）

助教 斎藤 明宏	高等英語教育における学習者の動機づけ、投資、抵抗	650 千円
-------------	--------------------------	--------

平成26年度科学研究費分担（補助金分）  
基盤研究（B）補助金 分担

教授 月舘 敏栄	自然災害からの復興における持続可能な地域再生のための計画手法の研究	104 千円
-------------	-----------------------------------	--------

平成26年度科学研究費分担（補助金分）  
基盤研究（A）分担（間接経費含む）

教授 月舘 敏栄	連携と持続に着目した東日本大震災の農村復興に関する総合的農村計画研究	650 千円
教授 橋本 典久	対保護者トラブルの予防と解決のための研修プログラムの構築と効果に関する学際的研究	130 千円

基盤研究（B）分担（間接経費含む）

教授 阿波 稔	復興道路コンクリート構造物の品質確保マネジメントシステムの実装と展開	910 千円
教授 月舘 敏栄	自然災害からの復興における持続可能な地域再生のための計画手法の研究	156 千円
教授 阿波 稔	データベースを活用したコンクリート構造物のひび割れ抑制システムの高度化と展開	130 千円

## 挑戦的萌芽研究 分担（間接経費を含む）

准教授 小 藤 一 樹	外来患者のフローシミュレーションに関する研究	1,300	千円
教 授 月 舘 敏 栄	三陸漁村集落の津波被災状況の分析と復興計画および復興過程に関する参入的研究	97.5	千円

## 平成27年度科学研究費（基金分）

## 基盤研究（C）一般（間接経費含む）

教 授 松 浦 勉	戦後日本の教育学における〈戦争責任論〉の位置の究明	1,300	千円
准教授 武 藤 一 夫	LiNbO3材を用いた高性能な音響コム型アコースティックエミッションセンサの開発	2,600	千円
教 授 竹 内 貴 弘	気候変動による氷象の多様化に対応した新しい氷海構造物の設計法と維持管理手法の開発	780	千円
教 授 高 橋 良 英	遺伝的アルゴリズムにおける集団の多様性の測定と淘汰戦略への応用手法の研究	1,040	千円

## 挑戦的萌芽研究（間接経費含む）

教 授 橋 本 典 久	子どもの声の受忍限度に対する評価基準の構築に関する調査研究	2,210	千円
准教授 安 部 信 行	五感による視覚障害者のための歩行訓練の手法に関する研究	1,300	千円

## 平成27年度科学研究費分担（補助金分）

## 基盤研究（A）一般（間接経費含む）

教 授 月 舘 敏 栄	連携と持続に着目した東日本大震災の農村復興に関する総合的農村計画研究	650	千円
教 授 橋 本 典 久	対保護者トラブルの予防と解決のための研修プログラムの構築と効果に関する学際的研究	130	千円

## 基盤研究（B）一般（間接経費含む）

教 授 四 竈 樹 男	低放射化フェライト工ステンレス鋼異材溶接継手の中性子照射特性と不均質変形の解明	130	千円
教 授 月 舘 敏 栄	自然災害からの復興における持続可能な地域再生のための計画手法の研究	260	千円
教 授 阿 波 稔	復興道路コンクリート構造物の品質確保マネジメントシステムの実相と展開	910	千円

## 平成27年度科学研究費分担（基金分）

## 挑戦的萌芽研究（間接経費含む）

准教授 小 藤 一 樹	外来患者のフローシミュレーションに関する研究	520	千円
准教授 高 橋 晋	薬剤有機分子の決勝太系完全制御技術	364	千円

第13 研究業績

平成28年度科学研究費（補助金分）  
基盤研究（B）（間接経費含む）

学長（教授） 長谷川 明	橋梁長寿命化のためのワイヤ移動式汎用点検ロボットの開発	8,450 千円
-----------------	-----------------------------	----------

基盤研究（C）（間接経費含む）

教授 金子 賢 治	マルチスケール・モデリングに基づくファイバー金剛流状態の郷土変形特性の解明	2,470 千円
教授 月 永 洋 一	コンクリート表層部に形成される脆弱層の正常に及ぼすブリーディングの影響	780 千円

若手研究（B）（間接経費含む）

准教授 迫 井 裕 樹	マルチスケール・モデリングに基づくファイバー金剛流状態の郷土変形特性の解明	1,040 千円
----------------	---------------------------------------	----------

2 文部科学省大学改革推進等補助金

プログラム名称（事業名）	事業期間
大学教育・学生支援推進事業【テーマB】学生支援推進プログラム （地方私立大学に必須のアクティブかつ多角的な学生支援の実現）	平成21年度 ～ 平成23年度
大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業 （創造的復興のための技術開発・支援と地域連携教育の推進）	平成23年度 ～ 平成27年度
大学教育再生加速プログラムテーマⅡ（学修成果の可視化）	平成26年度 ～ 平成30年度

## 3 文部科学省私立大学研究装置・研究設備等整備費補助金交付一覧

年度	装置・設備名	区分	使用責任者	購入金額
平成11年	機能性材料表層の構造・状態解析システム	研究装置	助教授 福原 長寿	50,400 千円
	環境ホルモン分析装置	研究装置	教授 福士 憲一	49,899 千円
	高密度地震波収録装置	特別設備	教授 滝田 貢	31,838 千円
平成12年	強誘電体薄膜評価装置	研究装置	教授 藤田 成隆	47,250 千円
	寒冷地施設の機能向上に関する研究装置	研究装置	助教授 竹内 貴弘	46,725 千円
	寒冷地コンクリート材料の高耐久化に関する研究装置	研究装置	講師 阿波 稔	47,145 千円
	住宅関係研究資料一式	特定図書	教授 月舘 敏栄	1,994 千円
平成13年	薄膜表面に微細加工したマイクログループの微細構造解析システム	研究装置	教授 佐藤 松雄	48,317 千円
	寒冷地域でのバイオマス利用コージェネレーション研究装置	研究装置	教授 岡村 隆成	40,916 千円
平成14年	X線を利用した異常微小変形感知装置—プラント診断装置への応用—	研究装置	教授 齋藤 正博	49,073 千円
	地盤の汚染対策に関する研究装置	研究装置	教授 熊谷 浩二	48,247 千円
	次期キャンパス情報ネットワークシステム	情報装置	システム情報工学科長 苫米地宣裕	34,836 千円
	次期キャンパス情報ネットワークシステム	情報設備	システム情報工学科長 苫米地宣裕	38,868 千円
平成15年	衛星情報受信処理解析システム	ハイテク装置	教授 藤田 成隆	48,405 千円
	産業廃棄物リモートセンシングシステム	学内LAN装置(無線)	教授 藤田 成隆	12,611 千円
	産業廃棄物リモートセンシングシステム	ハイテク設備	教授 藤田 成隆	12,749 千円

第13 研究業績

年 度	装 置 ・ 設 備 名	区 分	使 用 責 任 者	購 入 金 額
平成15年	環境水元素分析装置	ハイテク設備	教 授 村中 健	39,900 千円
	廃棄物を再資源化した建設材料の品質および環境安全性の評価試験設備	ハイテク設備	教 授 庄谷 征美	37,117 千円
平成16年	I Tルームの改装による統合機械 I T教育装置	情報施設	学科長 齋藤 正博	38,571 千円
	C A D ・ プレゼンテーションシステム	情報施設	学科長 熊谷 浩二	51,882 千円
平成17年	L A Nおよびネットワークコンピュータとマルチメディアによる双方向型教育装置	情報施設	学科長 坂本 禎智	16,651 千円
	CAD/CGとマルチメディアによる感性デザイン教育装置	情報施設	学科長 坂本 禎智	30,480 千円
	CAD/CGとマルチメディアによる感性デザイン教育装置	情報処理関係設備	学科長 坂本 禎智	17,365 千円
	高性能デジタル画像入力解析システム付き振動試験装置	研究装置	講 師 金子 賢治	49,507 千円
平成18年	寒冷地建設材料の複合環境劣化試験装置	研究装置	教 授 月永 洋一	49,575 千円
平成19年	地域環境放射能測定設備	特別設備	教 授 村中 健	14,358 千円
	環境汚染監視と環境浄化のための遺伝子解析装置	特別設備	助 教 鮎川 恵理	16,821 千円
平成20年	マイクロ波照射極限化学反応プロセスの流動発生解析装置	特別設備	准教授 小林 正樹	35,225 千円
平成26年	ITデザインスタジオ	教育設備	学科長 坂本 禎智	6,737 千円

## 4 文部科学省私立大学等教育・学習方法高度情報化推進事業交付一覧

年 度	事 業 名	使用責任者	事業経費
平成11年	計算機支援設計共用教育システム設置室の改造整備と全学的教育の実施	教 授 高橋 燦吉	25,079 千円
平成12年	ビジュアルメディア及びネットワークコンピュータ室の改造整備と双方向型可視化教育の実施	教 授 増田陽一郎	35,866 千円
平成13年	多目的ITラボの整備と柔軟性のある双方向型教育の実施	教 授 庄谷 征美	31,240 千円

## 5 文部科学省私立大学等防災機能等強化緊急特別推進事業交付一覧

年 度	事 業 名	事業経費
平成12年	身体障害者兼用エレベーター	25,515 千円
平成17年	アスベスト対策工事	16,882 千円
平成18年	アスベスト対策工事	7,980 千円
平成19年	環境配慮改修工事（アスベスト除去工事）	6,657 千円
平成20年	環境配慮改修工事（アスベスト除去工事）	27,195 千円
平成25年	学校施設耐震改修事業（機械情報技術専門棟（渡廊下付）耐震補強工事）	84,840 千円

## 6 文部科学省私立大学等学術研究高度化推進事業(ハイテク・リサーチ・センター整備事業)

研 究 プ ロ グ ラ ム 名	事業期間
青森・岩手県境不法投棄廃棄物の低環境影響処理技術に関する研究開発	平成15年度 } 平成19年度

## 7 文部科学省私立大学等戦略的研究基盤形成支援事業

事 業 名	事業期間
LCAを考慮した北東北における地域防災と維持管理に関する研究	平成20年度 } 平成22年度

第13 研究業績

8 文部科学省エコキャンパス推進事業

年度	事業名	事業経費
平成21年	八戸工業大学エコキャンパス推進事業	12,967 千円

9 文部科学省私立大学教育研究活性化設備整備事業

年度	取組名称	事業経費
平成24年	コンバージョンEV・PHV教育に伴う性能試験設備	14,406 千円
平成25年	タイプ2「特色を発揮し、地域の発展を重層的に支える大学づくり」地域復興を支援するものづくり次世代型技術者養成のための設備整備	15,034 千円



## 10 外部資金

## ① 受託研究・共同研究

平成26年度

職名	氏名	研究課題等	依頼先
教授	野田 英彦	木質チップを燃料として使用する小型バイオマスボイラーの開発	(株)ササキコーポレーション
教授 教授	野田 英彦 佐藤 学	ヒートパイプを利用する緊急時パッシブ除熱系の開発	(独)日本原子力研究開発機構
教授 准教授	野田 英彦 高橋 晋	新冷媒(氷点降下剤)の研究開発	未利用熱エネルギー革新的活用技術研究組合
教授 准教授	野田 英彦 金子 賢治	ジオセルの防災分野への利用に関する共同研究	旭化成ジオテック(株)
教授 教授	佐藤 学 阿部 勝憲	安全性向上原子力人材育成委託事業	経済産業省資源エネルギー庁
教授	佐藤 学	ベリリウム金属間化合物の核融合環境を模擬した照射下における微細組織発達とその場観測と機械的特性に対する照射効果(4)	(独)日本原子力研究開発機構
助教	浅川 拓克	《平成26年度産学連携・課題解決型医療福祉関連機器等研究開発モデル実証(医工等連携ライフイノベーション加速化事業)》救急医療に対応するドクターカー収納型緊急手術室の開発	青森県
助教	浅川 拓克	専用機器による改造EV試作機の性能測定業務委託	NPO法人循環型社会創造ネットワーク
講師	花田 一磨	《戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)》先進超伝導電力変換システムの未来予測技術高度化と燃料電池有効利用技術開発	(独)科学技術振興機構
講師 講師	花田 一磨 佐々木崇徳	野辺地町エネルギー・環境教育実践事業委託	野辺地町
教授	佐々木幹夫	三沢海岸侵食対策調査・解析業務委託	上北地域県民局
教授	福士 憲一	八戸市地盤沈下観測井管理観測業務委託	八戸市
教授	福士 憲一	地下水の水位および水質調査委託	八戸地域地下水利用対策協議会
准教授	金子 賢治	強制変位を受ける高盛土の変形挙動に関する研究	電源開発(株)
客員教授	青木 秀敏	農水畜産物にUV-LEDからの紫外線を照射することにより得られる作用効果と経済的合理性の確認	H O Y A C A N D E O O P T R O N I C S (株)

第13 研究業績

職名	氏名	研究課題等	依頼先
客員教授	青木 秀敏	〈(A-STEP) 産学共同促進ステージ ハイリスク挑戦タイプ(復興促進型)〉光照射乾燥法を活用する呈味成分を増大させた牡蠣乾燥品の開発	(株)科学技術振興機構
客員教授	青木 秀敏	〈(A-STEP) ハイリスク挑戦タイプ(復興促進型)〉光照射乾燥法を活用する呈味成分と機能性成分を増大させた切り干し大根とセミドライフルーツの開発	(株)科学技術振興機構
准教授	横溝 賢	産学官連携による学生のアイデアを活用した商品開発	(地独)青森県産業技術センター
准教授	宮腰 直幸	太子食品日光工場に設置するジオラマ制作業務委託	太子食品工業(株)

平成27年度

職名	氏名	研究課題等	依頼先
教授	野田 英彦	木質チップを燃料として使用する小型バイオマスボイラーの開発	(株)ササキコーポレーション
教授 准教授	野田 英彦 高橋 晋	未利用熱エネルギー革新的活用技術研究開発	未利用熱エネルギー革新的活用技術研究組合(株式会社日立製作所)
教授 教授	野田 英彦 金子 賢治	ジオセルの防災分野への利用に関する共同研究	旭化成ジオテック(株)
教授	佐藤 学	ベリリウム金属化合物の核融合環境を模擬した照射下における微細組織発達のその場観察と機械的特性に対する照射効果(5)	(国研)日本原子力研究開発機構
教授	佐藤 学	安全性向上原子力人材育成委託事業	経済産業省資源エネルギー庁
教授	四竈 樹男	ヘリウムおよび水素の捕捉、放出、透過特性に及ぼす照射効果に関する研究	(国研)日本原子力研究開発機構
教授	四竈 樹男	〈革新的実用原子力技術開発費補助金補助事業〉革新的安全性向上を実現させるセラミック複合材料の燃料集合体への適用技術開発	国立大学法人室蘭工業大学
准教授	武藤 一夫	センサ付工具ホルダ予察試験 (アコースティックエミッションの可能性検討)	三菱マテリアル(株)
助教	浅川 拓克	へき地医療等における課題解決のための、ドクターカー対応型エアテント式緊急手術室の開発	青森県
教授 教授 教授	石山 俊彦 坂本 智彦 野田 英彦	2線式システム 高効率モータシステムの開発	多摩川精機(株)

第13 研究業績

職名	氏名	研究課題等	依頼先
講師	花田 一磨	〈戦略的創造研究推進事業（先端的低炭素化技術開発）〉 先進超伝導電力変換システムの未来予測技術高度化と燃料電池有効利用技術開発	(国研)科学技術振興機構
講師	花田 一磨 佐々木崇徳	野辺地町エネルギー・環境教育実践事業委託	野 辺 地 町
教授	嶋脇 秀隆	微小電子源のテラヘルツ波源応用に関する研究	(国研)産業技術総合研究所
教授	藤岡 与周	産業用動力回転装置等軸受け部振動計測監視システム試作開発事業	広 和 計 装 (株)
准教授	伊藤 智也	大植町における復興計画の3DCGによる可視化	(一社)K A I O T S U C H I
准教授	西村 順子	機能性菌体外多糖の生合成に関与するペプチドの解析	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 基礎生物学研究所
准教授	西村 順子	Lactobacillus delbrueckii subsp.bulgaricus OLL1073R-1の生産する酸性多糖に関する研究	(株) 明 治
准教授	高橋 晋	食品加工場排水の浄化システムの開発	アルバック東北(株)
教授 教授 教授 准教授 准教授 准教授 講師 任期付研究員	長谷川 明 月永 洋一 阿波 稔 金子 賢治 安部 信行 迫井 裕樹 高橋 晋 藤澤 隆介 橋詰 豊	ワイヤ移動式汎用橋梁点検ロボットシステムの研究開発	(株) 長 大 (株) T T E S
教授 准教授	長谷川 明 安部 信行	仮称パッケージハウスの運搬装置および居住性の改善に関する研究	(株)青森建設工業社
教授	福士 憲一	八戸市地盤沈下観測井管理観測業務委託	八 戸 市
教授	福士 憲一	地下水の水位および水質調査委託	八戸地域地下水利用対策協議会
教授	福士 憲一	八戸市地盤沈下観測井観測記録解析業務委託	八 戸 市
教授	佐々木幹夫	三沢海岸浸食対策調査・解析業務委託	上北地域県民局
教授	金子 賢治	強制変位を受ける高盛土の変形挙動に関する研究	電 源 開 発 (株)

第13 研究業績

職名	氏名	研究課題等	依頼先
教授	金子 賢治	繊維混入砂質土の三軸圧縮試験の実施に関する研究	三菱化学エンジニアリング(株)
教授	金子 賢治	徐冷スラグを利用した盛土材料への高付加価値化	太平洋金属(株)
准教授	横溝 賢	産学官連携による学生のアイデアを活用した商品開発	(地独)青森県産業技術センター工業総合研究所

② 研究助成  
平成26年度

職名	氏名	研究課題等	助成先
准教授	工藤 祐嗣	学生実験用小型エンジン性能試験装置の開発	(一財)青森県工業技術教育振興会
講師	花田 一磨	八戸工業大学おもしろ電子工房公開講座	(公財)青森学術文化振興財団
講師	佐々木崇徳	家庭用インクジェットプリンタ等を用いた色素増感型太陽電池作製方法に関する研究	(公財)高橋産業経済研究財団
教授	小坂谷壽一	伝統音楽(南部三味線・津軽三味線)の自動採譜とデジタルアーカイブ化に因る地域伝統文化の永久保存事業	(公財)むつ小川原地域・産業振興財団
教授	長谷川 明	橋梁の津波対策に関する研究	(公財)高速道路調査会
准教授	金子 賢治	高温加熱を受けたコンクリートの物質移動抵抗性	(一財)青森県工業技術教育振興会
准教授	金子 賢治	《平成26年度東北工学教育協会「工学教育に関する行事等に関する助成事業」》第7回青森土木フォーラムの開催	東北工学教育協会
講師	迫井 裕樹	凍結融解作用による固化処理土の強度低下の定量的把握	(一財)青森県工業技術教育振興会
准教授 技術員	横溝 賢 夏坂 光男	学習実験のリアルタイム省察が、学習者の主体性に与える影響について	(一財)青森県工業技術教育振興会
講師	安部 信行	福祉施設設計・評価のための総合的屋内環境指標構築に関する基礎的研究～寒冷地の屋内環境実測調査を例として～	(一財)青森県工業技術教育振興会
助教	岩崎真梨子	学生が作る八戸工業大学キャンパスことば辞典	(一財)青森県工業技術教育振興会

職名	氏名	研究課題等	助成先
助教	大室 康平	野球のバッティングにおけるボールの位置の違いがバッティングの正確性に及ぼす影響	(一財)青森県工業技術教育振興会
	社会連携 学術推進室	《あおもり元気企業チャレンジ》産学官連携による知的財産活用向上のための調査事業	(公財)21あおもり産業総合支援センター

## 平成27年度

職名	氏名	研究課題等	助成先
講師	藤澤 隆介	小型昆虫の行動解析のための球体移動補償装置の開発と検証	(一財)青森県工業技術教育振興会
講師	花田 一磨	再生可能エネルギー発電によるマイクロ水素エネルギーシステムの開発	(一財)青森県工業技術教育振興会
准教授	伊藤 智也	東日本大震災復興建設事業における3次元CGモデルによる復興支援	(一財)青森県工業技術教育振興会
准教授	鮎川 恵理	三陸海岸最北部の海崖植生の津波影響-津波から5年後の状況-	(一財)青森県工業技術教育振興会
准教授	高橋 晋	酢酸分解好気性菌のスクリーニングと酢酸含有廃水の処理方法の開発	(公財)高橋産業経済研究財団
教授	阿波 稔	復興道路における寒中コンクリートの品質確保システムの構築	(一社)東北地域づくり協会
教授	金子 賢治	〈工学教育に関する行事等に対する助成事業〉第8回青森土木フォーラム	東北工学教育協会
准教授	迫井 裕樹	高温加熱を受けた普通コンクリートの損傷評価に関する研究	(一財)青森県工業技術教育振興会
准教授	安部 信行	視覚障害者の聴覚錯誤のメカニズムに関する実験的研究~方向定位への反射壁面の影響に関する基礎的検討~	(一財)青森県工業技術教育振興会
講師	岩崎真梨子	若者ことば研究に関するコーパス資料の作成	(一財)青森県工業技術教育振興会
准教授	小藤 一樹	短命県青森の住宅性能が健康に与える因果関係を実証的に解明	(一財)青森県工業技術教育振興会

第13 研究業績

職名	氏名	研究課題等	助成先
助教	大室 康平	野球のバッティングにおける素振りのトレーニング方法の検討	(一財)青森県工業技術教育振興会
	食品研究会	青森県未来の起業家(大学生)育成事業	青森県
	食品研究会	〈平成27年度 学生まちづくりコンペティション〉菊を用いたスイーツと駅弁の提案	八戸市
	HIT Team たねちゃん	〈平成27年度 学生まちづくりコンペティション〉種差海岸の今を世界に発信!!種差なう	八戸市
	社会連携学術推進室	〈あおもり元気企業チャレンジ助成事業〉産学連携活動におけるコーディネート機能向上のための支援調査事業	(公財)21あおもり産業総合支援センター
	社会連携学術推進室	八戸工業大学学生チャレンジプロジェクト公開事業	(公財)青森学術文化振興財団
	社会連携学術推進室	〈平成27年度ほくとう総研地域活性化連携支援事業〉地域活性化に向けた多様な人材育成プログラムに係る調査研究	(一社)北海道東北地域経済総合研究所

## 11 学 内 助 成

平成27年度

## ① 特別研究助成費（プロジェクト研究）

職 名	研究代表者	研 究 課 題 名	助成金額
助 教	浅川 拓克	救急・災害医療の課題解決のためのドクターカー対応型緊急手術室の開発	1,780 千円
教 授	金子 賢治	高館ローム切土斜面における凍上劣化予測モデルとその対策手法の開発	1,280 千円
教 授	藤岡 与周	地域共創次世代型グローバル技術者養成事業	620 千円
教 授	長谷川 明	橋梁目視点検代替機能と洗浄機能を有するロボットの基礎的研究	1,780 千円
准教授	横溝 賢	ユーザを含む非専門家混成集団による観光ツアーのデザイン手法の研究およびユーザ評価の定量化手法に関する研究～奥入瀬溪流のコケ散歩ツアーのプロデュースを事例として～	440 千円

## ② 特別研究助成費（特定研究）

職 名	研究代表者	研 究 課 題 名	助成金額
教 授	大黒 正敏	超高速ベルカップアトマイザーによる微粒化特性向上に関する研究	300 千円
教 授	太田 勝	パラメトリック発振を利用した発振現象による発電に関する研究	300 千円
准教授	信山 克義	氷点下におけるポリ乳酸の絶縁破壊特性に関する研究	300 千円
准教授	柴田 幸司	Linuxマイコンを用いた組込みVPNと一斉配信サーバによる地域情報発信システムの開発	300 千円
准教授	清水 能理	オブザーバを用いた状態推定に基づくカオス同期化制御システムの構築	300 千円
教 授	嶋脇 秀隆	シリコンフィールドエミッタの光応答性に関する研究	300 千円
准教授	藤田 敏明	サクラマス卵巣で発現するBタイプFurin遺伝子のクローニング	300 千円
教 授	小林 正樹	シングルモードのマイクロ波加熱により生じる試料内温度分布に関する検討	300 千円
教 授	鶴田 猛彦	微生物のバイオミネラルゼーションによる水溶液からの金の回収	300 千円
准教授	高橋 晋	マイクロバブルによる大腸菌の殺菌効果の検討	300 千円

### 第13 研究業績

職名	研究代表者	研 究 課 題 名	助成金額
准教授	鈴木 拓也	河川水構成成分共存下におけるナノろ過による有害微量汚染物質の除去特性	300 千円
教 授	月永 洋一	実物構造を想定した大型試験体による表層部脆弱層の性状に関する研究	300 千円
准教授	宮腰 直幸	デザインの発想段階におけるコラボレーション時に姿勢が発想に与える影響について	300 千円

#### ③ 大型装置・設備保守費

職名	使用責任者	装 置 ・ 設 備 名	助成金額
教 授	嶋脇 秀隆	非線形光学薄膜合成および評価システム装置	210 千円
教 授	嶋脇 秀隆	YAGレーザアブレーション装置	150 千円
教 授	若生 豊	タンパク質1次構造解析システム	240 千円
教 授	鶴田 猛彦	環境水元素分析装置	1,010 千円
教 授	小比類卷孝幸	機能性材料表層の構造・状態解析システム	420 千円
教 授	小林 正樹	マイクロ波照射極限化学反応プロセスの流動発生解析装置	1,100 千円
准教授	鮎川 恵理	遺伝子解析装置	780 千円
准教授	鮎川 恵理	人工気象室	140 千円
教 授	竹内 貴弘	寒冷地施設の機能向上に関する研究装置	1,100 千円
教 授	阿波 稔	寒冷地コンクリート材料の高耐久化に関する研究装置	1,100 千円
教 授	阿波 稔	寒冷地建設材料の耐久性試験研究装置	180 千円
教 授	福士 憲一	環境ホルモン分析装置	1,100 千円
教 授	月永 洋一	寒冷地建設材料の複合環境劣化装置	1,100 千円
教 授	月永 洋一	コンクリートの耐凍外性評価試験装置	270 千円
教 授	金子 賢治	地盤の汚染対策に関する研究装置	1,100 千円
教 授	金子 賢治	津波実験装置(構造物基礎地盤洗掘実験水路)	194 千円

#### ④ 教育改革支援経費助成

職名	研究代表者	研 究 課 題 名	助成金額
講 師	岩崎真梨子	文章作成能力養成のための教育手法確立に向けての基礎研究	500 千円



## 12 海外出張・海外研修

平成27年度

職名	氏名	目的	出張・研修期間	出張・研修場所
教授	長谷川 明	国立仁川大学にて開催されるシンポジウムにて「橋梁の津波対策」に関する講演	平27.04.12 } 27.04.15	大韓民国
教授	関 秀廣	日本私立大学協会 2015年 日本留学フェア(ベトナム)に参加	平27.05.07 } 27.05.12	ベトナム社会主義共和国
准教授	柴田 幸司	Asia Pasific International Symposium on Electromagnetics Compativity (APEMC2015)での研究発表	平27.05.24 } 27.05.30	台湾
教授	小坂谷壽一	国際会議 (IEEE主催EBCSP2015) で自動探譜装置の研究発表	平27.06.13 } 27.06.20	ポーランド共和国
准教授	柴田 幸司	KMITL (Electrical Engineering Department, King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang) EMC Joint Workshop ,2015, Bangkokでの研究発表	平27.06.24 } 27.06.28	タイ王国
教授	佐々木幹夫	第36回国際水理学会世界会議(36th LAHR World Congress)出席	平27.06.27 } 27.07.05	オランダ王国
教授	嶋脇 秀隆	IVNC2015での研究発表	平27.07.12 } 27.07.18	中華人民共和国
教授	四竈 樹男	IAEA 研究炉に関する専門家会議(TWGRR)に出席	平27.07.18 } 27.07.25	オーストリア共和国
教授	栗原 伸夫	CCC&SICE2015での研究発表	平27.07.26 } 27.08.01	中華人民共和国
教授	鶴田 猛彦	4 th International Symposium on Energy Challenges and Mechanics (ECM4)での研究発表	平27.08.09 } 27.08.15	英国
准教授	迫井 裕樹	国際会議(The fifth International Conference on Construction Materials: Performance, Innovations and Structural Implications)での論文発表	平27.08.18 } 27.08.23	カナダ
准教授	山本 忠	中国語学研修引率	平27.08.19 } 27.09.03	中国人民共和国
助教	浅川 拓克	第13回液体の微粒化に関する国際会議での研究発表	平27.08.22 } 27.08.28	台湾
教授	大黒 正敏	第13回液体の微粒化に関する国際会議での研究成果の発表および各種会議出席	平27.08.25 } 27.08.29	台湾
客員 研究員	橋 詰 豊	The2015world Conguress on Advanced in Structual Engineering amd Mechanics(ASEM15)での研究発表	平27.08.25 } 27.08.29	大韓民国

第13 研究業績

職 名	氏 名	目 的	出張・ 研修期間	出張・研修場所
教 授	長谷川 明	国際会議OWCS40での特別セッション議長担当および研究発表	平27.08.25 } 27.08.31	シンガポール 共 和 国
准教授	西村 順子	9 th Biotechnology Congressでの研究発表	平27.08.29 } 27.09.04	アメリカ合衆国
准教授	柴田 幸司	欧州マイクロ波技術会議 (European Microwave Conference EuMC2015)での研究発表	平27.09.05 } 27.09.13	フランス共和国
教 授	佐々木幹夫	三沢海岸浸食対策調査解析研究成果の2015河口・海岸・河川に関するベトナム日本ワークショップ(VIETNAMU-JAPAN WORKSHOP ON ESTUARY, COAST AND RIVERS)における研究発表	平27.09.06 } 27.09.11	ベトナム社会 主義共和国
教 授	長谷川 明	国際会議IABSEでの「橋梁の津波対策」に関する研究発表	平27.09.20 } 27.09.29	スイス連邦
特 任 講 師	小田島 聡	"10th European Congress of Chemical Engineering "での研究成果発表、および学術調査	平27.09.25 } 27.10.03	フランス共和国
教 授	佐藤 学	17th International Conference on Fusion Reactor Materials に出席	平27.10.08 } 27.10.17	ドイツ連邦共和国
教 授	藤岡 与周	CAINE2015国際会議での発表	平27.10.09 } 27.10.16	アメリカ合衆国
教 授	四竈 樹男	第17回核融合炉材料国際会議出席	平27.10.11 } 27.10.17	ドイツ連邦共和国
教 授	嶋脇 秀隆	228th ECS Meetingでの研究発表(招待講演)	平27.10.11 } 27.10.17	アメリカ合衆国
教 授	月舘 敏栄	・文化財に関する国際会議「ReUSO 2015(RESTAPIA 2015)」での研究発表 ・リスボン地震後の街づくりと災害対策の研修	平27.10.16 } 27.10.26	ス ペ イ ン
教 授	小坂谷壽一	・西南交通大学(四川省)で「自動採譜装置」の講演 ・四川民族大学において中国の同分野の研究者と意見交換、および譜面の無い中国伝統音楽(楽器)の調査	平27.10.17 } 27.10.24	中華人民共和国
教 授	長谷川 明	国立ユースラシアン大学大学院での授業および研究指導	平27.11.27 } 27.12.14	カザフスタン 共 和 国
教 授	小比類巻孝幸	2015環太平洋国際化学会議 (Pacifichem2015)での研究発表	平27.12.15 } 27.12.19	アメリカ合衆国
教 授	佐々木幹夫	第18回環境・気候変動国際会議出席およびリマト川調査	平28.03.20 } 28.03.30	スイス連邦

## 13 学会・研究会・集会

平成27年度

研究会等の名称	開催年月日	開催場所 (教室等)	主催者	摘要 (主要発表演題数等)
橋梁点検ロボットに関する講演会と一般公開	平27. 6. 4	八戸工業大学 メディアセンター	八戸工業大学 土木建築工学科	参加者 30名
意匠権セミナー	平27. 6.10	八戸工業大学 K 3 0 8	八戸工業大学	参加者 35名
八戸市液状化リスクマップのWeb一般公開に関する講演・説明会	平27. 6.14	八戸工業大学 メディアセンター	八戸地域地盤情報データベース運営協議会 八戸工業大学 工学部土木建築工学科 防災技術社会システム 研究センター	参加者 30名
第59回農業実験実習講習会 東北地区	平27. 8. 3 ～ 8. 7	八戸工業大学	(公財)全国学校農場協会	参加者 13名
第4回市民と一緒に考える 国際防災フォーラム	平27. 8.30	八戸市 公民館ホール	八戸工業大学 防災技術社会システム 研究センター	招待講演 2件 講演 2件 ポスター展示 参加者 165名
平成27年度メディアミックス対応ネットワーク第1回活動推進会議	平27. 9. 2	八戸工業大学 大会議室	名古屋造形大学	参加者 24名
第12回八工大セミナー	平27. 9.12	八戸工業大学 土木工学専門 棟ITルーム	(公社)日本技術士会 東北本部 青森県支部	参加者 40名
八戸市他地域連携ビジネス スマッチング促進支援業務 (営業力強化支援業務) において、展示商談会等 で活用できる営業ツール 作成についての勉強会	平27. 9.25	八戸工業大学 メディアセンター	(株)八戸インテリ ジェントプラザ	参加者 55名
八戸工業大学ものづくり 次世代型技術者養成事業 講演会「ものづくり経営 工学のすすめ」	平27.10.13	八戸工業大学 メディアホール	八戸工業大学	参加者 20名

第13 研究業績

研究会等の名称	開催年月日	開催場所(教室等)	主催者	摘要 (主要発表演題数等)
青森の土を学ぶ会 第1回研修会	平27.10.16	八戸工業大学 多目的ホール	青森の土を学ぶ会 八戸工業大学 土木建築工学科	参加者 40名
日本音響学会・騒音振動 研究会	平27.10.16	八戸工業大学 メディアセンター	(社)日本音響協会 騒音・振動研究委員会	参加者 30名
機械構造研修 in 八戸～ 自動車のボディ構造や機 能部品を中心に～	平27.11.10	八戸工業大学 M205・自動車 工学センター	青森県商工労働部 地域産業課	参加者 100名
平成27年度八戸工業大学 「研究室めぐり」	平27.12.10	八戸工業大学 メディアホール他	(公財)八戸地域高度 技術振興センター	参加者 17名
平成27年度八戸工業大学 高大連携推進協議会	平27.12.11	八戸工業大学 大会議室	八戸工業大学	講演 1件 参加者 56名
日本図学会東北支部総 会・講演会	平27.12.12	八戸工業大学 K D プラザ	日本図学会東北支部	参加者 8名
八戸工業大学ものづくり 次世代型技術者養成事業 講演会	平27.12.14	八戸工業大学 多目的ホール	八戸工業大学	参加者 26名
八戸工業大学ものづくり 次世代型技術者養成事業 講演会「勉強すること」	平27.12.14	八戸工業大学 多目的ホール	八戸工業大学	参加者 80名
八戸工業大学学生チャレ ンジプロジェクト公開事 業の公開	平27.12.19 ～12.20	チーノはちのへ	八戸工業大学	参加者 231名
平成27年度「安全性向上 原子力人材育成事業」 第1回検討会議	平28. 1.15	八戸グランド ホテル	社会連携学術推進室	参加者 21名
平成27年度「安全性向上 原子力人材育成委託事業」 原子力体感研修報告会及 び青森原子力教育シンポ ジウム	平28. 1.15	八戸グランド ホテル	八戸工業大学	参加者 76名
平成27年度「安全性向上 原子力人材育成委託事業」 「学生とシニアの対話in 八戸」	平28. 2. 5	八戸工業大学 メディアホール	八戸工業大学	参加者 40名

第13 研究業績

研究会等の名称	開催年月日	開催場所(教室等)	主催者	摘要(主要発表題数等)
平成27年度八戸工業大学ものづくり次世代型技術者養成事業に係る公開講座「新規事業創出特論」	平28. 2.15	八戸工業大学 G 3 1 4	社会連携学術推進室	参加者 6名
平成27年度八戸工業大学ものづくり次世代型技術者養成事業に係る公開講座「技術経営特論」	平28. 3. 1	八戸工業大学 G 3 1 4	社会連携学術推進室	参加者 4名
平成27年度「安全性向上原子力人材育成委託事業」第2回検討会議	平28. 3. 2	八戸地域地場産業振興センター (ユートリー)	社会連携学術推進室	参加者 21名
平成27年度八戸工業大学ものづくり次世代型技術者養成事業に係る公開講座「知的財産特論」	平28. 3. 3	八戸工業大学 G 3 1 4	社会連携学術推進室	参加者 6名
セカンドライフ創業・起業セミナー	平28. 3. 4	八戸ダイワロイネットホテル	八戸工業大学	参加者 9名
講演会「無人深海探査機江戸っ子1号実現へのあゆみ」	平28. 3. 7	八戸工業大学 多目的ホール	八戸工業大学	参加者 40名
平成27年度八戸工業大学ものづくり次世代型技術者養成事業に係る公開講座「品質工学特論」	平28. 3. 8	八戸工業大学 G 3 1 4	社会連携学術推進室	参加者 5名
3.11防災フォーラム	平28. 3.11	八戸市公民館 ホール	八戸工業大学 防災技術社会システム 研究センター	講演 1件 パネルディス カッション 参加者 93名
平成27年度 青森県産業技術センター・八戸工業大学研究交流会	平28. 3.23	八戸工業大学 メディアホール	(地独)青森県産業技術 センター 八戸工業大学	講演 1件 研究発表 5件 参加者 37名
平成27年度八戸工業大学教育研究後援会点検・評価部会	平28. 3.25	八戸パークホテル	八戸工業大学	参加者 17名

第13 研究業績

14 公 開 講 座

年度	名 称	開 催 年 月 日	開催場所 (教室等)	主 管	摘 要 (受講者数等)
平成 27年	ロボティクス基礎講座 多脚歩行ロボットを作ろう	平27.11.28	八戸工業大学	機械情報技術学科	9名
	火の玉のなぞと魅力 どうやってつくる!?→科学 で解明?	平27.10. 3	大 館 市 民 館 文 化 会 館	電気電子システム学科	10名
	超小型・動画配信サーバ 構築講座 －マイ動画配信サーバで 種差海岸の魅力を全世界 に配信!魅力を全世界に配 信するのは「Webカメラ」?! もちろん、自分のケータイ からも確認できます－	平27.10. 4	種差海岸イン フォメーション センターレク チャールーム	電気電子システム学科	31名
	地上でつくる太陽エネル ギーの新しい利用	平27.10.24	二戸市シビッ クセンター	電気電子システム学科	4名
	おもしろ電子工房－ライン トレースロボットを作ろう!－	平27.11. 3	久 慈 市 立 中 央 公 民 館	電気電子システム学科	26名
	スマホアプリ作成講座	平27.11.21 ～11.22	八戸工業大学	システム情報工学科	8名
	南部地方の美と健康の伝承 －食用菊と紫草について－	平27.10. 3	八戸工業大学	バイオ環境工学科	19名
	国指定登録文化財 元貸 座敷「新むつ旅館」の暮し と建築的特徴を学ぶ	平27.11.21	新むつ旅館	土木建築工学科	30名
	非日常空間と記憶の環境 デザイン －八戸工業大学感性デザ イン学科の取り組み－	平27.09.12	八 戸 ニューポート	感性デザイン学科	20名
	親子で作るクリスマスオブ ジェ 制作体験講座	平27.12. 5	八戸工業大学	感性デザイン学科	14名
	スポーツ動作の科学 ～スポーツ科学の目から 見た良い動きとは?～	平27.10.23	八戸ポータル ミュージアム はっち1階 はっちひろば	基礎教育研究 センター	53名
	サイエンスカフェ－青森県 内のエネルギー利用状況－	平27.11.21	八 戸 ニューポート	地 域 産 業 綜 合 研 究 所	10名

## 第14 研究刊行物

八戸工業大学紀要 第35巻 平成28年3月

I S S N 0287-1866

編集発行 八戸工業大学図書委員会

版 型 B 5

発行部数 300部

発行回数 年1回

地域産業総合研究所紀要 第14巻 平成28年3月

I S S N 2186-6015

編集発行 八戸工業大学地域産業総合研究所紀要編集委員会

版 型 A 4

発行部数 300部

発行回数 年1回

## 第15 図 書 館

### 1 施 設

学 生 閱 覧 室	325㎡	(座席数 94 席)
新 聞 閱 覧 室	290㎡	(座席数 54 席)
雑 誌 閱 覧 室	340㎡	(座席数 16 席)
書 庫	414㎡	(積層数 4 層)
第 2 書 庫	238㎡	
事 務 室 其 他	213㎡	
多 目 的 ホ ー ル	306㎡	(座席数 180 席)
計	2,126㎡	

### 2 蔵 書

平成28年5月1日現在

区 分	和 漢 書	洋 書	合 計
0 総 記	5,169	665	5,834
1 哲 学	3,203	584	3,787
2 歴 史	5,341	250	5,591
3 社 会 科 学	11,272	839	12,111
4 自 然 科 学	16,983	3,190	20,173
5 工 学	33,935	7,078	41,013
6 産 業	1,783	85	1,868
7 芸 術	4,526	215	4,741
8 語 学	4,849	1,393	6,242
9 文 学	7,727	1,639	9,366
製本・別置・A V 資料	8,245	10,842	19,087
計	103,033	26,780	129,813

#### 所蔵雑誌種数

和 雑 誌	857 種
洋 雑 誌	611 種

### 3 利 用 状 況 (平成27年度)

開 館 日 数	図 書 貸 出 者 数	図 書 貸 出 冊 数	A V 資 料 利 用 者 数	学 生 閱 覧 室 入 場 者 数
268日	690人	1,321 冊	5,386 人	16,402 人



## 第16 旧 職 員

## 1 歴代役付職員

## 学 長

(就 任)	(退 任)	(学 位)	(氏 名)
昭47. 4. 1	昭49. 2. 23		小 和 田 武 紀
49. 2. 24 (事務取扱)	49. 5. 31	工 学 博 士	門 脇 又 男
49. 6. 1	51. 4. 30	工 学 博 士	斎 藤 恒 三
51. 5. 1 (事務取扱)	51. 12. 10	工 学 博 士	門 脇 又 男
51. 12. 11	56. 3. 31	工 学 博 士	門 脇 又 男
56. 4. 1	60. 3. 31		淵 澤 定 敏
60. 4. 1	平5. 3. 31	工 学 博 士	河 上 房 義
平5. 4. 1	12. 3. 31	工 学 博 士	村 上 孝 一
12. 4. 1	18. 3. 31	工 学 博 士	高 橋 燦 吉
18. 4. 1	22. 3. 31	工 学 博 士	庄 谷 征 美
22. 4. 1	28. 3. 31	工 学 博 士	藤 田 成 隆

## 副 学 長

昭51. 12. 11	昭56. 3. 31		淵 澤 定 敏
平元. 4. 1	平5. 3. 31	工 学 博 士	村 上 孝 一
21. 4. 1	22. 3. 31	工 学 博 士	藤 田 成 隆

## 学長補佐

平24. 4. 1	平28. 3. 31	工 学 博 士	関 秀 廣
-----------	------------	---------	-------

## 学長補佐(学務担当)

平7. 4. 1	平9. 8. 22	工 学 博 士	川 島 俊 夫
11. 4. 1	13. 3. 31	工 学 博 士	須 田 熙
13. 4. 1	19. 3. 31	工 学 博 士	増 田 陽 一 郎
19. 4. 1	21. 3. 31	工 学 博 士	藤 田 成 隆
22. 4. 1	23. 3. 31	工 学 博 士	福 士 憲 一

## 第16 旧職員

### 学長補佐(事務担当)

平7.4.1	平9.3.31	及川富司
9.4.1	23.3.31	福井俊夫

### 大学院工学研究科長

平12.4.1	平18.3.31	工学博士	高橋 燦 吉
18.4.1	22.3.31	工学博士	庄谷 征 美
22.4.1	28.3.31	工学博士	藤田 成 隆

### 工 学 部 長

平17.4.1	平22.3.31	工学博士	庄谷 征 美
22.4.1	28.3.31	工学博士	藤田 成 隆

### 感性デザイン学部長

平17.4.1	平20.3.31	工学博士	長谷川 明
20.4.1	22.3.31	工学博士	藤田 成 隆

### 機械システム工学 専攻主任

平7.4.1	平12.3.31	工学博士	高橋 燦 吉
12.4.1	15.9.30	博士(工学)	加賀 拓 也
15.10.1	18.3.31	博士(工学)	岡 村 隆 成

### 機械・生物化学工学 専攻主任

平18.4.1	平20.3.31	工学博士	齋藤 正 博
20.4.1	25.3.31	工学博士	大黒 正 敏
25.4.1	28.3.31	博士(工学)	野田 英 彦

### 電気電子工学 専攻主任

平7.4.1	平13.3.31	工学博士	増田 陽一郎
13.4.1	18.3.31	工学博士	藤田 成 隆
18.4.1	19.3.31	工学博士	坂本 禎 智

## 電子電気・情報工学 専攻主任

平19. 4. 1	平20. 3. 31	工学博士	坂 本 禎 智
20. 4. 1	25. 3. 31	工学博士	関 秀 廣
25. 4. 1	28. 3. 31	博士(工学)	根 城 安 伯

## 土 木 工 学 専攻主任

平7. 4. 1	平9. 3. 31	工学博士	佐 藤 敦 久
9. 4. 1	11. 3. 31	工学博士	須 田 熙
11. 4. 1	17. 3. 31	工学博士	庄 谷 征 美
17. 4. 1	19. 3. 31	工学博士	福 士 憲 一
19. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	熊 谷 浩 二
23. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	月 永 洋 一

## 建 築 工 学 専攻主任

平11. 4. 1	平15. 3. 31	工学博士	渡 邊 正 朋
15. 4. 1	18. 3. 31	博士(工学)	熊 谷 浩 二
18. 4. 1	20. 3. 31	工学博士	滝 田 貢
20. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	熊 谷 浩 二
23. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	月 永 洋 一
25. 4. 1	28. 3. 31	博士(工学)	竹 内 貴 弘

## 機 械 工 学 科 主任教授

昭47. 4. 1	昭50. 3. 31		塩 谷 喜久男
50. 4. 1	51. 4. 1		真 柳 義 行
51. 4. 2	57. 3. 31		淵 澤 定 敏
57. 4. 1	59. 3. 31		岩 津 功
59. 4. 1	平3. 3. 31	工学博士	三 戸 曉
平3. 4. 1	4. 3. 31	工学博士	槌 川 武 男
4. 4. 1	5. 3. 31	工学博士	高 橋 裕 男

## 機 械 工 学 科 長

平5. 4. 1	平7. 3. 31	工学博士	高 橋 裕 男
7. 4. 1	9. 3. 31	博士(工学)	加 賀 拓 也

第16 旧職員

平9. 4. 1	平12. 3. 31	工学博士	高	橋	燦	吉
12. 4. 1	13. 3. 31	博士(工学)	加	賀	拓	也

機械情報技術学科長

平13. 4. 1	平15. 9. 30	博士(工学)	加	賀	拓	也
15. 10. 1	20. 3. 31	工学博士	齋	藤	正	博
20. 4. 1	25. 3. 31	工学博士	大	黒	正	敏
25. 4. 1	28. 3. 31	博士(工学)	野	田	英	彦

産業機械工学科 主任教授

昭47. 8. 1	昭50. 7. 31		加	畑	信	一
50. 8. 1	51. 3. 31		友	兼		泰
昭51. 4. 1	昭54. 3. 31		真	柳	義	行
54. 4. 1	56. 3. 31		淵	澤	定	敏
56. 4. 1	58. 1. 31		岩	津		功
58. 2. 1	59. 3. 31	工学博士	三	戸		暁
59. 4. 2	60. 3. 31	工学博士	萱	場	孝	雄

電気工学科 主任教授

昭47. 4. 1	昭54. 3. 31	工学博士	門	脇	又	男
54. 4. 1	平元. 3. 31	工学博士	松	坂	知	行
平元. 4. 1	5. 3. 31	工学博士	増	田	陽	一郎

電気工学科長

平5. 4. 1	平11. 3. 31	工学博士	増	田	陽	一郎
----------	------------	------	---	---	---	----

電気電子工学科長

平11. 4. 1	平13. 3. 31	工学博士	増	田	陽	一郎
13. 4. 1	15. 3. 31	工学博士	藤	田	成	隆

電子知能システム学科長

平15. 4. 1	平18. 3. 31	工学博士	藤	田	成	隆
18. 4. 1	20. 3. 31	工学博士	坂	本	禎	智

平20. 4. 1	平22. 3. 31	工学博士	関	秀	廣
-----------	------------	------	---	---	---

## 電気電子システム学科長

平22. 4. 1	平24. 3. 31	工学博士	関	秀	廣
24. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	川	又	憲
25. 4. 1	28. 3. 31	博士(工学)	根	城	安

## 土木工学科 主任教授

昭51. 4. 1	昭54. 3. 31		佐	藤	健	吉
54. 4. 1	55. 3. 31		佐	藤	源	藏
55. 4. 1	61. 3. 31		佐	藤	健	吉
61. 4. 1	平4. 3. 31	工学博士	川	島	俊	夫
平4. 4. 1	5. 3. 31	工学博士	佐	藤	敦	久

## 土木工学科長

平5. 4. 1	平9. 3. 31	工学博士	佐	藤	敦	久
9. 4. 1	11. 3. 31	工学博士	須	田		熙
11. 4. 1	13. 3. 31	工学博士	庄	谷	征	美

## 環境建設工学科長

平13. 4. 1	平17. 3. 31	工学博士	庄	谷	征	美
17. 4. 1	19. 3. 31	工学博士	福	士	憲	一
19. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	熊	谷	浩	二
23. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	月	永	洋	一

## 建築工学科 主任教授

昭51. 4. 1	昭56. 3. 31		二	宮	太	平
56. 4. 1	平2. 3. 31	工学博士	佐	々	木	嘉
平2. 4. 1	5. 3. 31	工学博士	内	山	和	夫

## 建築工学科長

平5. 4. 1	平15. 3. 31	工学博士	渡	邊	正	朋
15. 4. 1	18. 3. 31	博士(工学)	熊	谷	浩	二

第16 旧職員

平18. 4. 1	平20. 3. 31	工学博士	滝田	貢
20. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	熊谷	浩二
23. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	月永	洋一
25. 4. 1	27. 3. 31	博士(工学)	竹内	貴弘

土木建築工学科長

平21. 4. 1	平23. 3. 31	博士(工学)	熊谷	浩二
23. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	月永	洋一

エネルギー工学科 主任教授

昭57. 4. 1	昭58. 1. 31		淵澤	定敏
58. 2. 1	平2. 3. 31	工学博士	田原	浩一
平2. 4. 1	5. 3. 31	工学博士	梅森	肅

エネルギー工学科長

平5. 4. 1	平9. 3. 31	工学博士	高橋	燦吉
9. 4. 1	13. 3. 31	工学博士	伊藤	幸雄
13. 4. 1	17. 3. 31	博士(工学)	岡村	隆成

システム情報工学科長

平11. 4. 1	平13. 3. 31	工学博士	松坂	知行
13. 4. 1	17. 3. 31	工学博士	苔米地	宣裕
17. 4. 1	25. 3. 31	工学博士	栗原	伸夫

生物環境化学工学科長

平14. 4. 1	平19. 3. 31	博士(工学)	岡村	隆成
19. 4. 1	21. 3. 31	工学博士	伊藤	幸雄

バイオ環境工学科長

平21. 4. 1	平23. 3. 31	工学博士	伊藤	幸雄
23. 4. 1	28. 3. 31	農学博士	若生	豊

## 感性デザイン学科長

平17. 4. 1	平18. 3. 31	工学博士	坂本 禎 智
18. 4. 1	20. 3. 31	工学博士	長谷川 明
20. 4. 1	28. 3. 31	工学博士	坂本 禎 智

## 一般教育部長

昭48. 4. 1	昭52. 3. 31		沢口 剛 雄
52. 4. 1	54. 8. 31		内川 健 吾
54. 9. 1 (代行)	55. 3. 31		船山 良 三
55. 4. 1	56. 3. 31	理学博士	伊達 蕙
56. 4. 1	62. 3. 31	理学修士	本間 健 祐
62. 4. 1	平6. 3. 31	工学博士	能登 文 敏

## 総合教育センター長

平6. 4. 1	平9. 3. 31	工学博士	杉田 慶一郎
9. 4. 1	13. 3. 31	理学博士	田中 昇
13. 4. 1	17. 3. 31	工学博士	村中 健

## 基礎教育研究センター長

平19. 5. 1	平20. 3. 31	工学博士	藤田 成 隆
20. 4. 1	23. 3. 31	工学博士	福士 憲 一
23. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	熊谷 浩 二

## 一般教育部副部長

昭52. 9. 1	昭54. 8. 31		船山 良 三
-----------	------------	--	--------

## 食品工学研究所長

昭63. 4. 1	平6. 3. 31	工学博士	槌川 武 男
平6. 4. 1	7. 3. 31	工学博士	高橋 裕 男
7. 4. 1	11. 3. 31	博士(工学)	加賀 拓 也
11. 4. 1	13. 3. 31	理学博士	田中 昇
13. 4. 1	14. 3. 31	博士(工学)	岡村 隆 成

第16 旧職員

情報システム工学研究所長

昭63. 4. 1 平13. 3. 31 工学博士 松 坂 知 行

構造工学研究所長

平5. 4. 1 平9. 3. 31 工学博士 佐 藤 敦 久

9. 4. 1 11. 3. 31 工学博士 須 田 熙

11. 4. 1 14. 3. 31 工学博士 庄 谷 征 美

異分野融合科学研究所長

平13. 4. 1 平17. 3. 31 工学博士 村 中 健

17. 4. 1 18. 3. 31 工学博士 庄 谷 征 美

18. 4. 1 19. 3. 31 博士(工学) 岡 村 隆 成

19. 4. 1 22. 4. 21 工学博士 阿 部 勝 憲

エネルギー環境システム研究所長

平22. 4. 22 平27. 3. 31 工学博士 阿 部 勝 憲

学 務 部 長

昭48. 4. 1 昭49. 8. 31 加 畑 信 一

49. 9. 1 54. 3. 31 川 守 田 孝 吉

54. 4. 1 56. 3. 31 佐 藤 健 吉

56. 4. 1 昭61. 3. 31 理学博士 伊 達 蕙

平18. 4. 1 平19. 3. 31 工学博士 藤 田 成 隆

19. 4. 1 25. 3. 31 工学博士 福 士 憲 一

25. 4. 1 28. 3. 31 工学博士 大 黒 正 敏

学 務 部 次 長

昭48. 4. 1 昭49. 8. 31 武 内 平 八 郎

55. 4. 2 59. 3. 31 高 橋 久 太 郎

平18. 4. 1 平19. 2. 28 博士(工学) 福 原 長 寿

18. 4. 1 19. 3. 31 工学博士 関 秀 廣

18. 4. 1 19. 3. 31 大 野 裕 司

19. 4. 1 20. 3. 31 博士(工学) 鈴 木 寛



## 第16 旧職員

平19. 4. 1	平23. 3. 31	農学博士	若 生	豊
20. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	竹 内 貴	弘
23. 4. 1	24. 3. 31	博士(工学)	川 又	憲
24. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	竹 内 貴	弘
23. 4. 1	28. 3. 31	博士(情報工学)	藤 岡 与	周

## 学 生 部 長

昭47. 4. 1	昭48. 3. 31	理学博士	金 塚 文	哉
61. 4. 1	平4. 3. 31	理学博士	伊 達	蕙
平4. 4. 1	11. 3. 31	工学博士	庄 谷 征	美
11. 4. 1	12. 3. 31	理学博士	清 野 大	樹
12. 4. 1	13. 3. 31	工学博士	大 内 清	行
13. 4. 1	17. 3. 31	工学博士	栗 原 伸	夫
17. 4. 1	18. 3. 31	博士(工学)	野 田 英	彦

## 学 生 部 次 長

平2. 9. 1	平4. 3. 31	工学博士	庄 谷 征	美
7. 4. 1	9. 3. 31	理学博士	田 中	昇
9. 4. 1	11. 3. 31	理学博士	清 野 大	樹
11. 4. 1	13. 3. 31	工学博士	藤 田 成	隆
12. 4. 1	15. 3. 31		池 田 政	勝
13. 4. 1 (学生指導担当)	17. 3. 31	博士(工学)	橋 本 典	久
13. 4. 1 (就職開拓担当)	18. 3. 31	工学博士	宮 川	孝

## 教 務 部 長

昭47. 4. 1	昭48. 3. 31		長 沢 隆 次
61. 4. 1	平6. 3. 31	工学博士	槌 川 武 男
平6. 4. 1	11. 3. 31	工学博士	松 坂 知 行
11. 4. 1	12. 3. 31	工学博士	大 内 清 行
12. 4. 1	18. 3. 31	工学博士	長 谷 川 明

## 教 務 部 次 長

平元. 4. 1	平5. 3. 31	工学博士	鈴 木 幸 三
----------	-----------	------	---------

## 第16 旧職員

平5.4.1	平7.3.31	理学博士	田中	昇
7.4.1	11.3.31	工学博士	大内清	行
11.4.1	18.3.31		桃井龍	慈
11.4.1	12.3.31	工学博士	長谷川	明
12.4.1	14.3.31	工学博士	関秀	廣
14.4.1(教務担当)	15.9.30	工学博士	齋藤正	博
11.4.1(学生募集担当)	18.3.31		桃井龍	慈
15.10.1(教務担当)	18.3.31	工学博士	佐藤正	毅
15.4.1	18.3.31		大野裕	司

### 入試部長

平18.4.1	平19.3.31	博士(工学)	熊谷浩	二
19.4.1	22.3.31	博士(工学)	野田英彦	
22.4.1	25.3.31	工学博士	齋藤正博	
25.4.1	28.3.31	工学博士	関秀廣	

### 入試部次長

平18.4.1	平19.3.31	博士(工学)	鈴木寛	
19.4.1	20.3.31	工学博士	大黒正敏	
18.4.1	23.3.31	博士(工学)	月永洋一	
20.4.1	23.3.31	博士(工学)	鈴木寛	
23.4.1	24.3.31	博士(工学)	竹内貴弘	
24.4.1	25.3.31	博士(工学)	小林正樹	
25.4.1	27.3.31	博士(理学)	小比類卷孝幸	
27.4.1	28.3.31	博士(工学)	鶴田猛彦	

### 大学改革室長

平4.3.1	平7.3.31	工学博士	川島俊夫	
7.4.1	11.3.31	工学博士	高橋燦吉	
11.4.1	13.3.31	工学博士	須田熙	
13.4.1	19.3.31	工学博士	増田陽一郎	
19.4.1(事務取扱)	19.4.30	工学博士	藤田成隆	

## 大学改革室次長

平15. 4. 1	平19. 4. 30		池田政勝
-----------	------------	--	------

## 教育研究戦略室長

平17. 4. 1	平18. 3. 31	工学博士	庄谷征美
18. 4. 1	19. 3. 31	工学博士	藤田成隆
19. 4. 1 (事務取扱)	19. 4. 30	工学博士	藤田成隆

## 教育研究戦略室次長

平18. 4. 1	平19. 3. 31	工学博士	関秀廣
-----------	------------	------	-----

## 図書館長

昭47. 4. 1	昭48. 3. 31		岡本堅次
48. 4. 1	51. 3. 31		川守田孝吉
51. 4. 1	52. 3. 31		友兼泰
52. 4. 1	54. 3. 31		武内平八郎
54. 4. 1	55. 3. 31	理学博士	伊達蕙
55. 4. 1	59. 3. 31		船山良三
59. 4. 1	平4. 3. 31		高橋久太郎
平4. 4. 1	7. 3. 31	工学博士	川島俊夫
7. 4. 1	9. 3. 31	工学博士	杉田慶一郎
9. 4. 1	11. 3. 31	理学博士	田中昇
11. 4. 1	12. 3. 31	博士(工学)	加賀拓也
12. 4. 1	18. 3. 31	理学博士	清野大樹
18. 4. 1	19. 3. 31	博士(工学)	野田英彦
19. 4. 1	20. 3. 31	工学博士	関秀廣
20. 4. 1	22. 3. 31	工学博士	齋藤正博
22. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	野田英彦
23. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	熊谷浩二

## 図書館次長

昭49. 9. 1	昭51. 3. 31		船山良三
平13. 4. 1	平17. 3. 31	工学博士	福士憲一

第16 旧職員

平17. 4. 1	平18. 3. 31	工学博士	小野	陽
18. 4. 1	21. 3. 31	文学修士	小林 繁	吉
21. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	武山	泰
23. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	鈴木 木	寛

工作工場長

昭48.10. 1	昭50. 7. 31		加畑 信一	
50. 8. 1	53. 3. 31		友兼	泰
53. 4. 1	55. 3. 31		赤沢 唯一	
55. 4. 1	57. 3. 31	工学博士	小松崎 年雄	
57. 4. 1	58. 3. 31	工学修士	小山 信次	
58. 4. 1	60. 3. 31	工学博士	三戸 暁	
60. 4. 1	平3. 3. 31	工学博士	萱場 孝雄	
平3. 4. 1	6. 3. 31	工学博士	鈴木 幸三	

工作技術センター所長

平6. 4. 1	平7. 3. 31	工学博士	鈴木 幸三	
7. 4. 1	9. 3. 31	工学博士	高橋 燦吉	
9. 4. 1	15. 9. 30	博士(工学)	加賀 拓也	
15.10. 1	20. 3. 31	工学博士	齋藤 正博	
20. 4. 1	25. 3. 31	工学博士	大黒 正敏	
25. 4. 1	28. 3. 31	博士(工学)	野田 英彦	

企画室長

昭54. 4. 1	平元. 3. 31	工学博士	増田 陽一郎	
-----------	-----------	------	--------	--

事務部長

昭50. 4. 1	昭63. 3. 31		野坂 博也	
63. 4. 1	平9. 3. 31		及川 富司	
平9. 4. 1 (代理)	11. 3. 31		福井 俊夫	
11. 4. 1	23. 3. 31		福井 俊夫	
23. 4. 1	24. 3. 31		大野 裕司	
24. 4. 1	28. 3. 31		工藤 利治	

## 社会連携学術推進室長

平19. 5. 1	平22. 3. 31	工学博士	藤 田 成 隆
22. 4. 1	25. 3. 31	工学博士	関 秀 廣
25. 4. 1	28. 3. 31	博士(工学)	熊 谷 浩 二

## 社会連携学術推進室次長

平19. 5. 1	平21. 3. 31		池 田 政 勝
22. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	川 又 憲
23. 4. 1	27. 3. 31	博士(工学)	佐 藤 学
27. 4. 1	28. 3. 31	博士(工学)	石 山 俊 彦

## 庶務課長

昭47. 4. 1	昭50. 3. 31		近 藤 宏
50. 4. 1	54. 3. 31		野 坂 博 也
54. 4. 1	57. 3. 31		角 田 健
57. 4. 1	62. 3. 31		柳 谷 透
62. 4. 1	平5. 3. 31		福 井 俊 夫
平5. 4. 1	7. 3. 31		日下部 紗 恵子
7. 4. 1	9. 3. 31		池 田 政 勝
9. 4. 1	14. 3. 31		西田中 裕 祥
14. 4. 1	21. 3. 31		山 本 富 男

## 学事課長

平21. 4. 1	平22. 3. 31		山 本 富 男
22. 4. 1	23. 3. 31		佐々木 宏
23. 4. 1	24. 3. 31		大 野 裕 司
24. 4. 1(代行)	25. 3. 31		青 井 信 達
25. 4. 1	26. 3. 31		大 野 和 弘
26. 4. 1	28. 3. 31		得 丸 雅 夫

## 会計課長

昭48. 4. 1	昭50. 3. 31		角 田 健
54. 4. 1	58. 3. 31		角 田 健

第16 旧職員

昭58. 4. 1	昭62. 3. 31	福 井 俊 夫
62. 4. 1	平 4. 3. 31	大 野 裕 司
平 4. 4. 1	9. 3. 31	泉 山 幸 博
9. 4. 1	12. 3. 31	工 藤 利 治
12. 4. 1	17. 3. 31	長 浜 沖 夫
17. 4. 1	19. 3. 31	佐々木 宏
19. 4. 1	21. 3. 31	橋 本 由美子

施 設 課 長

昭49. 4. 1	平 9. 3. 31	苦米地 正 己
平 9. 4. 1	21. 3. 31	大 塚 哲

教 務 課 長

昭47. 4. 1	昭50. 3. 31	経済学修士	福 田 直
50. 4. 1	55. 3. 31		佐々木 一 人
55. 4. 1	62. 3. 31		苦米地 正 己
62. 4. 1	平 4. 3. 31		佐 藤 忠 義
平 4. 4. 1	9. 3. 31		大 野 裕 司
9. 4. 1	14. 3. 31		山 本 富 男
14. 4. 1	19. 3. 31		大 野 裕 司
19. 4. 1	22. 3. 31		工 藤 利 治
22. 4. 1	23. 3. 31		山 本 富 男

入 試 課 長

平 5. 4. 1	平 9. 3. 31	福 井 俊 夫
9. 4. 1	12. 3. 31	佐々木 宏
12. 4. 1	17. 3. 31	工 藤 利 治
17. 4. 1	19. 3. 31	長 浜 沖 夫
19. 4. 1	28. 3. 31	松 坂 博 行

学 生 課 長

昭47. 4. 1	昭50. 3. 31	佐々木 一 人
50. 4. 1	55. 3. 31	苦米地 正 己

第16 旧職員

昭55. 4. 1	昭62. 3. 31	佐藤忠義
62. 4. 1	平9. 3. 31	大塚哲
平9. 4. 1	12. 3. 31	池田政勝
12. 4. 1	17. 3. 31	佐々木宏
17. 4. 1	19. 3. 31	工藤利治
19. 4. 1	21. 3. 31	高坂茂
21. 4. 1	22. 3. 31	工藤利治
22. 4. 1	23. 3. 31	山本富男
23. 4. 1	26. 3. 31	栗橋秀行
26. 4. 1 (代行)	28. 3. 31	笹田公烈

就職課長

昭49. 8. 15	昭63. 3. 31	及川富司
63. 4. 1	平5. 3. 31	日下部紗恵子
平5. 4. 1	8. 3. 31	大塚哲
8. 4. 1	9. 3. 31	倉内貞春
9. 4. 1	11. 3. 31	池田政勝
11. 4. 1	15. 3. 31	小西孝則
15. 4. 1	19. 3. 31	高坂茂
19. 4. 1	22. 3. 31	佐々木宏
22. 4. 1	24. 3. 31	橋本由美子
24. 4. 1	25. 3. 31	佐々木宏

大学改革室課長

平15. 4. 1	平16. 3. 31	小西孝則
16. 4. 1	19. 4. 30	池田政勝

社会連携学術推進室課長

平19. 5. 1	平21. 3. 31	池田政勝
21. 4. 1	28. 3. 31	大野和弘

図書館館長補佐

平7. 4. 1	平10. 3. 31	高松清治
----------	------------	------

第16 旧職員

図書館事務長

昭62. 4. 1                      平17. 3. 31                      田名部 正 哉

図書館・情報事務室事務長

平19. 4. 1                      平22. 3. 31                      小 西 孝 則  
 22. 4. 1 (代行)                  24. 3. 31                      得 丸 雅 夫  
 24. 4. 1                          26. 3. 31                      得 丸 雅 夫

工作工場副工場長

昭47. 7. 21                      昭60. 1. 9                      武 藤 忠 夫  
 60. 4. 1                          平元. 9. 30                      佐 藤 和 夫

2 退任・転任教員(教授・助教授・准教授・講師)

(採用)	(退任・転任)	(学 位)	(氏 名)
大 学 院	特 任 教 授		
平16. 4. 1	平18. 3. 31	工学博士	須 田 熙
17. 4. 1	19. 3. 31	工学博士	豊 田 淳 一
機 械 工 学 科	教 授		
昭47. 4. 1	昭51. 3. 31		平 賀 広 一
47. 4. 1	52. 3. 31		塩 谷 喜 久 男
52. 4. 1	59. 3. 31		岩 津 功
54. 8. 1	平2. 3. 31		宗 重 雄
57. 4. 2	3. 3. 31	工学博士	三 戸 暁
59. 4. 2	3. 3. 31	工学博士	萱 場 孝 雄
昭49. 4. 1	平5. 3. 31	工学博士	前 森 健 一
60. 5. 1	6. 3. 31	工学博士	槌 川 武 男
平元. 4. 1	8. 3. 31	工学博士	鈴 木 幸 三
4. 4. 1	8. 3. 31		三ヶ田 賢 次
9. 4. 1	10. 3. 31	工学博士	藤 澤 二 三 夫
5. 5. 1	11. 3. 31	理学博士	鎌 田 治



平3.4.1 平11.12.31 工学博士 高橋裕男

機械情報技術学科 教授

昭53.4.1 平14.3.31 博士(工学) 木村克彦  
 49.4.1 16.3.31 博士(工学) 加賀拓也  
 平3.5.1 18.3.31 工学博士 菅原章  
 12.4.1 19.3.31 工学博士 小野陽  
 昭51.4.15 21.3.31 工学博士 宮川孝  
 平3.5.1 23.3.31 工学博士 佐藤松雄  
 4.4.1 25.3.31 工学博士 大内清行  
 15.4.1 25.3.31 工学博士 松崎晴美

産業機械工学科 教授

昭47.4.1 昭50.7.31 加畑信一  
 50.4.2 53.3.31 友兼泰  
 47.4.1 54.7.4 武内平八郎  
 48.4.1 55.3.31 真柳義行  
 48.5.1 58.3.31 赤澤唯一

電気工学科 教授

昭48.4.1 昭52.11.24 入江泰  
 48.4.1 56.3.31 川守田孝吉  
 51.4.1 平3.3.31 工学博士 戸村文夫  
 57.4.1 5.3.31 工学博士 大川知夫  
 56.4.1 8.3.31 工学博士 志満嘉夫

電気電子工学科 教授

平7.4.1 平13.3.31 工学博士 鹿野哲生  
 6.4.1 13.3.31 工学博士 菅原實  
 昭47.4.1 14.3.31 佐々木一人

電子知能システム学科 教授

昭51.4.1 平15.8.31 工学博士 十文字正憲

第16 旧職員

平10. 4. 1	平17. 3. 31	工学博士	豊田 淳一
昭47. 4. 1	19. 3. 31	工学博士	増田 陽一郎
47. 4. 1	22. 3. 31	工学博士	小松崎 年雄

電気電子システム学科 教授

昭48. 4. 1	平23. 3. 31	工学博士	佐藤 正毅
平4. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	川又 憲
24. 4. 1	26. 3. 31	工学博士	濱島 高太郎

土木工学科 教授

昭51. 4. 2	昭55. 10. 31		佐藤 源藏
53. 4. 1	60. 3. 31		福井 平之丞
48. 6. 1	61. 3. 31		佐藤 健吉
61. 4. 1	平9. 8. 22	工学博士	川島 俊夫
平4. 4. 1	12. 3. 31	工学博士	佐藤 敦久
昭53. 4. 1	12. 3. 31	博士(工学)	佐藤 米司
55. 4. 1	13. 3. 31	理学博士	成田 小二郎
51. 4. 1	13. 3. 31	工学博士	諸戸 靖史

環境建設工学科 教授

平9. 4. 1	平16. 3. 31	工学博士	須田 熙
昭52. 4. 1	17. 3. 31	博士(工学)	杉田 修一
48. 4. 1	20. 3. 31	理学博士	田中 昇
47. 4. 1	21. 3. 31	理学博士	坂尻 直巳

建築工学科 教授

昭51. 10. 1	昭52. 3. 31	工学博士	高橋 武雄
54. 4. 1	57. 3. 31		久慈 次男
51. 4. 1	59. 3. 31		二宮 太平
55. 4. 2	平2. 3. 31	工学博士	佐々木 嘉彦
昭54. 4. 2	3. 3. 31		和田 眞言
54. 5. 1	4. 9. 15		真山 文彦
61. 4. 1	6. 3. 31	工学博士	内山 和夫

昭53. 4. 2	平17. 3. 31	工学博士	伊藤敬一
平6. 4. 1	17. 3. 31	工学博士	坂本磐雄
昭51. 4. 1	17. 9. 15	工学修士	高島成侑
52. 4. 1	20. 3. 31	工学博士	渡邊正朋

## 土木建築工学科 教授

昭59. 4. 1	平22. 6. 1	工学博士	庄谷征美
52. 5. 1	24. 3. 31	工学博士	毛呂眞
平14. 4. 1	24. 3. 31		桃井龍慈
18. 4. 1	26. 3. 31	博士(工学)	陳沛山
昭52. 4. 1	28. 3. 31	工学博士	月舘敏栄

## エネルギー工学科 教授

昭57. 10. 1	平2. 3. 31	工学博士	江草龍男
57. 5. 1	4. 3. 31	工学博士	田原浩一
58. 10. 1	9. 3. 31	工学博士	張正生
平3. 4. 1	9. 3. 31	工学博士	岩谷高四郎
10. 4. 1	11. 9. 15	博士(工学)	土屋敬一
5. 4. 1	12. 3. 31	工学博士	杉田慶一郎
6. 4. 1	13. 3. 31	工学博士	平戸瑞穂
昭61. 4. 1	14. 3. 31	工学博士	梅森肅
54. 4. 2	14. 3. 31	理学修士	本間健祐

## システム情報工学科 教授

平10. 4. 1	平15. 3. 31	理学博士	奈良久
昭57. 4. 1	17. 3. 31	工学博士	内山晴夫
47. 4. 1	20. 3. 31	工学博士	松坂知行
48. 4. 1	20. 3. 31	理学修士	尾崎康弘
51. 4. 15	21. 3. 31	理学博士	清野大樹
49. 4. 1	22. 3. 31	工学博士	苔米地宣裕

## 生物環境化学工学科 教授

昭52. 4. 1	平15. 9. 11	理学博士	大西誠
-----------	------------	------	-----

第16 旧職員

昭63. 4. 1	平17. 3. 31	農学博士	奥田 慎一
平9. 4. 1	19. 2. 28	博士(工学)	福原 長寿
昭47. 4. 1	20. 3. 31	文学修士	竹園 洋子
48. 4. 1	21. 3. 31	博士(工学)	小山 信次

バイオ環境工学科 教授

平12. 4. 1	平22. 3. 31	博士(工学)	岡村 隆成
3. 4. 1	24. 3. 31	工学博士	伊藤 幸雄
3. 4. 1	25. 3. 31	農学博士	貝守 昇
昭53. 4. 1	26. 3. 31	工学博士	青木 秀敏
61. 4. 1	26. 3. 31	工学博士	村中 健

感性デザイン学科 教授

昭52. 4. 1	平20. 3. 31		澤田 紘次
52. 10. 1	26. 3. 31	博士(工学)	梅津 光男
55. 4. 1	27. 3. 31	文学修士	大津 正道

一般教育部 教授

昭47. 4. 1	昭47. 9. 30	文学博士	野沢 静證
47. 4. 1	48. 3. 31		岡本 堅次
47. 4. 1	52. 3. 31		百岡 胤正
47. 4. 1	53. 3. 31		長沢 隆次
47. 4. 1	53. 3. 31	理学博士	金塚 文哉
48. 4. 1	53. 3. 31		横岡 雅雄
47. 4. 1	53. 3. 31		小倉 一衛
47. 4. 1	53. 11. 16		鳥山 俊英
47. 4. 1	55. 3. 31		内川 健吾
49. 4. 1	55. 3. 31	文学博士	古川 忠次郎
48. 4. 1	56. 12. 31		澤口 剛雄
49. 4. 1	59. 3. 31		船山 良三
50. 4. 2	60. 3. 31		岩館 広忠
49. 4. 1	60. 3. 31	文学修士	川上 美津子
47. 4. 1	63. 9. 30		大木 実

昭55. 4. 2	平4. 3. 31		高橋久太郎
47. 4. 1	5. 3. 31	理学博士	岡田忠成
62. 4. 1	6. 3. 31	工学博士	能登文敏

## 総合教育センター 教授

昭55. 4. 1	平13. 3. 31	文学修士	平山玄九
平8. 4. 1	13. 3. 31	教育学博士	戸田金一
昭47. 4. 1	14. 3. 31	経済学修士	福田直夫
47. 5. 15	16. 3. 31		勝村靖夫
平12. 4. 1	16. 3. 31	教育学修士	高野邦夫

## 基礎教育研究センター 教授

昭48. 4. 1	平23. 3. 31	理学修士	目修三
52. 4. 1	26. 3. 31	文学修士	小林繁吉

## 食品工学研究所 教授

昭52. 4. 2	平9. 3. 31	理学博士	伊達蕙
-----------	-----------	------	-----

## 異分野融合科学研究所 教授

平6. 4. 1	平18. 3. 31	工学博士	塩井幸武
----------	------------	------	------

## 機械工学科 助教授

昭48. 4. 1	昭62. 3. 31	工学博士	伊藤勝悦
51. 4. 1	平2. 3. 31	工学博士	小林道明

## 機械情報技術学科 准教授

平2. 4. 1	平24. 3. 31	文学修士	町屋昌明
----------	------------	------	------

## 電気工学科 助教授

昭47. 4. 1	昭59. 3. 31	工学修士	葛西清和
57. 4. 1	平9. 3. 31	工学博士	太田悟

第16 旧職員

電子知能システム学科		准教授				
昭47. 4. 1	平21. 3. 31		横地弓夫			
土木工学科		助教授				
昭60. 4. 1	平7. 3. 31	工学博士	飛田善雄			
52. 4. 1	8. 3. 31		岩渕清行			
59. 9. 1	10. 3. 31	工学博士	西田修三			
平7. 4. 1	11. 3. 31	博士(工学)	楊俊傑			
建築工学科		助教授				
昭55. 4. 1	平8. 3. 31	工学博士	戸部栄一			
土木建築工学科		准教授				
平17. 4. 1	平25. 7. 31	博士(工学)	石川宏之			
エネルギー工学科		助教授				
昭58. 4. 1	昭63. 3. 31	理学博士	鈴木健訓			
システム情報工学科		助教授				
昭59. 5. 1	平14. 3. 31	理学修士	大黒茂			
感性デザイン学科		准教授				
平20. 4. 1	平25. 9. 16		関川浩志			
昭53. 4. 1	26. 3. 31	博士(工学)	木村昭穂			
48. 4. 1	28. 3. 31		和田敬世			
一般教育部		助教授				
昭47. 4. 1	昭51. 9. 30	理学博士	小幡禎佑			
47. 4. 1	56. 4. 30		斉藤太治男			
55. 4. 1	59. 3. 31	教育学修士	加澤恒雄			
53. 4. 1	63. 3. 15		安本武正			
55. 4. 1	63. 3. 31	文学修士	渡辺洋一			
54. 4. 1	63. 3. 31	理学修士	中川清和			

## 第16 旧職員

昭55. 4. 1	平2. 3. 31	理学博士	関川久男
63. 4. 1	5. 3. 31	文学修士	松岡和生
60. 4. 1	6. 3. 31	文学修士	藤田秀樹
61. 4. 1	6. 3. 31	文学修士	大津正道

## 総合教育センター 助 教 授

昭51. 4. 1	平7. 4. 19	文学修士	大下由宮子
平6. 4. 1	13. 3. 31	文学修士	大津正道

## 基礎教育研究センター 准 教 授

平6. 4. 1	平22. 3. 31	文学修士	高橋哲徳
昭48. 4. 1	28. 3. 31		和田敬世

## 異分野融合科学研究所 助 教 授

昭52. 4. 1	平19. 3. 31	工学修士	穂山和男
-----------	------------	------	------

## 土木工学科 講 師

昭51. 4. 1	昭59. 3. 31	工学修士	高野芳裕
-----------	------------	------	------

## 環境建設工学科 講 師

平12. 4. 1	平18. 3. 31	博士(工学)	佐藤久
-----------	------------	--------	-----

## 土木建築工学科 講 師

平元. 4. 1	平23. 3. 31		柄本和吉
----------	------------	--	------

## 感性デザイン学科 講 師

平18. 4. 1	平24. 3. 31	博士(学術)	徐明仿
-----------	------------	--------	-----

## 一般教育部 講 師

昭52. 4. 2	昭55. 3. 31	文学修士	佐藤ちゑ子
54. 11. 1	55. 9. 27		ハロルド W. ハケット
52. 4. 1	58. 7. 31	文学修士	岩崎光洋
55. 4. 1	60. 3. 31	文学修士	森茂利

第16 旧職員

昭63. 4. 1	平 2. 2. 28		呉 韻 珊
59. 4. 1	3. 3. 31	文学修士	安 田 淳

			総合教育センター 講 師
平 4. 4. 1	平11. 3. 31	教育学修士	David Allen Riley
9. 4. 1	12. 3. 31		大 島 光 子

			異分野融合科学研究所 講 師
昭63. 4. 1	平17. 9. 15	工学博士	安 藤 浩 司



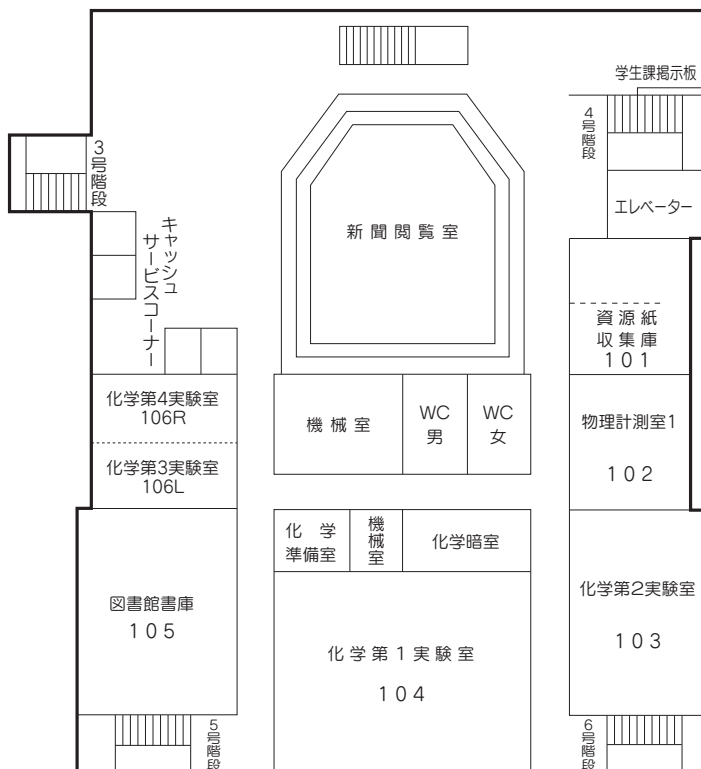
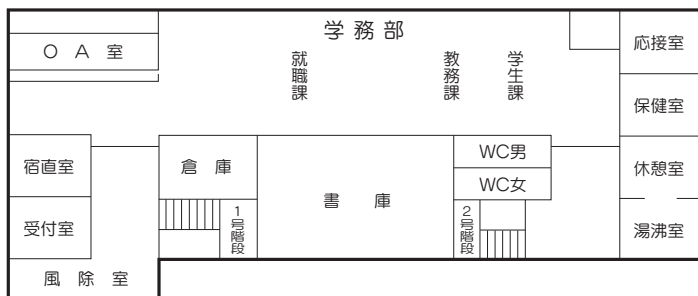
## 第17 校地・校舎

## 1 校地・校舎面積

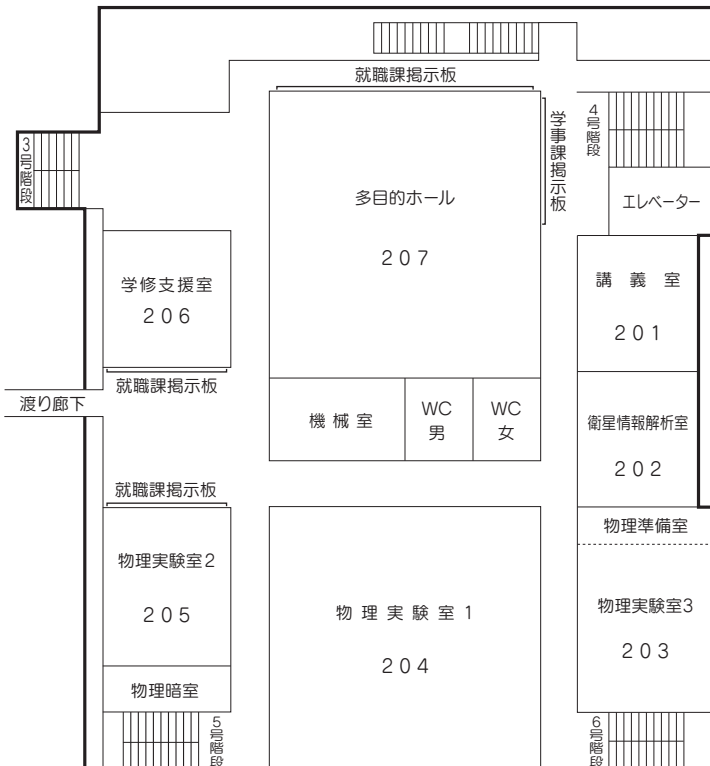
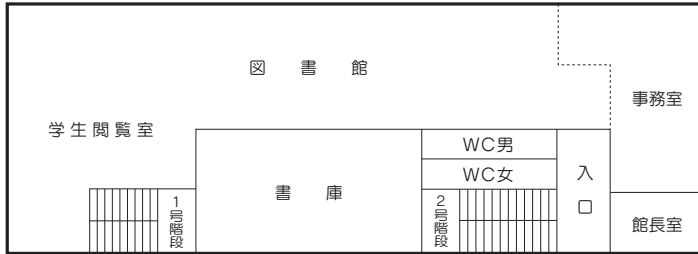
区 分	校舎延面積 (㎡)	校 地 (㎡)
本 館	9,132	校舎敷地 75,042
教養棟・地域産業総合研究所	4,898	
教 養 棟 旧 館	2,133	
機械情報技術専門棟	5,120	
電気電子システム専門棟	4,228	
システム情報工学専門棟	3,700	
バイオ環境工学専門棟	3,622	
土木建築工学専門棟・土木工学専門棟	4,452	
土木建築工学専門棟・建築工学専門棟	4,565	
感性デザイン専門棟	4,521	
地域産業総合研究所・構造工学実験棟	1,468	
工作技術センター	1,096	
自動車工学センター	488	
体 育 館	3,251	
尚 志 館	882	
メディアセンター	555	
ボ イ ラ ー 棟	270	
学 友 会 館	1,450	
合 宿 所	221	
室内ゴルフ練習場	167	
室 内 練 習 場	650	
渡り廊下 倉庫	960	
屋外体育施設		運 動 場 236,048
陸上競技場 (400Mトラック)		
サッカー場 3面		
ラグビー場 2面		
野 球 場 3面		
水泳プール (50M×8コース)		
テニスコート 6面		
アーチェリー場		
キャンプ場	16,571	
運動公園 その他		
駐 車 場		
合 計	57,829	327,661

2 研究室・講義室等配置

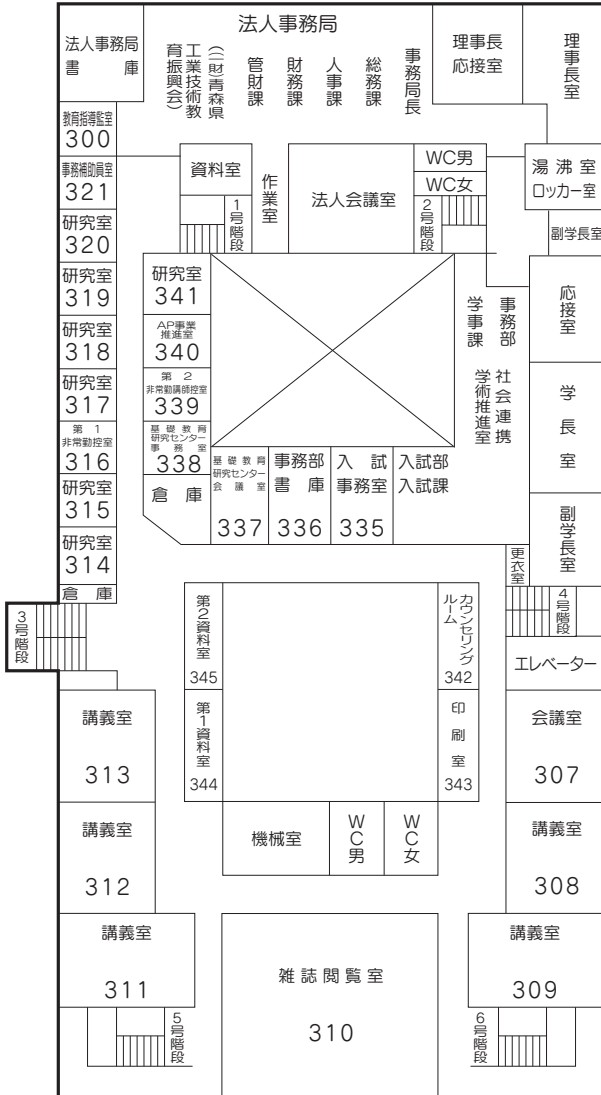
本館 1 F



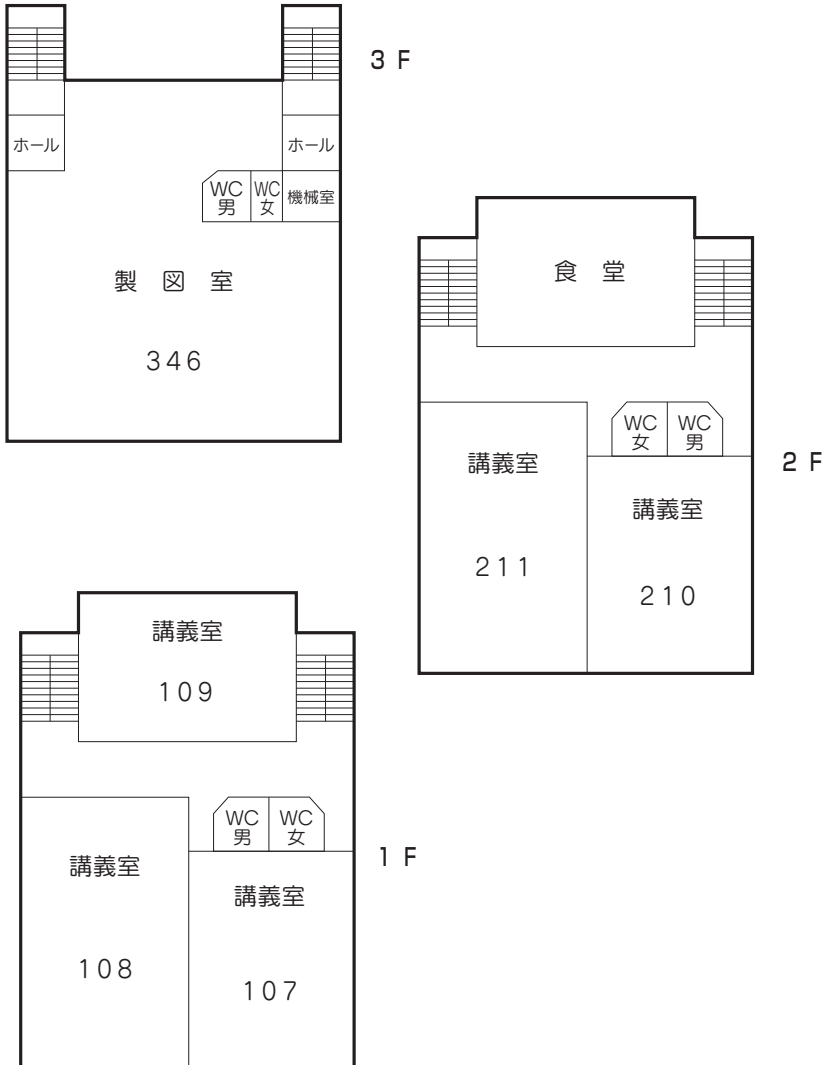
本館 2 F



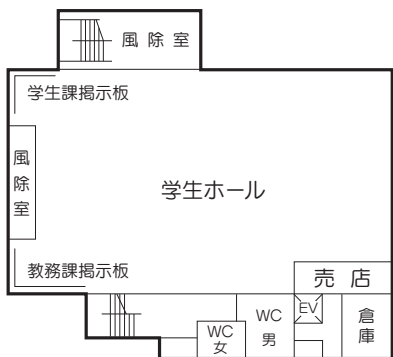
本館 3 F



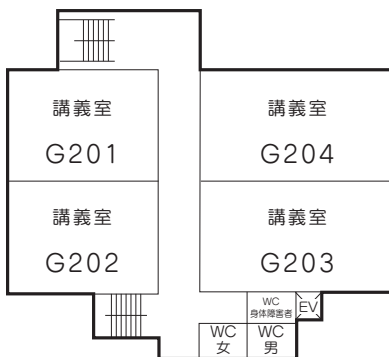
### 教養棟旧館



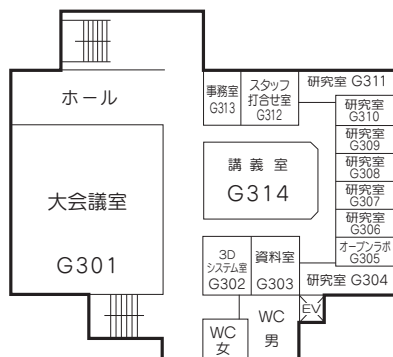
教養棟・地域産業総合研究所



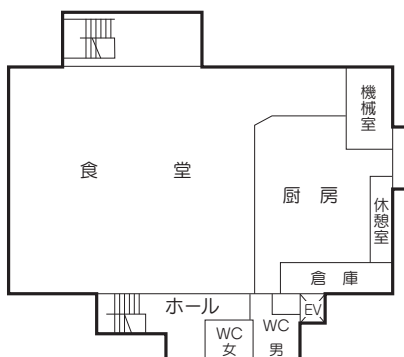
1 F



2 F



3 F



4 F

機械情報技術専門棟

WC 男	学生居室	研究室	学生居室	研究 室	研究 室	研究 室	研究 室	演大 習室	資料 室	ロボット工学実験室	製図室  M307
	M315	M314	M313	M312	M311	M310	M309	M308	M308(S)	M307(S)	
	教材準備室	学生居室	実験室	学生居室	学生居室	講義室				ロボット工学実験室	
	M301	M302	M303R	M303L	M304	M305				M306	
3 F											

WC 男	応接室	事務室	講師控室	講師控室	ITルーム (A)	ITルーム (B)	ITルーム (C)	研究室	研究室	研究室	研究室	研究室	研究室
	M216	M215	M214	M213		M212		M211	M210	M209	M208	M207	M206
	会議室		学生居室		講義室			学生居室			講義室		
	M201		M202		M203			M204			M205		
2 F													

WC 女	自動車教材室	実験室	伝熱工学	指導員室	実習	実験室	環境制御	新エネルギー情報計測室	次世代冷凍機開発室	エンジン実験室	実験室2	熱工学	実験室1	熱工学	超音波	精密機械測定室
	M117	M116	M115	M114	M113	M112	M111	M110	M109	M108						
	エンジン実習室	実験室	学生実験室	実験室	原子力工学	実験室	レーザー工学		実験室	実験室					講義室	
	M101	M102		M103	M104				M105	M106					M107	
1 F																

## 電気電子システム専門棟

レーザードーム



R.F. 4 F

電子知能 ロボット 研究室 E402	情報通信 システム 研究室
E401B	E401A

WC 男	プラズマ 工学 研究室 E319	電力・情報 ネットワーク 研究室 E318	磁気応用工学 研究室 II E317	工学 研究室 I E316	講 義 室 E 315	強誘電体材料・ デバイス工学 研 究 室 II E314	I E313	研究室 E312	研究室 E311	
	研究室 E301	研究室 E302	研究室 E303	研究室 E304	エネルギー 変換工学 研 究 室 E305	映像・情報 メディア 研 究 室 E306	電子工学 研究室 E307	電子工学 研究室 E308	研究室 E309	研究室 E310

3 F

WC 男	電気電子工学 実 験 室 I E 216	実 験 電子 工学 準備 室 E215	電気電子工学 実 験 室 II E 214	事務室 E213	応接室 E212	技 術 職 員 室 E211	大学院 演 習 室 E210	講 義 室 E 209
	講 義 室 E 201	ナデバイス・ 衛星情報 研 究 室 E 202	E-ラウンジ E 203	会 議 室 E 204	Eシソ ン ク ラ ブ E205	物理工学 研 究 室 E206	研究室 E207	研究室 E208

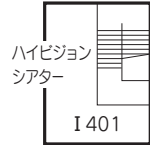
2 F

WC 女	産学連携 研 究 室 E116	電気電子材 加 工 室 E115	電子情報システム 実 験 室 E114	直 流 発 電 機 室 E113	電気エネルギー システム 実 験 室 E112	ネットワーク コ ン ピ ュ ー タ 演 習 室 E111	講 義 室 E 110		
	高電界 工 学 研 究 室 E101	クリーンラボ E 102	ナテクノロジー 研 究 室 E 103	薄膜作製・分析 研 究 室 E 104	研 究 室 E 105	リソ ソ ン オ ト E106	薄膜表面物性 評 価 研 究 室 E 107	研究室 E108	研究室 E109

1 F



## システム情報工学専門棟



4 F

メディアラ ボ I 317	研究室 I 316	研究室 I 315	CG 研究室 I 314	研究室 I 313	研究室 I 312	研究室 I 311	研究室 I 310	研究室 I 309	研究室 I 308	研究室 I 307	
WC 女	WC 男	セキュリティ システム 研究室 I 301	システム シミュレーション 研究室 I 302	コンピュータ システム 研究室 I 303	組 込 システム 研究室 I 304	電 子 ビジョン 研究室 I 305	ヒューマン インタ フェイス 研究室 I 306				

3 F

キャリア プランニング室 I 214	コ ピ ー 室 I 213	事務室 I 212	会議室 I 211	非常勤 講師室 I 210	実習室 I 209	大 学 院 室 I 208	研究室 I 207	LSI 開発室 I 206	研究室 I 205
WC 女	WC 男	準備 室 I 201	情報工学基礎実験室 I 202	情報工学応用実験室 I 203		講 義 室 I 204			

2 F

機械室 I 113	資料室 I 112	開発室 I 111	研究室 I 110	メディア スタジオ I 109	ソフトウェア 研 究 室 I 108	ネットワー ク 研 究 室 I 106	工作室 I 105
WC 女	WC 男	資料室 I 101	デバッグ 室 I 101	計算機室 I 102	講 義 室 I 103		サイバーラボラトリー I 104

1 F

## バイオ環境工学専門棟

遺伝子操作 実験室 B 401	
第1	第2
動物室	

### 4 F

第2実験室 B317	環境工学 WC男	WC女	学生居室 B316	第1 セミナー室 B315	研究室 B314	研究室 B313	研究室 B312	研究室 B311	環境プロセス 実験室 B310	学生居室 B309	研究室 B308	ドラフト室 B307	学生居室 B306
第1講義室 B301		多目的実験・実習室 B302			第2講義室 B303			第1 会議室 (資料室) B304		遺伝子工学 実験室 B305			

### 3 F

複写室 B220	WC男	WC女	事務室 B219	会議室2 B218	第1 セミナー室 B217	研究室 B216	研究室 B215	研究室 B214	研究室 B213	研究室 B212	研究室 B211	学生居室 B210	殺菌室 B209	無菌室 B208	分子生態学 研究室 B207	B206
栄養生命科学 実験室 細胞培養室 B201		機能性材料化学 実験室 B202			機器分析室 B203		食品生体機能 実験室 B204		微生物工学 実験室 B205							

### 2 F

テレコム B109	WC男	WC女	顕微鏡室 B108	実験室 B107	第3環境工学 基礎 B107	バイオ 環境工学 基礎 B107	就職 情報室 B106	技術職員室 B105	バイオ環境工学 第2基礎実験室 B104		バイオ環境プロセス 実習室 B103
バイオ環境工学 第1基礎実験室 B101			バイオ環境工学 ITルーム B102			女子 更衣室					

危険物薬品庫

ポンペ置場

### 1 F

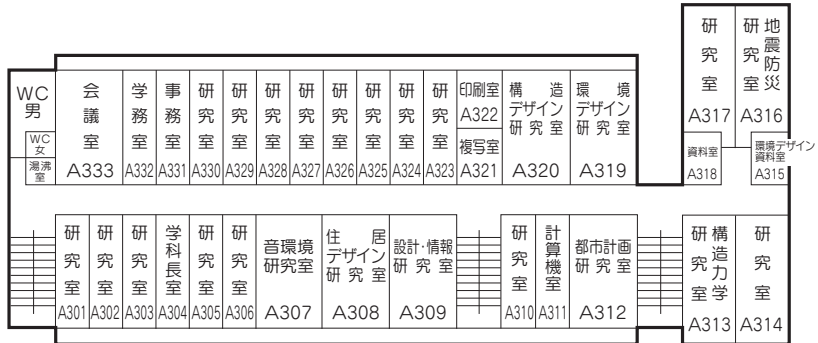
土木建築工学専門棟・土木工学専門棟

ベランダ														ベランダ				
WC男	WC女	複写室 C328	準備室 C327	研究室 C326	研究室 C324	研究室 C323	研究室 C322	研究室 C321	研究室 C320	研究室 C319	研究室 C318	研究室 C317	研究室 C316	研究室 C315	研究室 C314	研究工 研究 室Ⅱ 学 C313	研究 室 C312	大 学 院 生 演 習 室 C311
		資料室 C301	応接室	会議室 C302	研究室 C303	研究室 C304	研究 室Ⅱ C305	水工 学 C306	環 境 工 学 C307	講 義 室 C308	大 学 院 講 義 室 C309	研 究 室 Ⅰ 学 C308	研 究 室 Ⅱ C309					第3講義室 C310
3 F																		

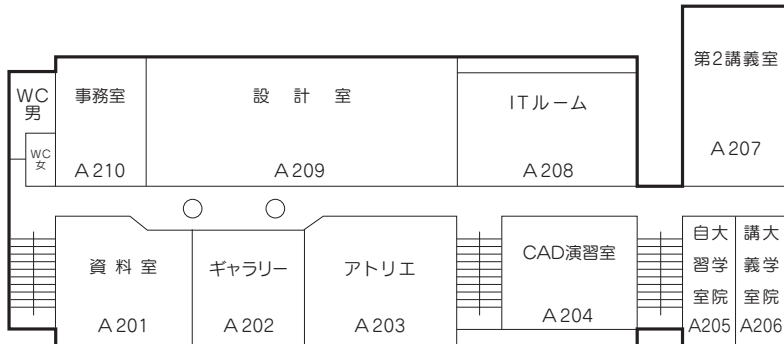
WC男	WC女	研 究 室 Ⅰ C213	構 造 工 学 C212	IT カ フ エ 学 生 自 習 室 C211	IT ル ー ム C210	研 地 盤 工 学 C209	研 水 工 学 C208	工 学 実 験 室 Ⅲ C208										第2講義室 C207	
		研 究 室 Ⅰ C201	環 境 工 学 C202	環 境 工 学 実 験 室 Ⅰ C203	環 境 工 学 実 験 室 Ⅱ C203	研 究 室 Ⅰ C204	学 生 自 習 室 C205												第1講義室 C206
2 F																			

WC男	WC女	実 験 準 備 室 C112	地 盤 工 学 実 験 室 Ⅱ C111	水 工 学 実 験 室 Ⅱ C110	実 験 準 備 室 C110	地 盤 工 学 実 験 室 Ⅰ C109	測 量 器 材 室 C108												
		実 験 準 備 室 C101	恒 温 室	コ ン ク リ ー ト 工 学 実 験 室 Ⅰ C102	構 造 工 学 実 験 室 C103	寒 冷 地 材 料 試 験 室 C104	凍 融 試 験 室 C105	結 解 試 験 室 C106	工 学 実 験 室 Ⅱ C106	コ ン ク リ ー ト 工 学 実 験 室 Ⅱ C107	水 工 学 実 験 室 Ⅰ C107								
1 F																			

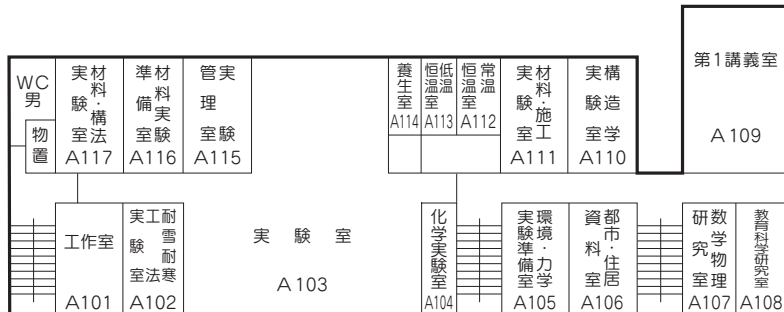
土木建築工学専門棟・建築工学専門棟



3 F

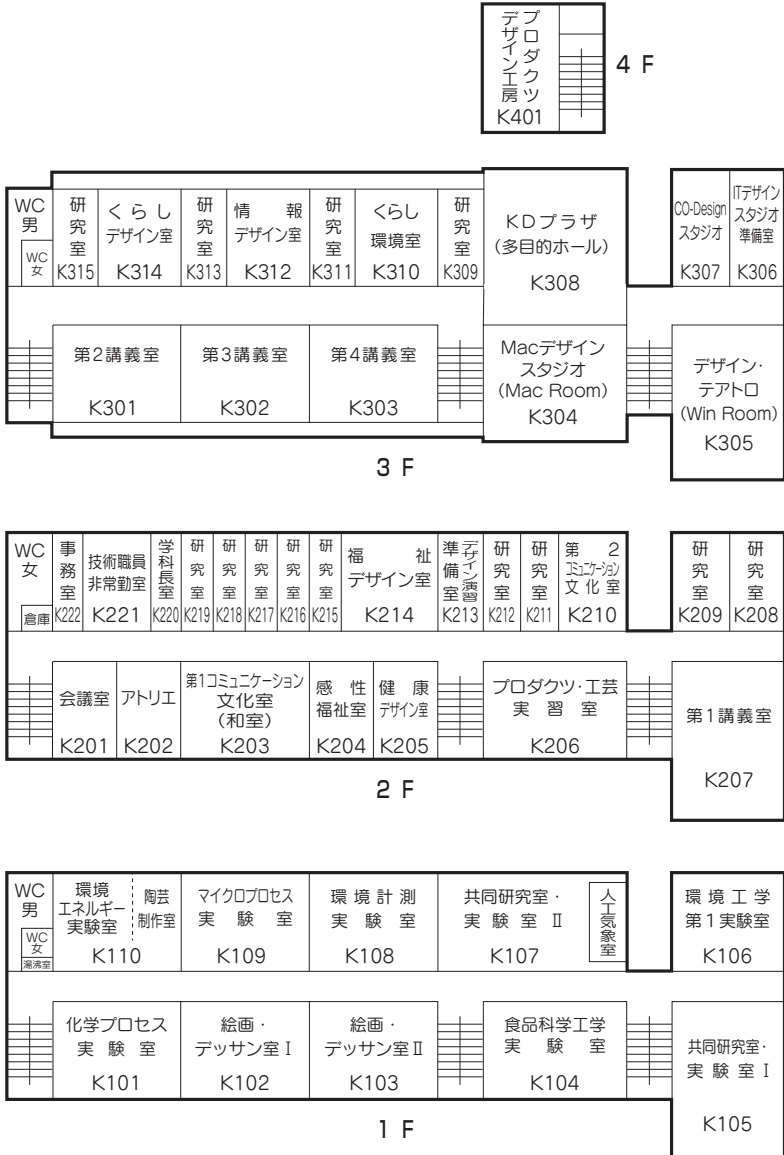


2 F

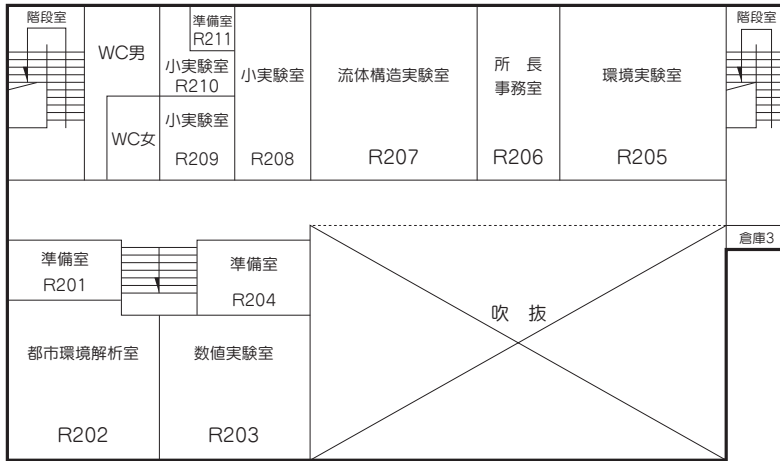


1 F

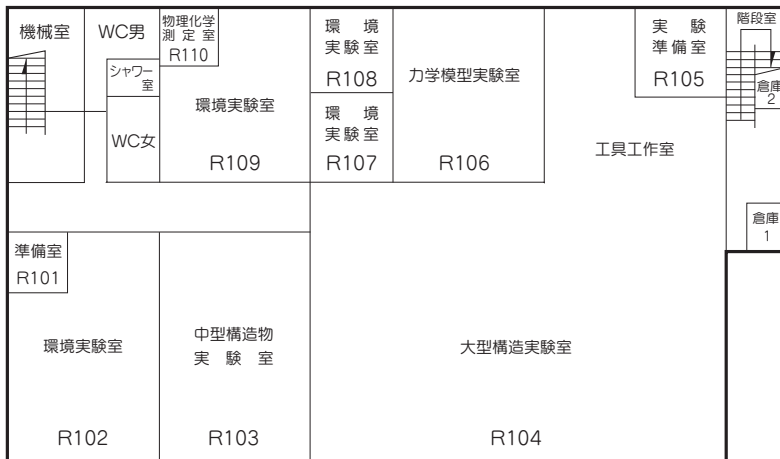
## 感性デザイン専門棟



地域産業総合研究所・構造工学実験棟

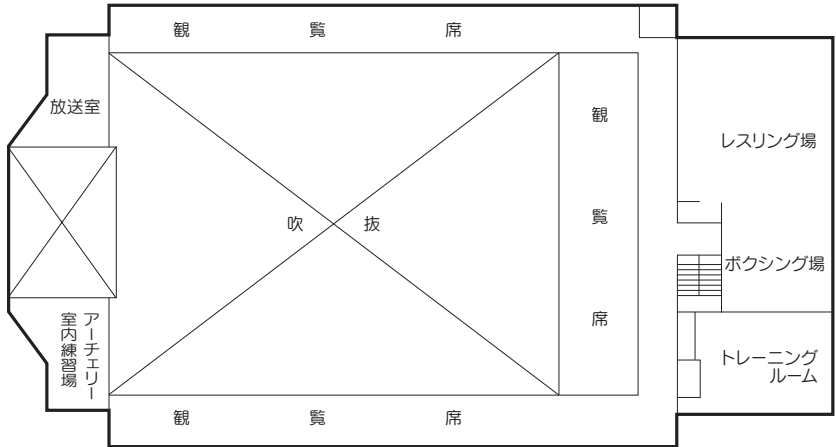


2 F

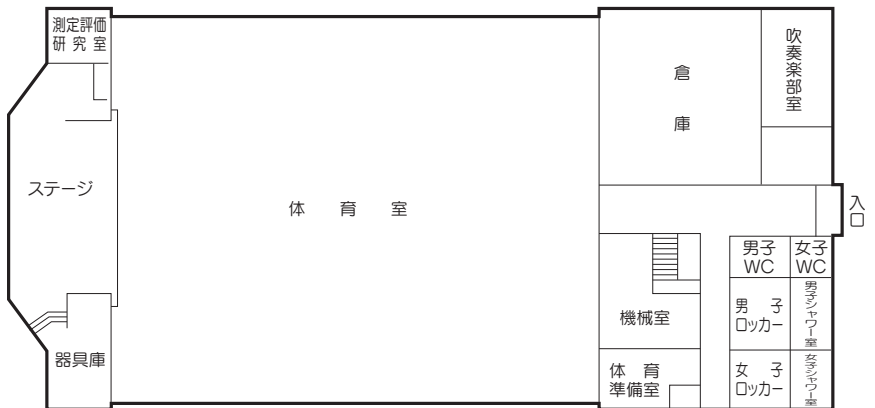


1 F

# 体 育 館



2 F

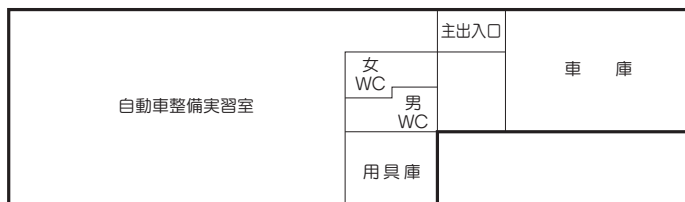


1 F

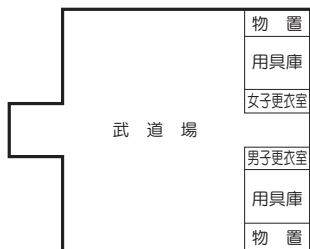
### 工作技術センター



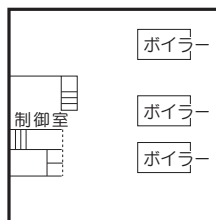
### 自動車工学センター



### 尚志館



### ボイラー棟

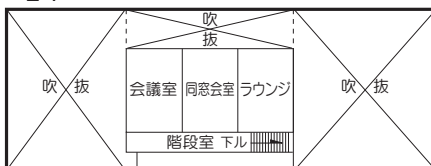


### メディアセンター

1 F



2 F





## 学 友 会 館

### 学友会館 1号館(1F)

男子WC	男子 シャワー室	倉庫		学友会室	体育会室	文化会室
女子 シャワー室	女子WC	出入口	学友会倉庫	会議室 A-1	会議室 A-2	

### 1号館(2F)

主務室 1-1	ボランティア 愛好会 1-2		レスリング部 1-3	サンボ部 1-4	ボクシング部 1-5	ソフト テニス部 1-6	アイス スケート部 1-7	ダーツ 愛好会 1-8
1-17	弓道部 1-16	卓球部 1-15	柔道部 1-14	男子硬式 庭球部 1-13	女子硬式 庭球部 1-12	少林寺 拳法部 1-11	1-10	1-9

### 学友会館 2号館(1F)

男子WC	出入口	会議室 B-1	会議室 B-2	Becゲーム 制作愛好会 2-1	ゲーム 研究部 2-3	ビリヤード部 2-3	学友会 パネル置場 2-4
女子WC	倉庫	プラモデル 研究会 2-9	電創部 2-8	2-7	学友会倉庫 2-6	アートテック研究部 2-5	

### 2号館(2F)

将棋部② 2-10	軟式野球部 2-11	サイクリング 愛好会 2-12	映像 研究部 2-13	映像 研究部 2-14	美術 研究部 2-15	男子 バスケットボール部 2-16	合唱部 2-17
将棋部① 2-24		情報科学 研究部 2-23	文芸 愛好会 2-22	サイエンス 愛好会 2-21	バレ ーボール部 2-20	ストリートダンス 愛好会 2-19	English 研究会 2-18

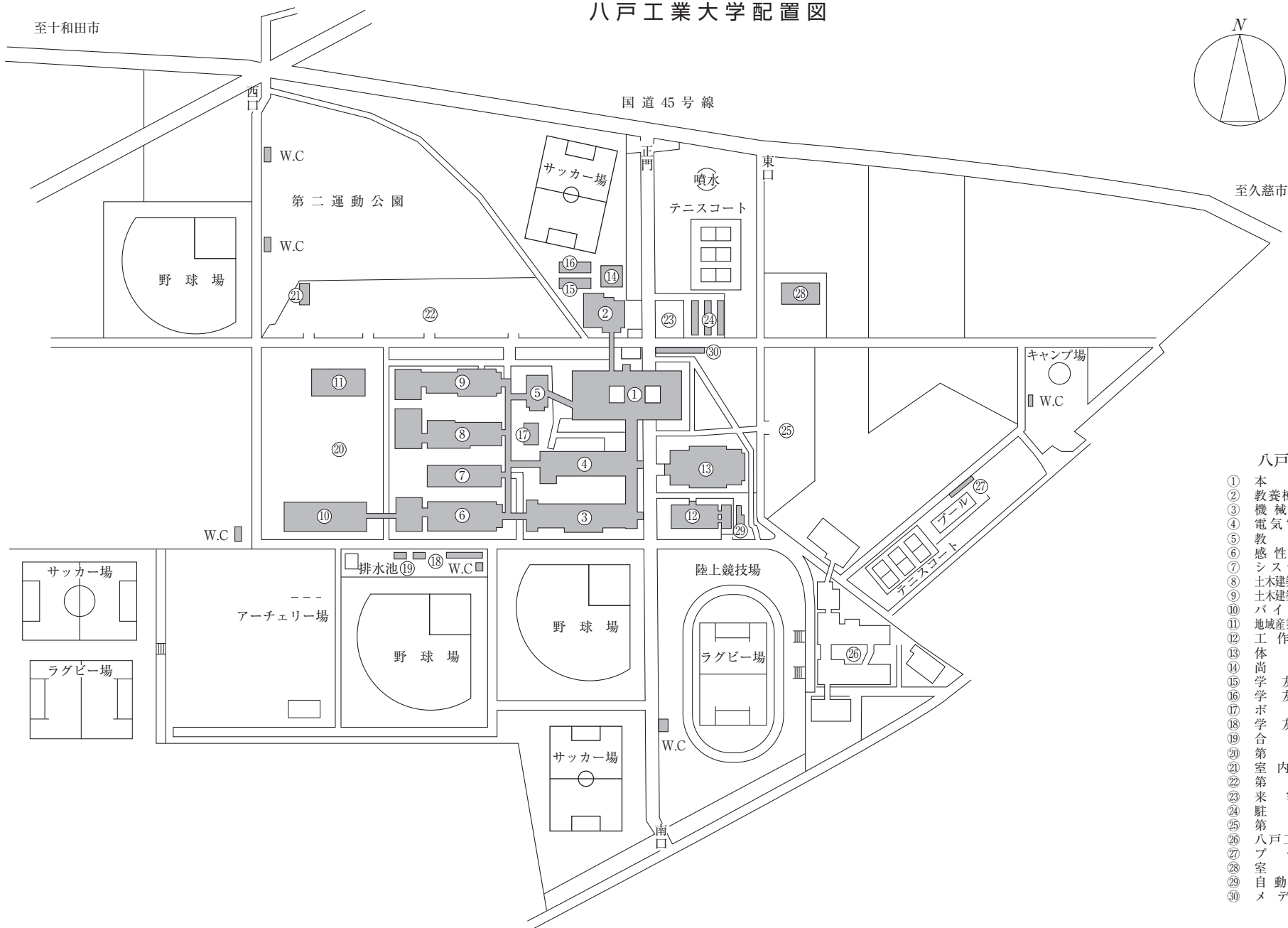
### 学友会館 3号館(グランド側)

美術研究部 3-16	動力研究部 3-15	山岳部 3-14	文化会倉庫 3-13	陸上競技部 3-12	物置 3-11	物置 3-10	音楽 研究部 3-8	物置 3-9
動力研究部 3-1	硬式野球部 3-2	アーチェ リー部 3-3	学友会倉庫 3-4	自動車部 3-5	ソフト ボール部 3-6	ラグビー部 3-7		



3 校地・校舎配置図

八戸工業大学配置図



八戸工業大学配置図

- ① 本館
- ② 教養棟・地域産業総合研究所
- ③ 機械情報技術専門棟
- ④ 電気電子システム専門棟
- ⑤ 教養棟 旧館
- ⑥ 感性デザイン専門棟
- ⑦ システム情報工学専門棟
- ⑧ 土木建築工学専門棟・木工学専門棟
- ⑨ 土木建築工学専門棟・建築工学専門棟
- ⑩ バイオ環境工学専門棟
- ⑪ 地域産業総合研究所・構造工学実験棟
- ⑫ 工作技術センター
- ⑬ 体育館
- ⑭ 尚志館
- ⑮ 学生会館 1号館
- ⑯ 学生会館 2号館
- ⑰ 学生会館 3号館
- ⑱ 三宿舎
- ⑳ 内ゴルフ練習場
- ㉑ 第2号車庫
- ㉒ 第2号車庫
- ㉓ 第2号車庫
- ㉔ 第2号車庫
- ㉕ 第2号車庫
- ㉖ 八戸工業大学第二高等学校
- ㉗ プール管理室
- ㉘ 室内練習場
- ㉙ 自動車工学センター
- ㉚ メディアセンター

## 八戸工業大学要覧 平成28年度（非売品）

平成28年 5月31日 編集

平成28年 6月22日 印刷

平成28年 6月30日 発行

編集兼  
発行 者

八戸工業大学事務部学事課

〒031-8501 八戸市大字妙字大開88番地1号

TEL 0178(25) 8111 (ダイヤルイン)

<http://www.hi-tech.ac.jp/>

印刷所

株式会社 オダプリント

〒039-2245 八戸市北インター工業団地三丁目2-100